

図表 696 S-95 地区の施業内容

施業種	人工林整理伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	474 本(300 本/ha)、656.81m <sup>3</sup> (415.7m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 39cm、平均樹高 23m
伐採率	45.3%(本数)、57.1%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 697 にまとめる。

図表 697 S-95 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	人工アカマツ	人工林 整理伐 ⇒	人工アカマツ
実測面積	1.58ha		1.58ha
本数	1,106 本(700 本/ha)		632 本(400 本/ha)
蓄積	1,149.77m <sup>3</sup> (727.7m <sup>3</sup> /ha)		492.96m <sup>3</sup> (312.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	34cm、23m		31cm、23m
相対幹距比(Sr)	16%		22%
形状比(H/D)	形状比 68		形状比 74

#### ○将来計画

10 年後には標準伐期齢に達しているため、アカマツを主伐し広葉樹林化を図る。

図表 698 S-95 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	人工林整理伐 45.3%(整備後本数 400 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	15	主伐 100.0%(整備後本数 0 本/ha)

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

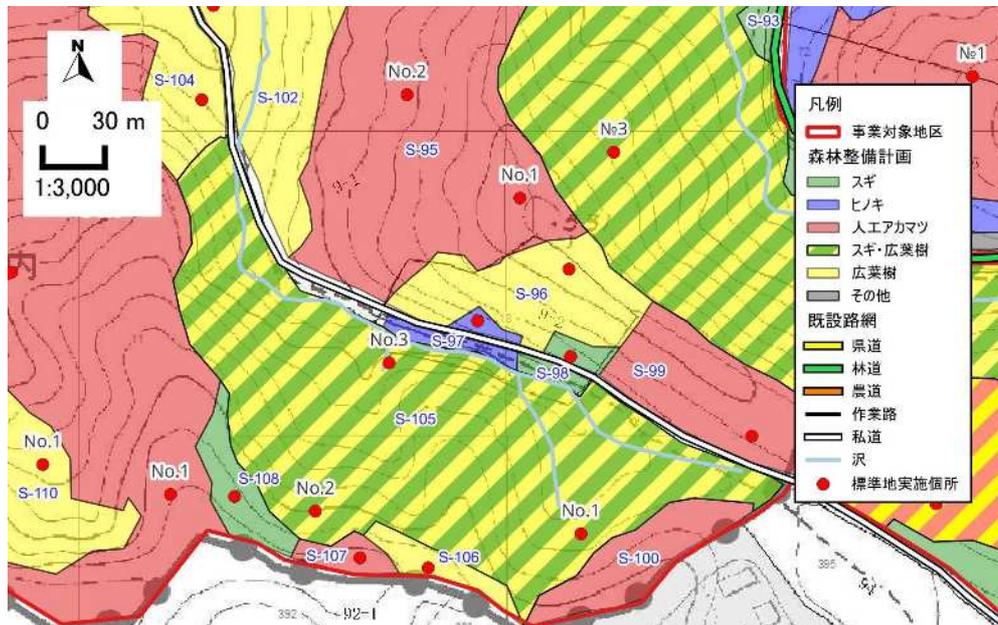
図表 699 S-95 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		656.81	m3	—	—	—
内 訳	AB材	443.35	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C材等	91.30	m3	13.9%	残置	—
	その他	121.51	m3	18.5%	残置	—
枝 葉		151.07	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数=枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.98 詳細設計(S-96 地区)

図表 700 S-96 地区



標準地調査の結果をもとに、S-96 地区の現況について図表 701 にまとめる。

図表 701 S-96 地区の現況

施業種	更新伐
樹種・齢級	広葉樹、7 齢級(33 年生)
実測面積	0.41ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	1,148 本(2,800 本/ha)、124.23m <sup>3</sup> (303.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 12cm、平均樹高 10m、形状比 83
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	コナラ、クリ、ヤマザクラ等の高木性の樹種が多い。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-96 地区の標準地

図表 702 S-96 地区の施業内容

施業種	更新伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	779 本(1,900 本/ha)、104.14m <sup>3</sup> (254.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 13cm、平均樹高 10m
伐採率	67.9%(本数)、83.8%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 703 にまとめる。

図表 703 S-96 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	広葉樹	更新伐 ⇒	広葉樹
実測面積	0.41ha		0.41ha
本数	1,148 本(2,800 本/ha)		369 本(900 本/ha)
蓄積	124.23m <sup>3</sup> (303.0m <sup>3</sup> /ha)		20.09m <sup>3</sup> (49.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	12cm、10m		10cm、9m
相対幹距比(Sr)	19%		37%
形状比(H/D)	形状比 83		形状比 90

## ○将来計画

3年後に萌芽の芽かき・刈出しを行い、その後、適宜除伐を実施することが望ましい。

図表 704 S-96 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	7	更新伐 67.9% (整備後本数 900 本/ha)
...	...	...
令和 11 年	1	萌芽整理
...	...	...
令和 18 年	2~	除伐

## ○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

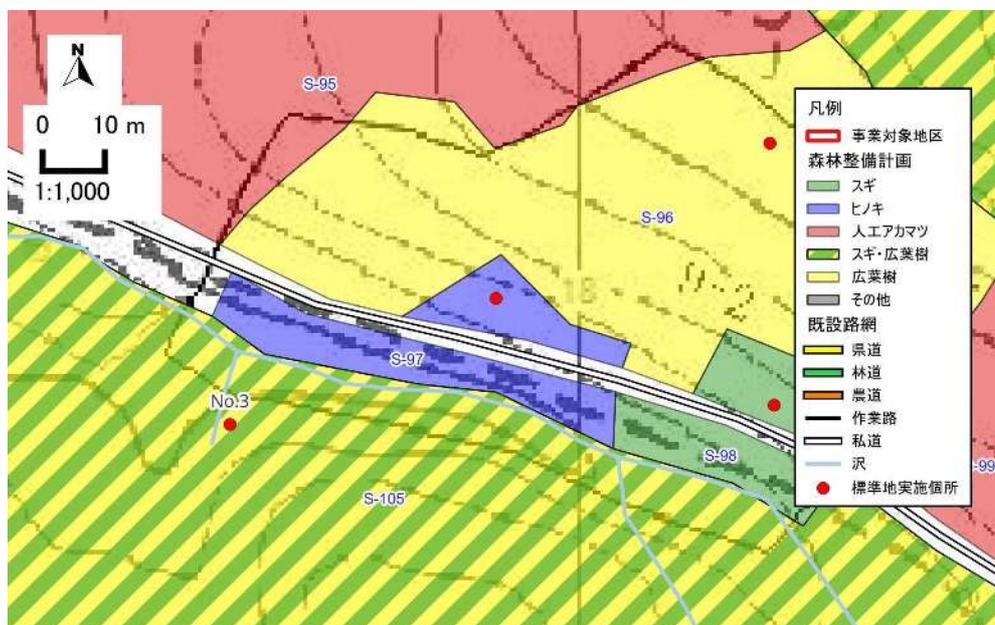
図表 705 S-96 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		104.14	m3	—	—	—
内 訳	AB材	70.29	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C材等	14.48	m3	13.9%	棚積み	—
	その他	19.27	m3	18.5%	棚積み	—
枝 葉		33.32	m3	拡大係数 1.32	棚積み	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

1.99 詳細設計(S-97 地区)

図表 706 S-97 地区



標準地調査の結果をもとに、S-97 地区の現況について図表 707 にまとめる。

図表 707 S-97 地区の現況

施業種	利用間伐
樹種・齢級	ヒノキ、7 齢級(33 年生)
実測面積	0.07ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	147 本(2,100 本/ha)、21.35m <sup>3</sup> (305.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 16cm、平均樹高 13m、形状比 81
目標林型	人工林・成熟段階
立木の状況	曲がり等の不良木が多数発生している。立木密度が高い。
下層植生	下層植生は極めて乏しく、ほとんど見られない。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-97 地区の標準地

図表 708 S-97 地区の施業内容

施業種	利用間伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	56 本(800 本/ha)、3.92m <sup>3</sup> (56.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 12cm、平均樹高 11m
伐採率	38.1%(本数)、18.4%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 709 にまとめる。

図表 709 S-97 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	ヒノキ	利用間伐 ⇒	ヒノキ
実測面積	0.07ha		0.07ha
本数	147 本(2,100 本/ha)		91 本(1,300 本/ha)
蓄積	21.35m <sup>3</sup> (305.0m <sup>3</sup> /ha)		17.43m <sup>3</sup> (249.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	16cm、13m		18cm、14m
相対幹距比(Sr)	17%		20%
形状比(H/D)	形状比 81		形状比 78

○将来計画

林木の成長に伴い、再び林内の光環境が悪化していくため、今後 10 年程度の間隔で間伐を実施することが望ましい。

図表 710 S-97 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	7	利用間伐 38.1%(整備後本数 1,300 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	9	間伐 30.0%(整備後本数 910 本/ha)
...	...	...
令和 28 年	11	主伐 100.0%(整備後本数 0 本/ha)

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

図表 711 S-97 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		3.92	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	2.65	m3	67.5%	搬出利用	並材
	C 材等	0.54	m3	13.9%	残置	—
	その他	0.73	m3	18.5%	残置	—
枝 葉		0.90	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.100 詳細設計(S-98 地区)

図表 712 S-98 地区



標準地調査の結果をもとに、S-98 地区の現況について図表 713 にまとめる。

図表 713 S-98 地区の現況

施業種	利用間伐
樹種・齢級	スギ、7 齢級(33 年生)
実測面積	0.07ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	140 本(2,000 本/ha)、31.99m <sup>3</sup> (457.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 19cm、平均樹高 15m、形状比 79
目標林型	人工林・成熟段階
立木の状況	立木密度が高い。
下層植生	下層植生は極めて乏しく、ほとんど見られない。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-98 地区の標準地

図表 714 S-98 地区の施業内容

施業種	利用間伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	56 本(800 本/ha)、8.61m <sup>3</sup> (123.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 16cm、平均樹高 13m
伐採率	40.0%(本数)、26.9%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 715 にまとめる。

図表 715 S-98 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	スギ	利用間伐 ⇒	スギ
実測面積	0.07ha		0.07ha
本数	140 本(2,000 本/ha)		84 本(1,200 本/ha)
蓄積	31.99m <sup>3</sup> (457.0m <sup>3</sup> /ha)		23.38m <sup>3</sup> (334.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	19cm、15m		21cm、16m
相対幹距比(Sr)	15%		18%
形状比(H/D)	形状比 79		形状比 76

## ○将来計画

10年後には標準伐期齢に達しているため、主伐・更新を適切に行う。

図表 716 S-98 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	7	利用間伐 40.0% (整備後本数 1,200 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	9	主伐 100.0% (整備後本数 0 本/ha)

## ○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

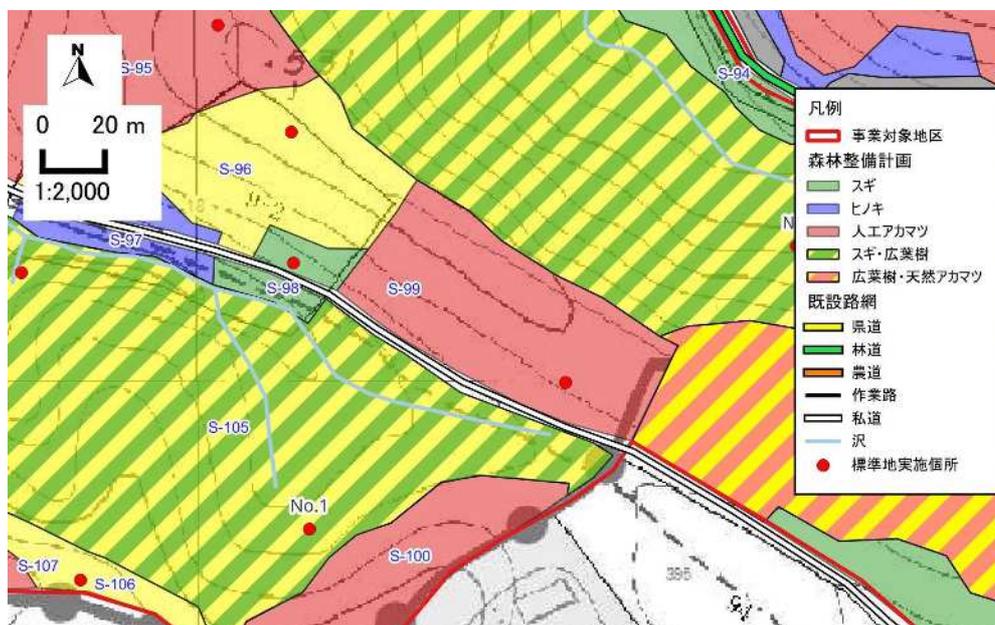
図表 717 S-98 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		8.61	m3	—	—	—
内 訳	AB材	5.81	m3	67.5%	搬出利用	並材
	C材等	1.20	m3	13.9%	残置	—
	その他	1.59	m3	18.5%	残置	—
枝 葉		1.98	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

1.101 詳細設計(S-99 地区)

図表 718 S-99 地区



標準地調査の結果をもとに、S-99 地区の現況について図表 719 にまとめる。

図表 719 S-99 地区の現況

施業種	人工林整理伐
樹種・齢級	人工アカマツ、12 齢級(59 年生)
実測面積	0.41ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	287 本(700 本/ha)、338.66m <sup>3</sup> (826.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 37cm、平均樹高 22m、形状比 59
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	曲がり等の不良木が多数発生している。立木密度が高い。ヤマザクラ、コシアブラ、クリ等の高木性の広葉樹が多く混じる。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-99 地区の標準地

図表 720 S-99 地区の施業内容

施業種	人工林整理伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	123 本(300 本/ha)、214.02m <sup>3</sup> (522.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 46cm、平均樹高 23m
伐採率	42.9%(本数)、63.2%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 721 にまとめる。

図表 721 S-99 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	人工アカマツ	人工林 整理伐 ⇒	人工アカマツ
実測面積	0.41ha		0.41ha
本数	287 本(700 本/ha)		164 本(400 本/ha)
蓄積	338.66m <sup>3</sup> (826.0m <sup>3</sup> /ha)		124.64m <sup>3</sup> (304.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	37cm、22m		31cm、21m
相対幹距比(Sr)	17%		24%
形状比(H/D)	形状比 59		形状比 68

○将来計画

10年後には標準伐期齢に達しているため、アカマツを主伐し広葉樹林化を図る。

図表 722 S-99 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	人工林整理伐 42.9% (整備後本数 400 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	15	主伐 100.0% (整備後本数 0 本/ha)

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

図表 723 S-99 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		214.02	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	144.46	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	29.75	m3	13.9%	残置	—
	その他	39.59	m3	18.5%	残置	—
枝 葉		49.22	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.102 詳細設計(S-100 地区)

図表 724 S-100 地区



標準地調査の結果をもとに、S-100 地区の現況について図表 725 にまとめる。

図表 725 S-100 地区の現況

施業種	人工林整理伐
樹種・齢級	人工アカマツ、12 齢級(59 年生)
実測面積	0.25ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	225 本(900 本/ha)、168.75m <sup>3</sup> (675.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 30cm、平均樹高 20m、形状比 67
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	曲がり等の不良木が多数発生している。立木密度が高い。コシアブラ等の高木性の広葉樹が多く混じる。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-100 地区の標準地

図表 726 S-100 地区の施業内容

施業種	人工林整理伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	100 本(400 本/ha)、116.25m <sup>3</sup> (465.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 38cm、平均樹高 23m
伐採率	44.4%(本数)、68.9%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 727 にまとめる。

図表 727 S-100 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	人工アカマツ	人工林 整理伐 ⇒	人工アカマツ
実測面積	0.25ha		0.25ha
本数	225 本(900 本/ha)		125 本(500 本/ha)
蓄積	168.75m <sup>3</sup> (675.0m <sup>3</sup> /ha)		52.50m <sup>3</sup> (210.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	30cm、20m		24cm、19m
相対幹距比(Sr)	17%		24%
形状比(H/D)	形状比 67		形状比 79

## ○将来計画

10年後には標準伐期齢に達しているため、アカマツを主伐し広葉樹林化を図る。

図表 728 S-100 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 6 年	13	人工林整理伐 44.4%(整備後本数 500 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	15	主伐 100.0%(整備後本数 0 本/ha)

## ○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

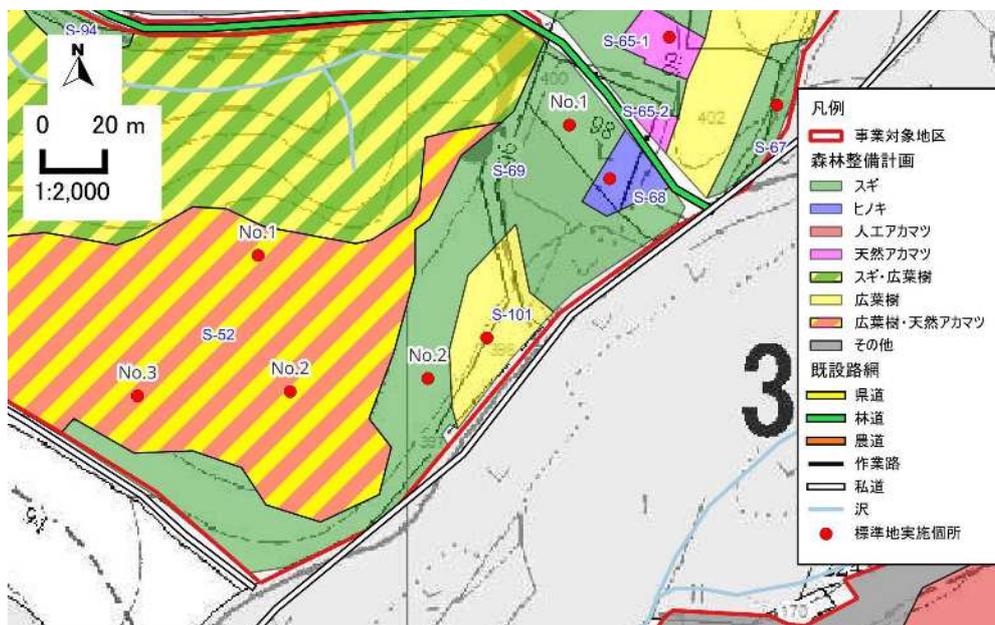
図表 729 S-100 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		116.25	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	78.47	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	16.16	m3	13.9%	残置	—
	その他	21.51	m3	18.5%	残置	—
枝 葉		26.74	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数=枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

1.103 詳細設計(S-101 地区)

図表 730 S-101 地区



標準地調査の結果をもとに、S-101 地区の現況について図表 731 にまとめる。

図表 731 S-101 地区の現況

施業種	更新伐
樹種・齢級	広葉樹、14 齢級(70 年生)
実測面積	0.10ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	140 本(1,400 本/ha)、44.50m <sup>3</sup> (445.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 20cm、平均樹高 15m、形状比 75
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	ウワミズザクラ、コナラ、イロハモミジ等の高木性の樹種が多い。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-101 地区の標準地

図表 732 S-101 地区の施業内容

施業種	更新伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	90 本(900 本/ha)、33.00m <sup>3</sup> (330.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 21cm、平均樹高 16m
伐採率	64.3%(本数)、74.2%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 733 にまとめる。

図表 733 S-101 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	広葉樹	更新伐 ⇒	広葉樹
実測面積	0.10ha		0.10ha
本数	140 本(1,400 本/ha)		50 本(500 本/ha)
蓄積	44.50m <sup>3</sup> (445.0m <sup>3</sup> /ha)		11.50m <sup>3</sup> (115.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	20cm、15m		18cm、14m
相対幹距比(Sr)	18%		32%
形状比(H/D)	形状比 75		形状比 78

○将来計画

3年後に萌芽の芽かき・刈出しを行い、その後、適宜除伐を実施することが望ましい。

図表 734 S-101 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	15	更新伐 64.3% (整備後本数 500 本/ha)
...	...	...
令和 11 年	1	萌芽整理
...	...	...
令和 18 年	2~	除伐

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

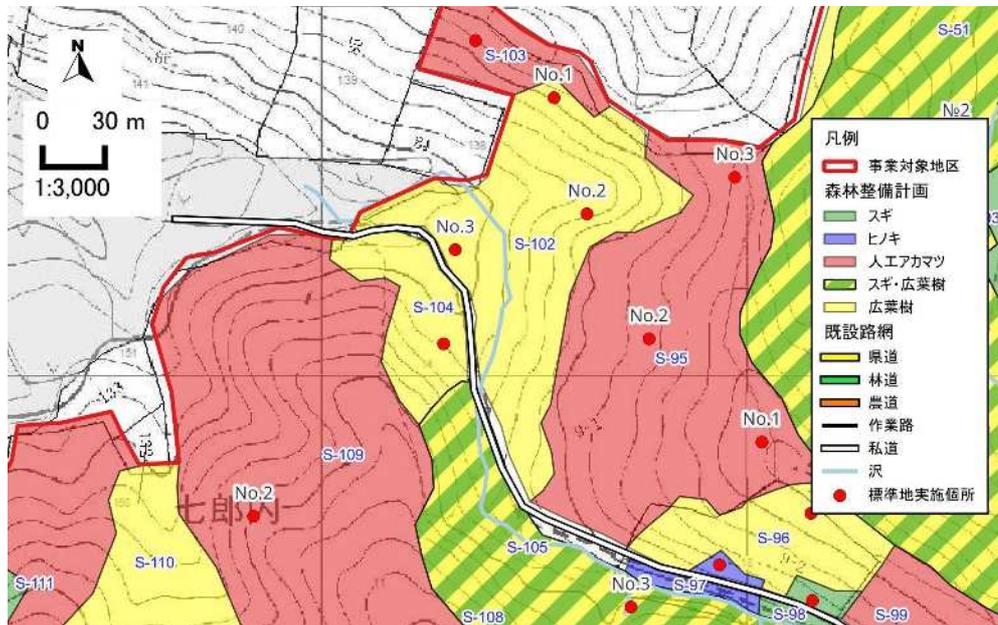
図表 735 S-101 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		33.00	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	22.28	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	4.59	m3	13.9%	棚積み	—
	その他	6.11	m3	18.5%	棚積み	—
枝 葉		10.56	m3	拡大係数 1.32	棚積み	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.104 詳細設計(S-102 地区)

図表 736 S-102 地区



標準地調査の結果をもとに、S-102 地区の現況について図表 737 にまとめる。

図表 737 S-102 地区の現況

施業種	更新伐
樹種・齢級	広葉樹、12 齢級(59 年生)
実測面積	1.11ha
標準地 <sup>※1</sup>	3 箇所(300m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	1,221 本(1,100 本/ha)、323.34m <sup>3</sup> (291.3m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 18cm、平均樹高 13m、形状比 72
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	ヤマザクラ、クリ、ホオノキ等の高木性の樹種が多い。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

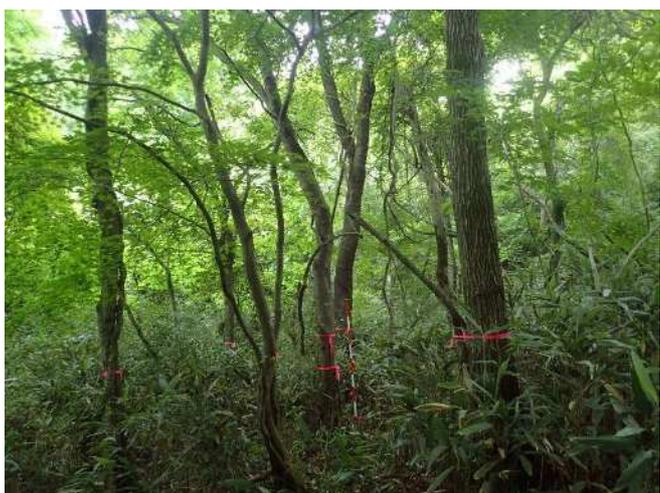
※2 上層木のみ値。



S-102 地区の No. 1 標準地



S-102 地区の No. 2 標準地



S-102 地区の No. 3 標準地

図表 738 S-102 地区の施業内容

施業種	更新伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	888 本(800 本/ha)、253.86m <sup>3</sup> (228.7m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 19cm、平均樹高 13m
伐採率	67.8%(本数)、80.2%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 739 にまとめる。

図表 739 S-102 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	広葉樹	更新伐 ⇒	広葉樹
実測面積	1.11ha		1.11ha
本数	1,221 本(1,100 本/ha)		333 本(300 本/ha)
蓄積	323.34m <sup>3</sup> (291.3m <sup>3</sup> /ha)		69.60m <sup>3</sup> (62.7m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	18cm、13m		16cm、14m
相対幹距比(Sr)	23%		41%
形状比(H/D)	形状比 72		形状比 88

#### ○将来計画

3 年後に萌芽の芽かき・刈出しを行い、その後、適宜除伐を実施することが望ましい。

図表 740 S-102 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	更新伐 67.8%(整備後本数 300 本/ha)
...	...	...
令和 11 年	1	萌芽整理
...	...	...
令和 18 年	2~	除伐

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

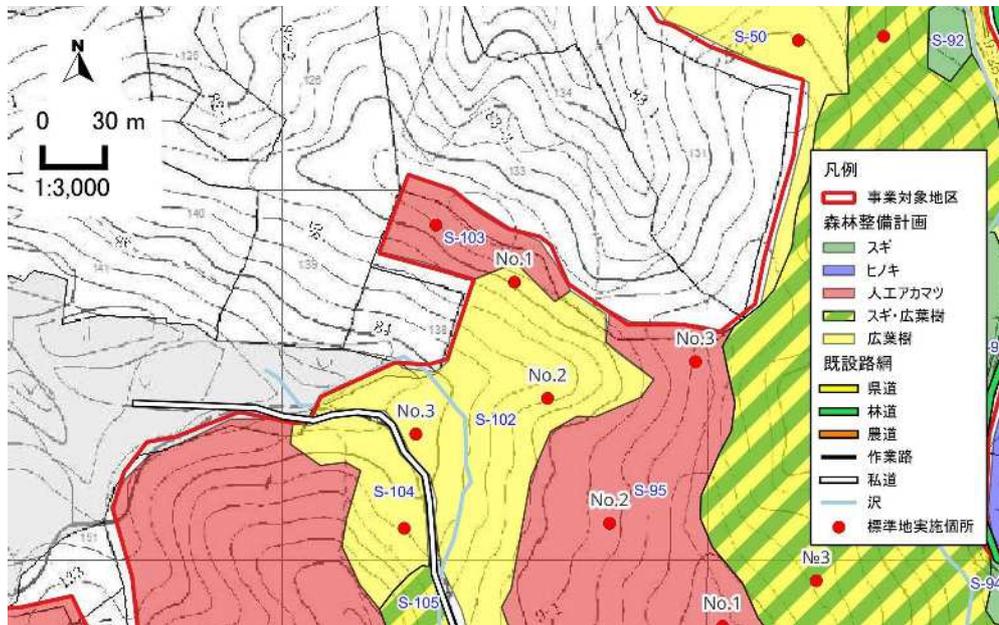
図表 741 S-102 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		253.86	m3	—	—	—
内 訳	AB材	171.36	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C材等	35.29	m3	13.9%	棚積み	—
	その他	46.96	m3	18.5%	棚積み	—
枝 葉		81.24	m3	拡大係数 1.32	棚積み	—

※拡大係数=枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.105 詳細設計(S-103 地区)

図表 742 S-103 地区



標準地調査の結果をもとに、S-103 地区の現況について図表 743 にまとめる。

図表 743 S-103 地区の現況

施業種	人工林整理伐
樹種・齢級	人工アカマツ、12 齢級(59 年生)
実測面積	0.24ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	216 本(900 本/ha)、186.24m <sup>3</sup> (776.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 32cm、平均樹高 23m、形状比 72
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	曲がり等の不良木が多数発生している。立木密度が高い。ウワミズザクラ、ヤマザクラ、ミズキ等の高木性の広葉樹が多く混じる。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-103 地区の標準地

図表 744 S-103 地区の施業内容

施業種	人工林整理伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	96 本(400 本/ha)、73.68m <sup>3</sup> (307.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 31cm、平均樹高 22m
伐採率	44.4%(本数)、39.6%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 745 にまとめる。

図表 745 S-103 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	人工アカマツ	人工林 整理伐 ⇒	人工アカマツ
実測面積	0.24ha		0.24ha
本数	216 本(900 本/ha)		120 本(500 本/ha)
蓄積	186.24m <sup>3</sup> (776.0m <sup>3</sup> /ha)		112.56m <sup>3</sup> (469.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	32cm、23m		33cm、23m
相対幹距比(S <sub>r</sub> )	14%		19%
形状比(H/D)	形状比 72		形状比 70

## ○将来計画

10年後には標準伐期齢に達しているため、アカマツを主伐し広葉樹林化を図る。

図表 746 S-103 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	人工林整理伐 44.4%(整備後本数 500 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	15	主伐 100.0%(整備後本数 0 本/ha)

## ○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

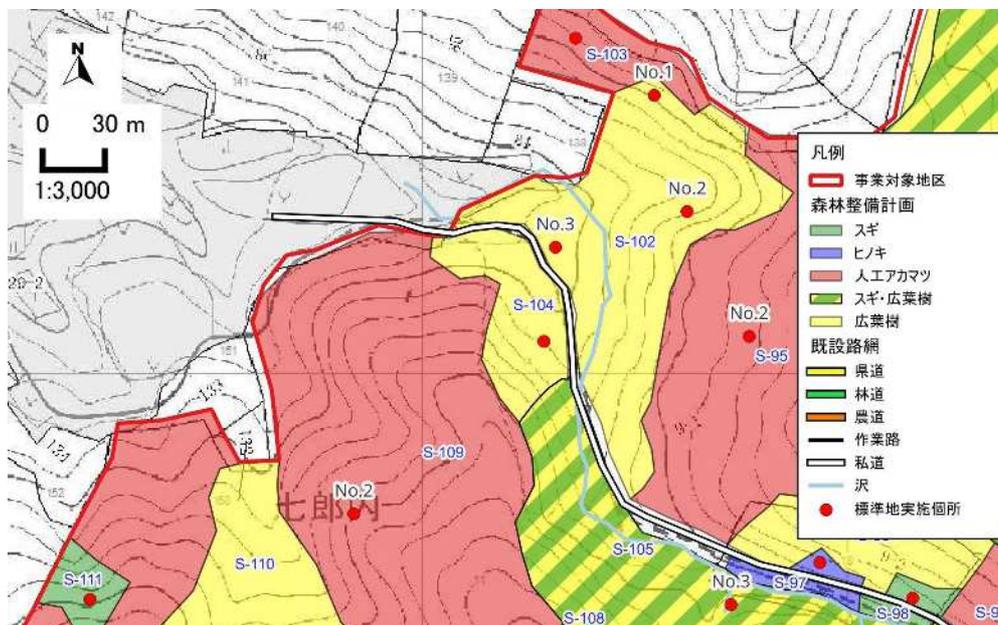
図表 747 S-103 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		73.68	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	49.73	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	10.24	m3	13.9%	残置	—
	その他	13.63	m3	18.5%	残置	—
枝 葉		16.95	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数=枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

1.106 詳細設計(S-104 地区)

図表 748 S-104 地区



標準地調査の結果をもとに、S-104 地区の現況について図表 749 にまとめる。

図表 749 S-104 地区の現況

施業種	更新伐
樹種・齢級	広葉樹、12 齢級(59 年生)
実測面積	0.31ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	558 本(1,800 本/ha)、84.01m <sup>3</sup> (271.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 14cm、平均樹高 12m、形状比 86
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	クリ、ミズキ、ウワミズザクラ等の高木性の樹種が多い。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-104 地区の標準地

図表 750 S-104 地区の施業内容

施業種	更新伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	372 本(1,200 本/ha)、67.27m <sup>3</sup> (217.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 15cm、平均樹高 13m
伐採率	66.7%(本数)、80.1%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 751 にまとめる。

図表 751 S-104 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	広葉樹	更新伐 ⇒	広葉樹
実測面積	0.31ha		0.31ha
本数	558 本(1,800 本/ha)		186 本(600 本/ha)
蓄積	84.01m <sup>3</sup> (271.0m <sup>3</sup> /ha)		16.74m <sup>3</sup> (54.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	14cm、12m		11cm、10m
相対幹距比(Sr)	20%		41%
形状比(H/D)	形状比 86		形状比 91

○将来計画

3年後に萌芽の芽かき・刈出しを行い、その後、適宜除伐を実施することが望ましい。

図表 752 S-104 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	更新伐 66.7% (整備後本数 600 本/ha)
...	...	...
令和 11 年	1	萌芽整理
...	...	...
令和 18 年	2~	除伐

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

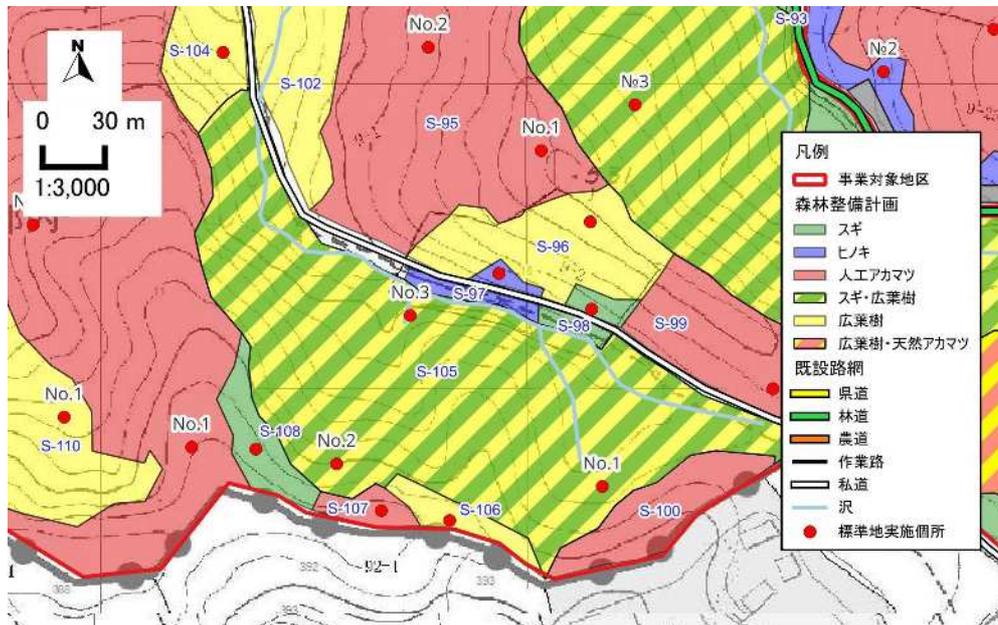
図表 753 S-104 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		67.27	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	45.41	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	9.35	m3	13.9%	棚積み	—
	その他	12.44	m3	18.5%	棚積み	—
枝 葉		21.53	m3	拡大係数 1.32	棚積み	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.107 詳細設計(S-105 地区)

図表 754 S-105 地区



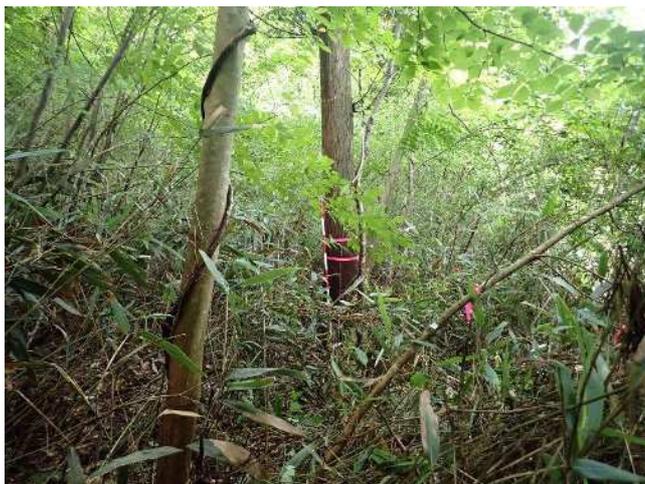
標準地調査の結果をもとに、S-105 地区の現況について図表 755 にまとめる。

図表 755 S-105 地区の現況

施業種	除伐
樹種・齢級	スギ・広葉樹、3 齢級(14 年生)
実測面積	2.42ha
標準地 <sup>※1</sup>	3 箇所(300m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	9,922 本(4,100 本/ha)、431.00m <sup>3</sup> (178.1m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 7cm、平均樹高 7m、形状比 100
目標林型	人工林・成熟段階
立木の状況	スギを上層、広葉樹を下層とした複層林(二段林)。 クリ、ヤマザクラ、ミズキ等の高木性の樹種の生育が、ヤマグワ等の低木性の樹種やササ類、フジ等のツル性植物により阻害されている。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-105 地区の No. 1 標準地



S-105 地区の No. 2 標準地



S-105 地区の No. 3 標準地

図表 756 S-105 地区の施業内容

施業種	除伐
方針	広葉樹の不用木を伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	3,146本(1,300本/ha)、33.40m <sup>3</sup> (13.8m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径5cm、平均樹高6m
伐採率	38.1%(本数)、7.4%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 757 にまとめる。

図表 757 S-105 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	スギ・広葉樹	除伐 ⇒	スギ・広葉樹
実測面積	2.42ha		2.42ha
本数	9,922本(4,100本/ha)		6,776本(2,800本/ha)
蓄積	431.00m <sup>3</sup> (178.1m <sup>3</sup> /ha)		397.61m <sup>3</sup> (164.3m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	7cm、7m		8cm、7m
相対幹距比(Sr)	22%		27%
形状比(H/D)	形状比100		形状比88

#### ○将来計画

雑木の繁茂が著しい場合、適宜除伐を実施することが望ましい。

図表 758 S-105 地区の将来計画

年	齢級	施業
令和8年	4	除伐 38.1%(整備後本数2,800本/ha)
...	...	...
令和18年	6	除伐

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

図表 759 S-105 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		33.40	m3	—	—	—
内 訳	AB材	22.55	m3	67.5%	残置	—
	C材等	4.64	m3	13.9%	残置	—
	その他	6.18	m3	18.5%	残置	—
枝 葉		7.68	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数=枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.108 詳細設計(S-106 地区)

図表 760 S-106 地区



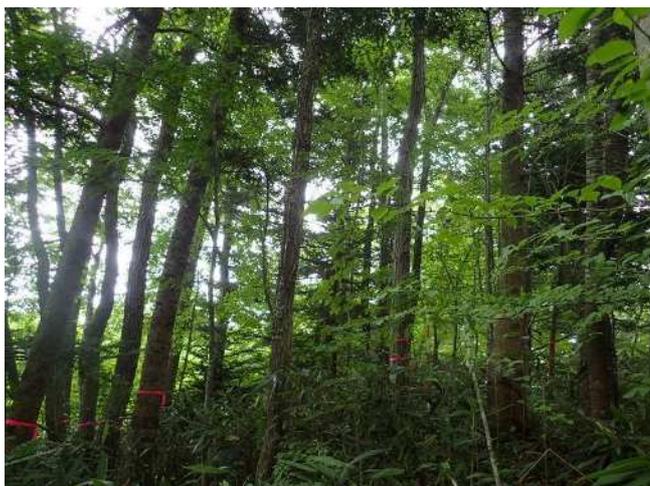
標準地調査の結果をもとに、S-106 地区の現況について図表 761 にまとめる。

図表 761 S-106 地区の現況

施業種	更新伐
樹種・齢級	広葉樹、12 齢級(59 年生)
実測面積	0.09ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	216 本(2,400 本/ha)、52.47m <sup>3</sup> (583.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 17cm、平均樹高 13m、形状比 76
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	コナラ、クリ、ヤマザクラ等の高木性の樹種が多い。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-106 地区の標準地

図表 762 S-106 地区の施業内容

施業種	更新伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	144 本(1,600 本/ha)、39.87m <sup>3</sup> (443.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 18cm、平均樹高 12m
伐採率	66.7%(本数)、76.0%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 763 にまとめる。

図表 763 S-106 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	広葉樹	更新伐 ⇒	広葉樹
実測面積	0.09ha		0.09ha
本数	216 本(2,400 本/ha)		72 本(800 本/ha)
蓄積	52.47m <sup>3</sup> (583.0m <sup>3</sup> /ha)		12.60m <sup>3</sup> (140.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	17cm、13m		17cm、13m
相対幹距比(Sr)	16%		27%
形状比(H/D)	形状比 76		形状比 76

## ○将来計画

3年後に萌芽の芽かき・刈出しを行い、その後、適宜除伐を実施することが望ましい。

図表 764 S-106 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	更新伐 66.7% (整備後本数 800 本/ha)
...	...	...
令和 11 年	1	萌芽整理
...	...	...
令和 18 年	2~	除伐

## ○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

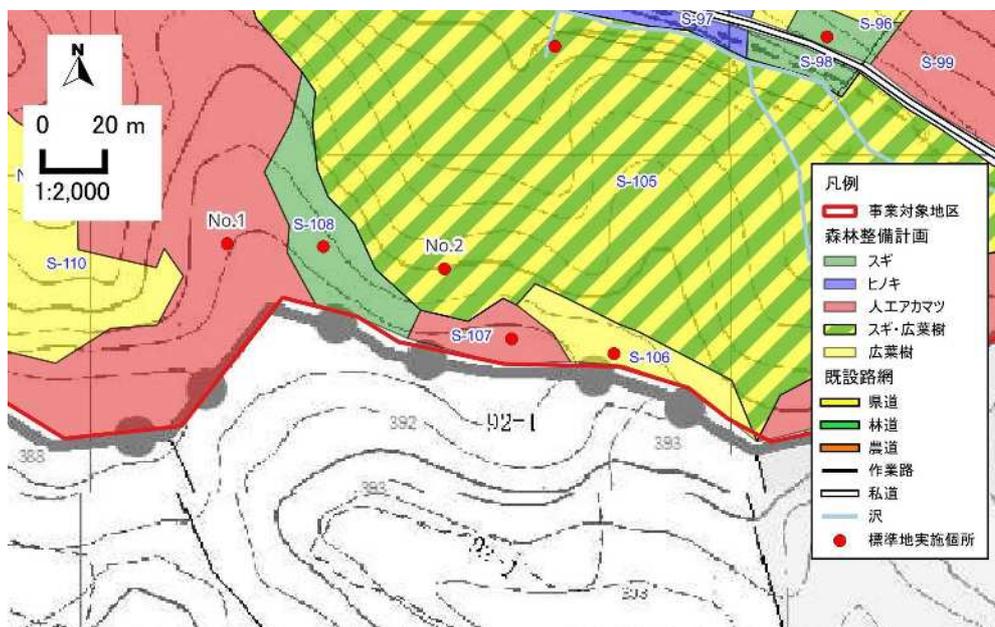
図表 765 S-106 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		39.87	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	26.91	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	5.54	m3	13.9%	棚積み	—
	その他	7.38	m3	18.5%	棚積み	—
枝 葉		12.76	m3	拡大係数 1.32	棚積み	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

1.109 詳細設計(S-107 地区)

図表 766 S-107 地区



標準地調査の結果をもとに、S-107 地区の現況について図表 767 にまとめる。

図表 767 S-107 地区の現況

施業種	人工林整理伐
樹種・齢級	人工アカマツ、12 齢級(59 年生)
実測面積	0.06ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	78 本(1,300 本/ha)、44.16m <sup>3</sup> (736.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 27cm、平均樹高 20m、形状比 74
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	曲がり等の不良木が多数発生している。モミが混じる。立木密度が高い。コナラ等の高木性の広葉樹が多く混じる。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-107 地区の標準地

図表 768 S-107 地区の施業内容

施業種	人工林整理伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	36 本(600 本/ha)、18.96m <sup>3</sup> (316.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 27cm、平均樹高 19m
伐採率	46.2%(本数)、42.9%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 739 にまとめる。

図表 769 S-107 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	人工アカマツ	人工林 整理伐 ⇒	人工アカマツ
実測面積	0.06ha		0.06ha
本数	78 本(1,300 本/ha)		42 本(700 本/ha)
蓄積	44.16m <sup>3</sup> (736.0m <sup>3</sup> /ha)		25.20m <sup>3</sup> (420.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	27cm、20m		27cm、21m
相対幹距比(Sr)	14%		18%
形状比(H/D)	形状比 74		形状比 78

○将来計画

10年後には標準伐期齢に達しているため、アカマツを主伐し広葉樹林化を図る。

図表 770 S-107 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	人工林整理伐 46.2% (整備後本数 700 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	18	主伐 100.0% (整備後本数 0 本/ha)

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

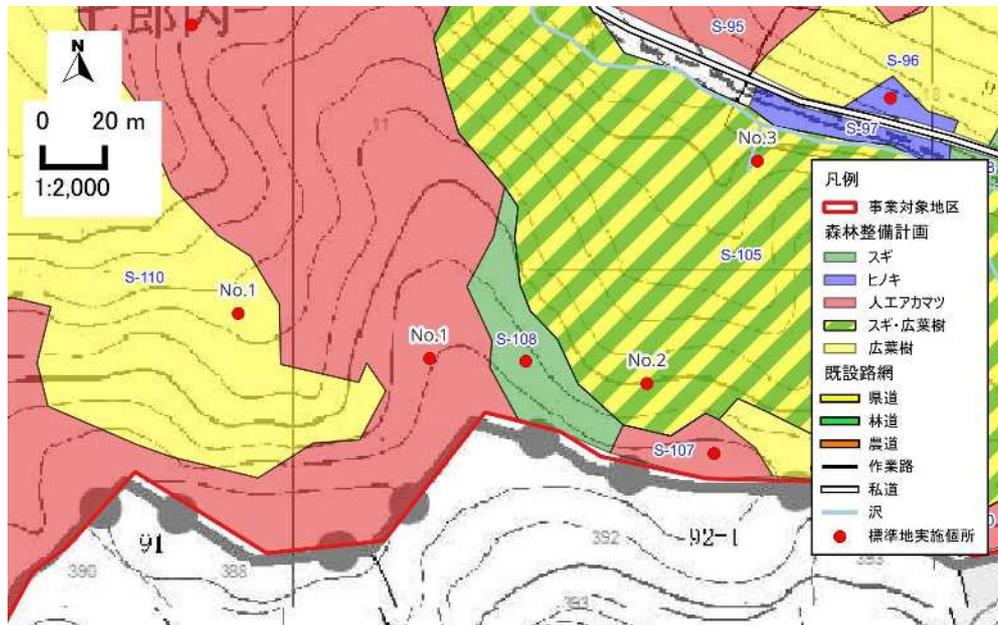
図表 771 S-107 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		18.96	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	12.80	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	2.64	m3	13.9%	残置	—
	その他	3.51	m3	18.5%	残置	—
枝 葉		4.36	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.110 詳細設計(S-108 地区)

図表 772 S-108 地区



標準地調査の結果をもとに、S-108 地区の現況について図表 773 にまとめる。

図表 773 S-108 地区の現況

施業種	利用間伐
樹種・齢級	スギ、12 齢級(59 年生)
実測面積	0.14ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	140 本(1,000 本/ha)、101.22m <sup>3</sup> (723.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 30cm、平均樹高 20m、形状比 67
目標林型	人工林・成熟段階
立木の状況	曲がり等の不良木が多数発生している。立木密度が高い。
下層植生	下層植生は乏しく、高木性・低木性の広葉樹が見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-108 地区の標準地

図表 774 S-108 地区の施業内容

施業種	利用間伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	56 本(400 本/ha)、20.72m <sup>3</sup> (148.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 23cm、平均樹高 18m
伐採率	40.0%(本数)、20.5%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 775 にまとめる。

図表 775 S-108 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	スギ	利用間伐 ⇒	スギ
実測面積	0.14ha		0.14ha
本数	140 本(1,000 本/ha)		84 本(600 本/ha)
蓄積	101.22m <sup>3</sup> (723.0m <sup>3</sup> /ha)		80.50m <sup>3</sup> (575.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	30cm、20m		36cm、21m
相対幹距比(S <sub>r</sub> )	16%		19%
形状比(H/D)	形状比 67		形状比 58

## ○将来計画

10年後には標準伐期齢に達しているため、主伐・更新を適切に行う。

図表 776 S-108 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	利用間伐 40.0%(整備後本数 600 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	15	主伐 100.0%(整備後本数 0 本/ha)

## ○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

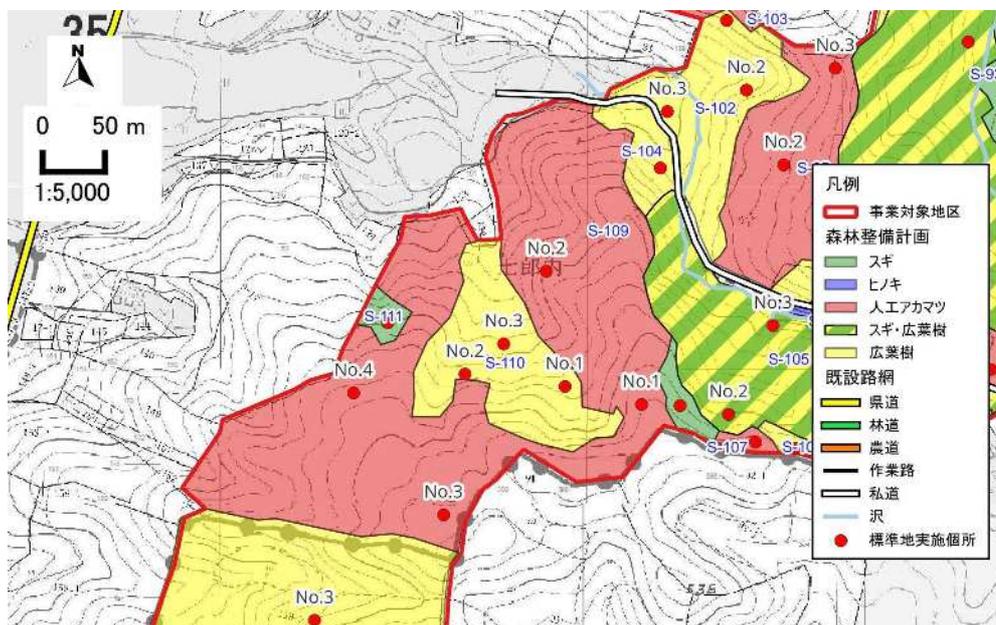
図表 777 S-108 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		20.72	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	13.99	m3	67.5%	搬出利用	並材
	C 材等	2.88	m3	13.9%	残置	—
	その他	3.83	m3	18.5%	残置	—
枝 葉		4.77	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

1.111 詳細設計(S-109 地区)

図表 778 S-109 地区



標準地調査の結果をもとに、S-109 地区の現況について図表 779 にまとめる。

図表 779 S-109 地区の現況

施業種	人工林整理伐
樹種・齢級	人工アカマツ、12 齢級(59 年生)
実測面積	5.92ha
標準地 <sup>※1</sup>	4 箇所(400m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	5,328 本(900 本/ha)、3,950.42m <sup>3</sup> (667.3m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 31cm、平均樹高 20m、形状比 65
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	曲がり等の不良木が多数発生している。立木密度が高い。コシアブラ、ヤマザクラ、コシアブラ等の高木性の広葉樹が多く混じる。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-109 地区の No. 1 標準地



S-109 地区の No. 2 標準地



S-109 地区の No. 3 標準地



S-109 地区の No. 4 標準地

図表 780 S-109 地区の施業内容

施業種	人工林整理伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	2,368 本(400 本/ha)、2,500.02m <sup>3</sup> (422.3m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 36cm、平均樹高 21m
伐採率	48.6%(本数)、62.2%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 781 にまとめる。

図表 781 S-109 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	人工アカマツ	人工林 整理伐 ⇒	人工アカマツ
実測面積	5.92ha		5.92ha
本数	5,328 本(900 本/ha)		2,960 本(500 本/ha)
蓄積	3,950.42m <sup>3</sup> (667.3m <sup>3</sup> /ha)		1,450.40m <sup>3</sup> (245.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	31cm、20m		27cm、19m
相対幹距比(Sr)	17%		24%
形状比(H/D)	形状比 65		形状比 70

## ○将来計画

10年後には標準伐期齢に達しているため、アカマツを主伐し広葉樹林化を図る。

図表 782 S-109 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	人工林整理伐 48.6%(整備後本数 500 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	15	主伐 100.0%(整備後本数 0 本/ha)

## ○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

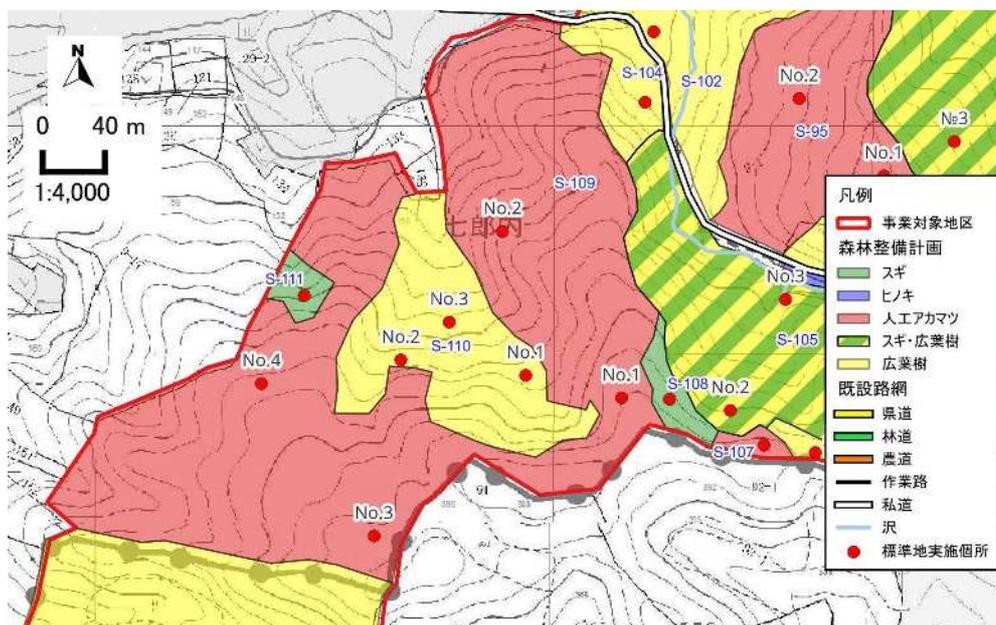
図表 783 S-109 地区の木材量

区 分	内 容			利用方法	材区分	
	伐採材積(立木)	2,500.02	m3	—	—	
内 訳	AB 材	1,687.51	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	347.50	m3	13.9%	残置	—
	その他	462.50	m3	18.5%	残置	—
	枝 葉	575.00	m3	拡大係数 1.23	残置	—

※拡大係数=枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

1.112 詳細設計(S-110 地区)

図表 784 S-110 地区



標準地調査の結果をもとに、S-110 地区の現況について図表 785 にまとめる。

図表 785 S-110 地区の現況

施業種	更新伐
樹種・齢級	広葉樹、12 齢級(59 年生)
実測面積	1.29ha
標準地 <sup>※1</sup>	3 箇所(300m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	1,935 本(1,500 本/ha)、776.97m <sup>3</sup> (602.3m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 22cm、平均樹高 14m、形状比 64
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	コナラ、クリ、ミズキ等の高木性の樹種が多い。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-110 地区の No. 1 標準地



S-110 地区の No. 2 標準地



S-110 地区の No. 3 標準地

図表 786 S-110 地区の施業内容

施業種	更新伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	1,290本(1,000本/ha)、665.64m <sup>3</sup> (516.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径25cm、平均樹高15m
伐採率	66.6%(本数)、86.2%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 787 にまとめる。

図表 787 S-110 地区の整備後の状況

区 分	整備前		整備後
樹種	広葉樹	更新伐 ⇒	広葉樹
実測面積	1.29ha		1.29ha
本数	1,935本(1,500本/ha)		645本(500本/ha)
蓄積	776.97m <sup>3</sup> (602.3m <sup>3</sup> /ha)		111.33m <sup>3</sup> (86.3m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	22cm、14m		15cm、11m
相対幹距比(Sr)	18%		41%
形状比(H/D)	形状比64		形状比73

○将来計画

3年後に萌芽の芽かき・刈出しを行い、その後、適宜除伐を実施することが望ましい。

図表 788 S-110 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和8年	13	更新伐 66.6%(整備後本数500本/ha)
...	...	...
令和11年	1	萌芽整理
...	...	...
令和18年	2~	除伐

## ○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

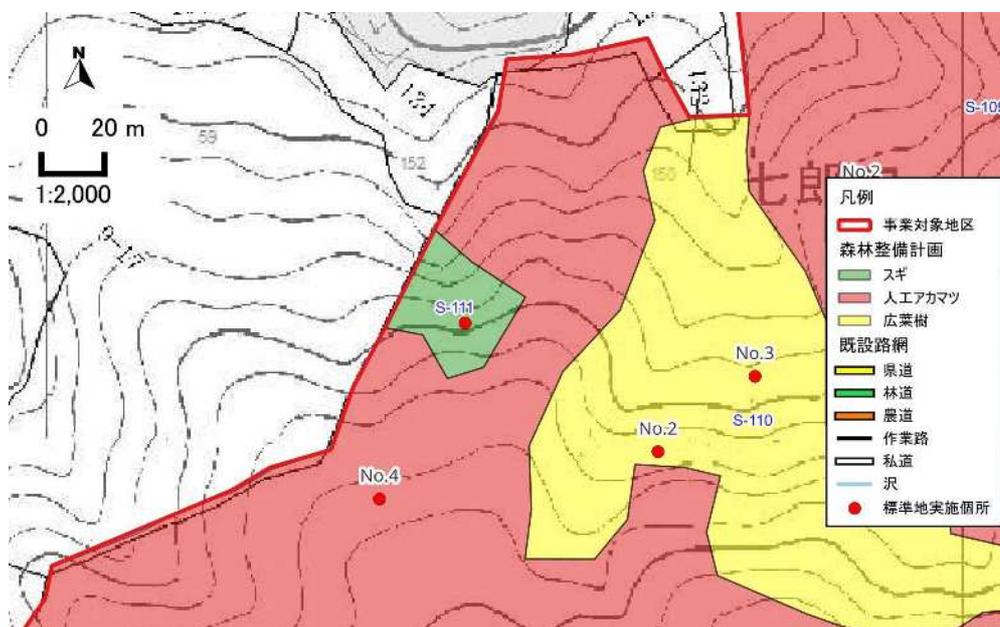
図表 789 S-110 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		665.64	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	449.31	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	92.52	m3	13.9%	棚積み	—
	その他	123.14	m3	18.5%	棚積み	—
枝 葉		213.00	m3	拡大係数 1.32	棚積み	—

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

1.113 詳細設計(S-111 地区)

図表 790 S-111 地区



標準地調査の結果をもとに、S-111 地区の現況について図表 791 にまとめる。

図表 791 S-111 地区の現況

施業種	利用間伐
樹種・齢級	スギ、12 齢級(59 年生)
実測面積	0.11ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	88 本(800 本/ha)、135.30m <sup>3</sup> (1,230.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 43cm、平均樹高 24m、形状比 56
目標林型	人工林・成熟段階
立木の状況	立木密度が高い。
下層植生	下層植生は乏しく、高木性・低木性の広葉樹が見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-111 地区の標準地

図表 792 S-111 地区の施業内容

施業種	利用間伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	33 本(300 本/ha)、34.32m <sup>3</sup> (312.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 36cm、平均樹高 22m
伐採率	37.5%(本数)、25.4%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 793 にまとめる。

図表 793 S-111 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	スギ	利用間伐 ⇒	スギ
実測面積	0.11ha		0.11ha
本数	88 本(800 本/ha)		55 本(500 本/ha)
蓄積	135.30m <sup>3</sup> (1,230.0m <sup>3</sup> /ha)		100.98m <sup>3</sup> (918.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	43cm、24m		47cm、25m
相対幹距比(Sr)	15%		18%
形状比(H/D)	形状比 56		形状比 53

○将来計画

10 年後には標準伐期齢に達しているため、主伐・更新を適切に行う。

図表 794 S-111 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	13	利用間伐 37.5% (整備後本数 500 本/ha)
...	...	...
令和 18 年	15	主伐 100.0% (整備後本数 0 本/ha)

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

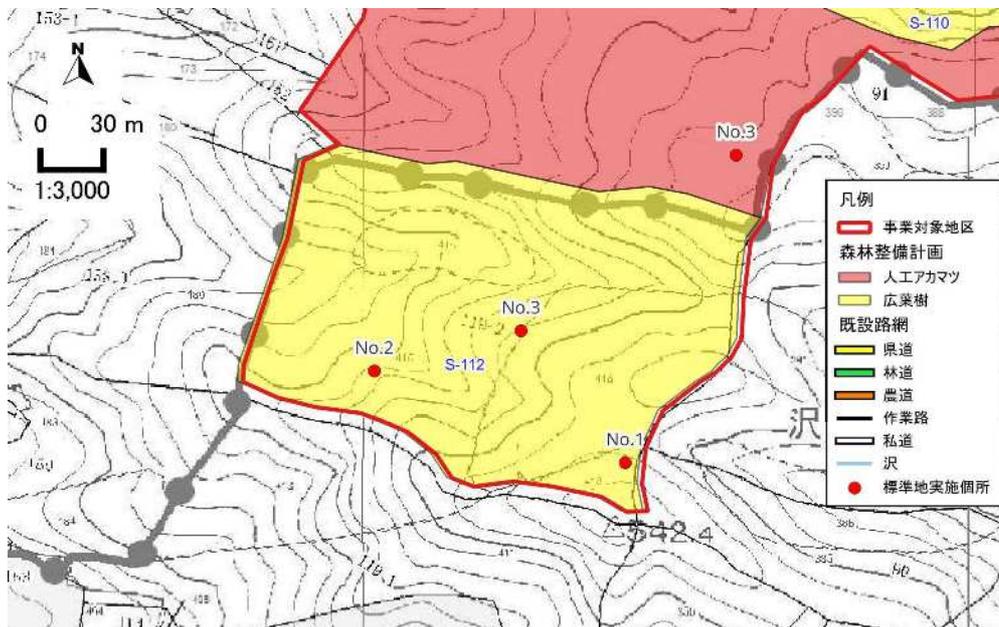
図表 795 S-111 地区の木材量

区 分	内 容			利用方法	材区分	
伐採材積(立木)	34.32	m3	—	—	—	
内 訳	AB 材	23.17	m3	67.5%	搬出利用	並材
	C 材等	4.77	m3	13.9%	残置	—
	その他	6.35	m3	18.5%	残置	—
枝 葉	7.89	m3	拡大係数 1.23	残置	—	

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.114 詳細設計(S-112 地区)

図表 796 S-112 地区



標準地調査の結果をもとに、S-112 地区の現況について図表 797 にまとめる。

図表 797 S-112 地区の現況

施業種	更新伐
樹種・齢級	広葉樹、8 齢級(38 年生)
実測面積	2.93ha
標準地 <sup>※1</sup>	3 箇所(300m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	7,618 本(2,600 本/ha)、917.09m <sup>3</sup> (313.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 14cm、平均樹高 11m、形状比 79
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	コナラ、クリ、ヤマザクラ等の高木性の樹種が多い。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-112 地区の No. 1 標準地



S-112 地区の No. 2 標準地



S-112 地区の No. 3 標準地

図表 798 S-112 地区の施業内容

施業種	更新伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	5,274本(1,800本/ha)、630.83m <sup>3</sup> (215.3m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径14cm、平均樹高11m
伐採率	67.9%(本数)、70.5%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 799 にまとめる。

図表 799 S-112 地区の整備後の状況

区 分	整備前		整備後
樹種	広葉樹	更新伐 ⇒	広葉樹
実測面積	2.93ha		2.93ha
本数	7,618本(2,600本/ha)		2,344本(800本/ha)
蓄積	917.09m <sup>3</sup> (313.0m <sup>3</sup> /ha)		286.26m <sup>3</sup> (97.7m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	14cm、11m		14cm、12m
相対幹距比(Sr)	18%		29%
形状比(H/D)	形状比 79		形状比 86

○将来計画

3年後に萌芽の芽かき・刈出しを行い、その後、適宜除伐を実施することが望ましい。

図表 800 S-112 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和8年	8	更新伐 67.9%(整備後本数800本/ha)
...	...	...
令和11年	1	萌芽整理
...	...	...
令和18年	2~	除伐

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

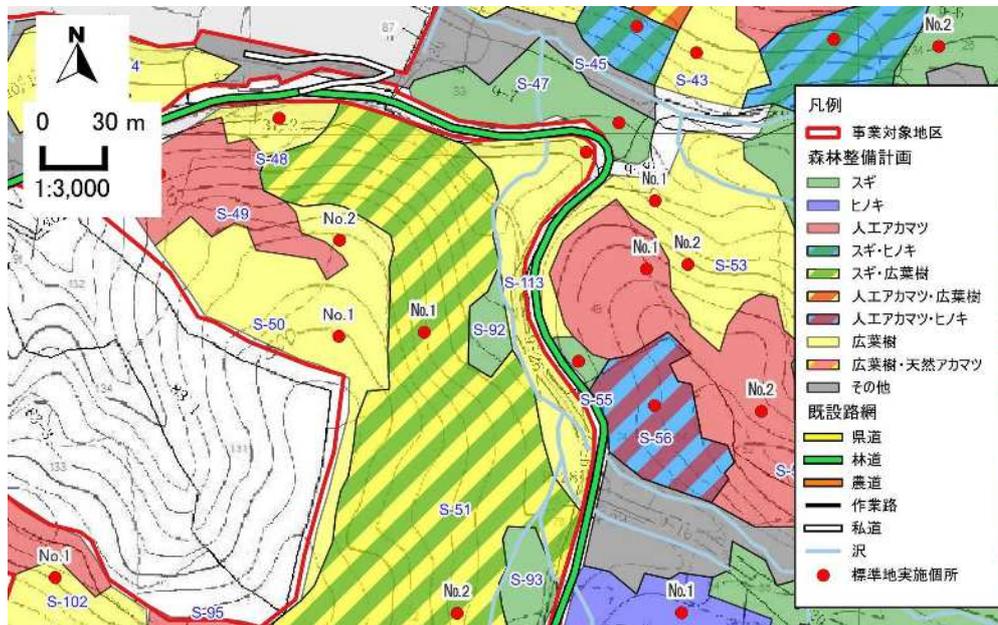
図表 801 S-112 地区の木材量

区 分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		630.83	m3	—	—	—
内 訳	AB 材	425.81	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	87.69	m3	13.9%	棚積み	—
	その他	116.70	m3	18.5%	棚積み	—
枝 葉		201.87	m3	拡大係数 1.32	棚積み	—

※拡大係数=枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 1.115 詳細設計(S-113 地区)

図表 802 S-113 地区



標準地調査の結果をもとに、S-113 地区の現況について図表 803 にまとめる。

図表 803 S-113 地区の現況

施業種	更新伐
樹種・齢級	広葉樹、15 齢級(72 年生)
実測面積	0.37ha
標準地 <sup>※1</sup>	1 箇所(100m <sup>2</sup> )
本数・蓄積 <sup>※2</sup>	555 本(1,500 本/ha)、220.52m <sup>3</sup> (596.0m <sup>3</sup> /ha)
直径・樹高 <sup>※2</sup>	平均直径 22cm、平均樹高 17m、形状比 77
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	ウワミズザクラ、コナラ等の高木性の樹種が多い。
下層植生	下層植生は高木性・低木性の広葉樹が多く見られる。
その他	なし

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ値。



S-113 地区の標準地

図表 804 S-113 地区の施業内容

施業種	更新伐
方針	劣勢木、不良木を伐採する。配置バランスを考慮して、近接している木を伐採する。高木性の樹種を優先的に残す。コナラは優先的に伐採する。
伐採本数・材積 <sup>※1</sup>	370 本(1,000 本/ha)、167.98m <sup>3</sup> (454.0m <sup>3</sup> /ha)
伐採木直径・樹高 <sup>※1</sup>	平均直径 23cm、平均樹高 16m
伐採率	66.7%(本数)、76.2%(材積)
その他	なし

※1 上層木のみ値。

森林整備に伴う林分状況の変化を図表 805 にまとめる。

図表 805 S-113 地区の整備後の状況

区分	整備前		整備後
樹種	広葉樹	更新伐 ⇒	広葉樹
実測面積	0.37ha		0.37ha
本数	555 本(1,500 本/ha)		185 本(500 本/ha)
蓄積	220.52m <sup>3</sup> (596.0m <sup>3</sup> /ha)		52.54m <sup>3</sup> (142.0m <sup>3</sup> /ha)
直径、樹高	22cm、17m		20cm、17m
相対幹距比(Sr)	15%		26%
形状比(H/D)	形状比 77		形状比 85

## ○将来計画

3年後に萌芽の芽かき・刈出しを行い、その後、適宜除伐を実施することが望ましい。

図表 806 S-113 地区の将来計画

年	齢 級	施 業
令和 8 年	15	更新伐 66.7% (整備後本数 500 本/ha)
...	...	...
令和 11 年	1	萌芽整理
...	...	...
令和 18 年	2~	除伐

## ○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

図表 807 S-113 地区の木材量

区 分	内 容			利用方法	材区分	
伐採材積(立木)	167.98	m3	—	—	—	
内 訳	AB 材	113.39	m3	67.5%	搬出利用	チップ材
	C 材等	23.35	m3	13.9%	棚積み	—
	その他	31.08	m3	18.5%	棚積み	—
枝 葉	53.75	m3	拡大係数 1.32	棚積み	—	

※拡大係数＝枝葉を含めた体積/幹材積 針葉樹は 1.23、広葉樹は 1.32。

## 2. 路網整備

## 2.1 中心線測量の結果

森林作業道の平面線形について中心線測量を行った。中心線測量の結果を図表にまとめる。

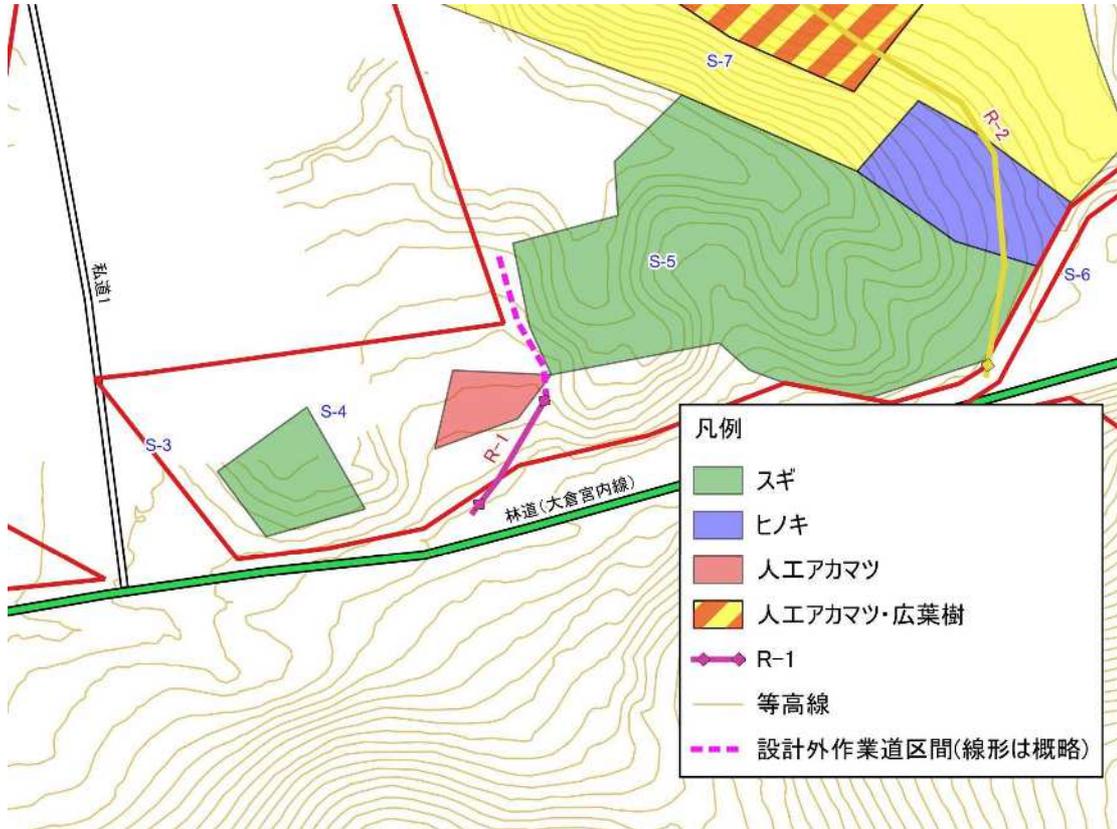
図表 808 中心線測量の結果一覧

No.	実測延長(m)	通過区域
R-1	20.0	
R-2	144.0	S-5, 6, 7, 9, 10
R-3	80.0	S-14
R-4	271.0	S-49, 51, 92
R-5	548.0	S-18, 27, 37, 42
R-6	173.0	S-37, 53
R-7	15.0	S-37
R-8	279.0	S-37, 38, 39
R-9	15.0	S-37
R-10	15.0	S-39
R-11	424.0	S-18, 21, 44, 46
R-12	220.0	S-18, 23
R-13	119.0	S-18, 20, 23
R-14	194.0	S-18, 23
R-15	235.0	S-18, 32
R-16	60.0	S-18, 27
R-17	80.0	S-18, 23, 24, 27
R-18	99.0	S-27, 29
R-19	233.0	S-53, 54, 55, 56
R-20	15.0	S-54
R-21	151.0	S-58
R-22	30.0	S-60
R-23	134.0	S-60, 62
R-24	404.0	S-51, 94
R-25	586.0	S-51, 52, 69, 95, 96, 99
R-26	201.0	S-57, 62, 64, 66
R-27	123.0	S-62, 63, 64, 66
R-28	150.0	S-57, 62, 66
R-29	40.0	S-75
R-30	30.0	S-70, 71

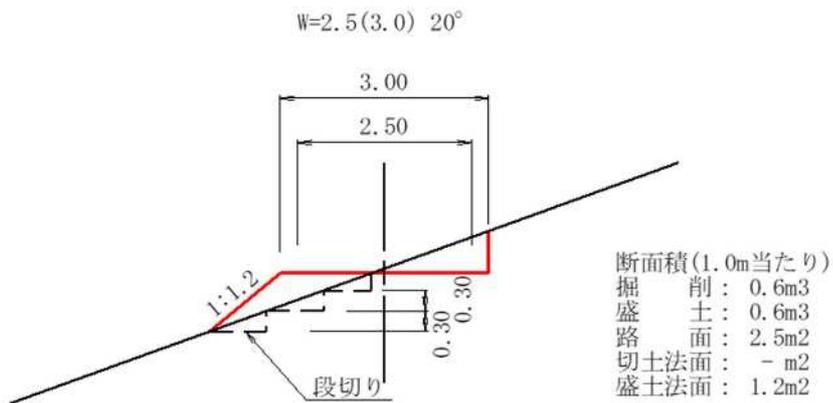
R-31	10.0	S-70
R-32	224.0	S-75, 76, 79
R-33	222.0	S-77, 78, 81
R-34	132.0	S-83
R-35	113.0	S-86, 88
R-36	69.0	S-88, 89
R-37	115.0	S-52
R-38	650.0	S-100, 105, 106, 107, 108, 109, 110
R-39	89.0	S-95, 102
R-40	183.0	S-104, 109
R-41	273.0	S-105, 108, 109, 110
R-42	376.0	S-109, 112
R-43	346.0	S-109, 112
R-44	55.0	S-109
R-45	30.0	S-109
R-46	22.0	S-112
R-47	23.0	S-112
合計	8,020.0	

2.2 詳細設計 (R-1)

図表 809 R-1 の平面図



図表 810 R-1 の標準横断面図





R-1 起点



R-1 終点

図表 811 R-1 の構造・数量

延長	20.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

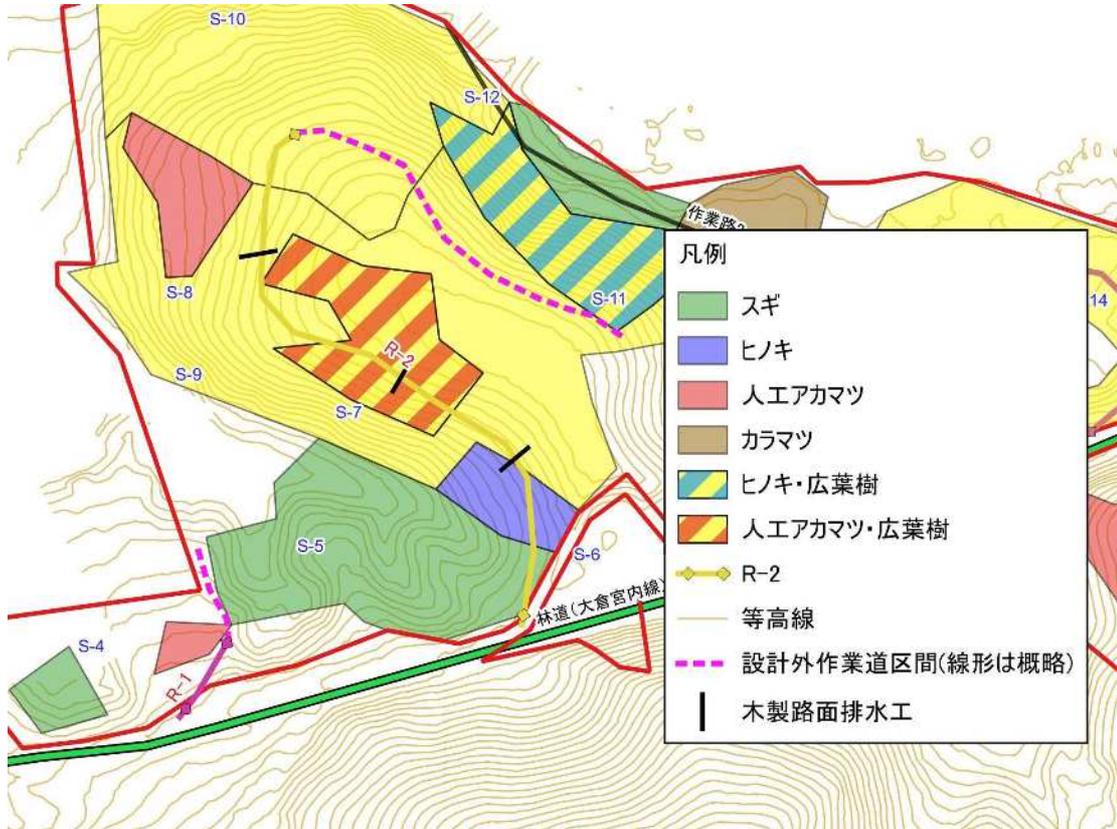
図表 812 R-1 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-4 外の平坦地			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~20.0	-15%	-3m	20.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

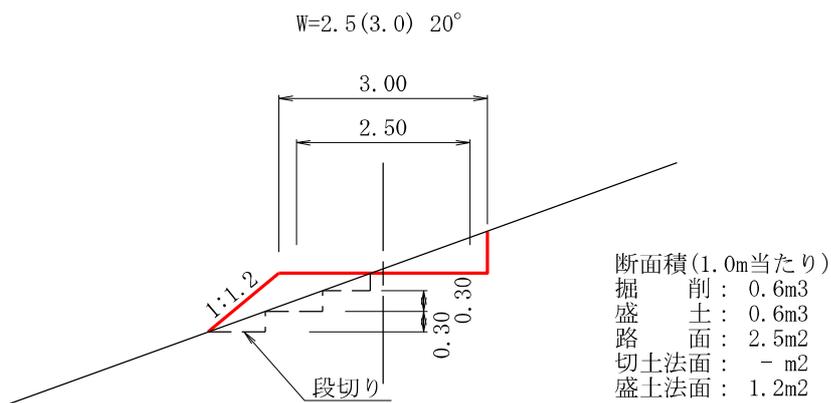
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

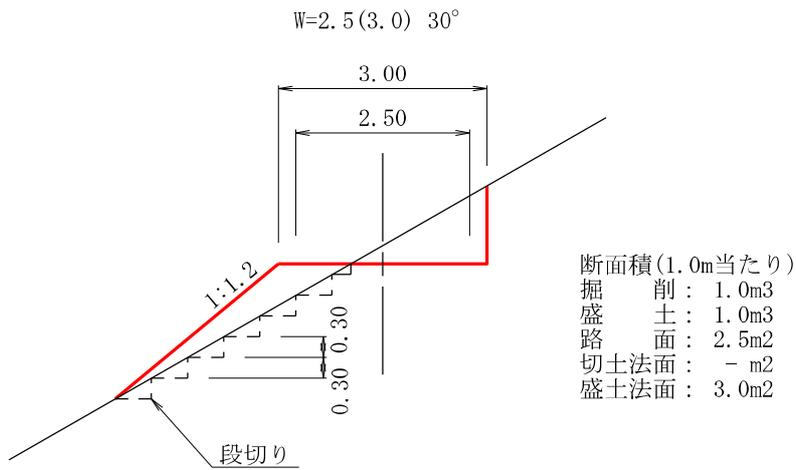
2.3 詳細設計 (R-2)

図表 813 R-2 の平面図



図表 814 R-2 の標準横断面図





R-2 起点



R-2 終点

図表 815 R-2 の構造・数量

延長	144.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

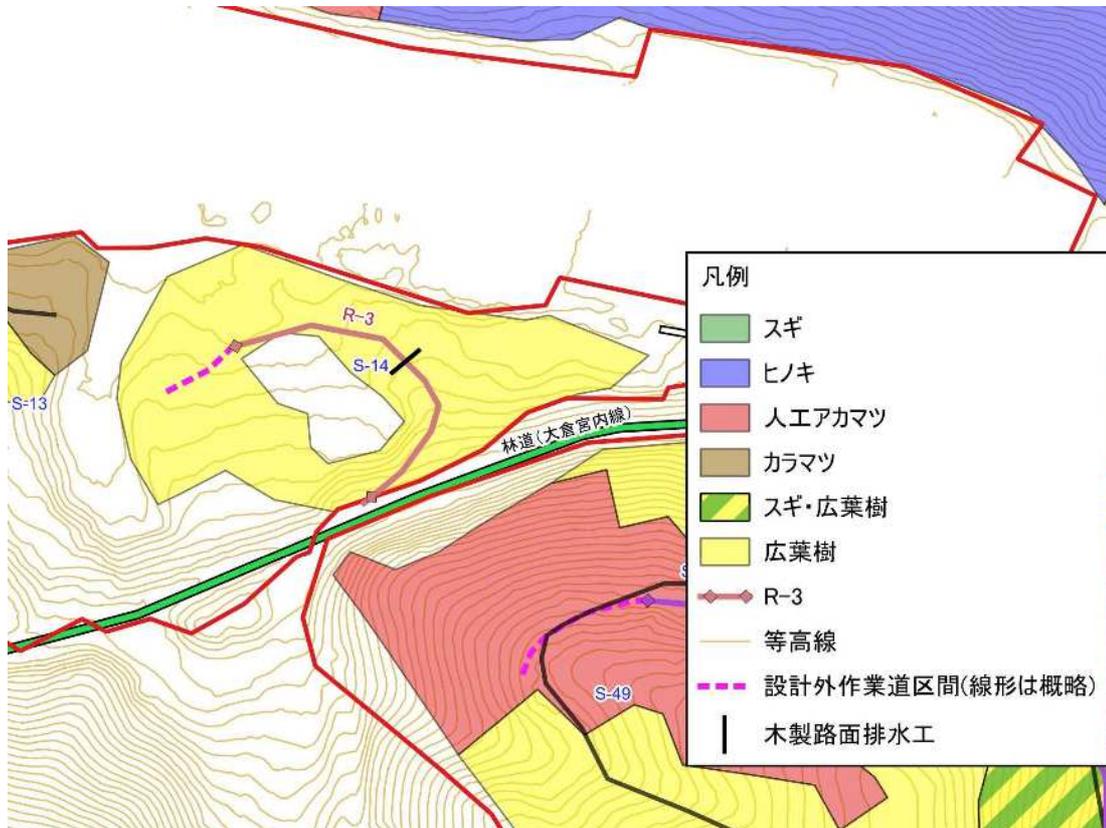
図表 816 R-2 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-10 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~77.1	+4%	+3m	77.1m
	77.1~144.0	-7%	-5m	66.9m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 3 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

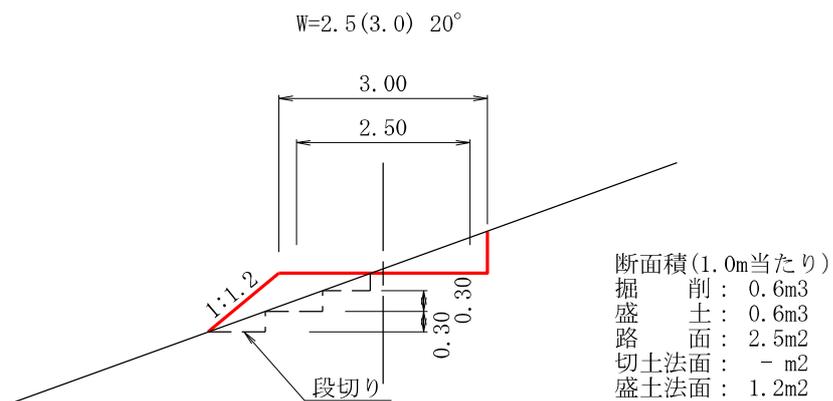
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.4 詳細設計(R-3)

図表 817 R-3 の平面図



図表 818 R-3 の標準横断面図





R-3 起点



R-3 終点

図表 819 R-3 の構造・数量

延長	80.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

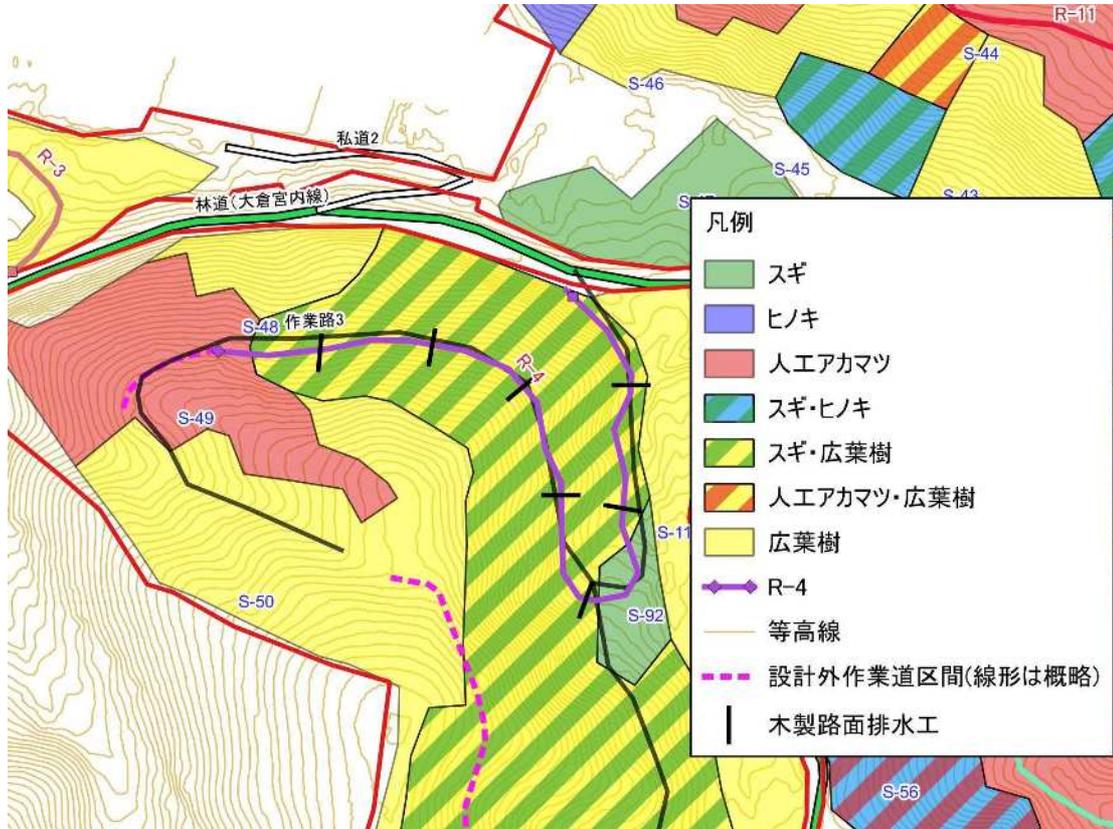
図表 820 R-3 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-14 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~80.0	-11%	-9m	80.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

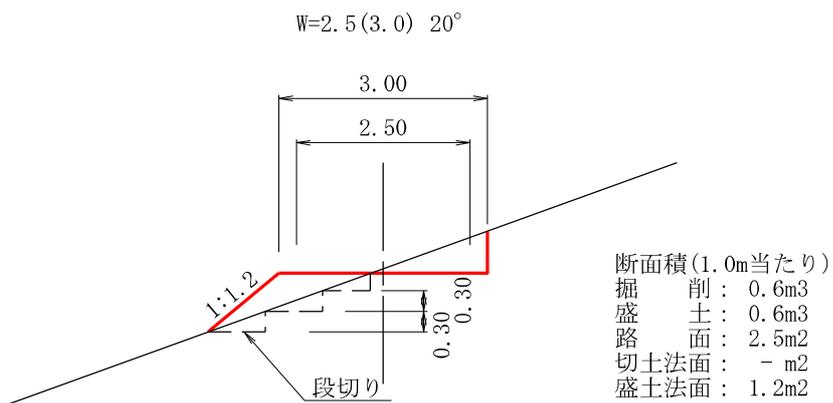
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

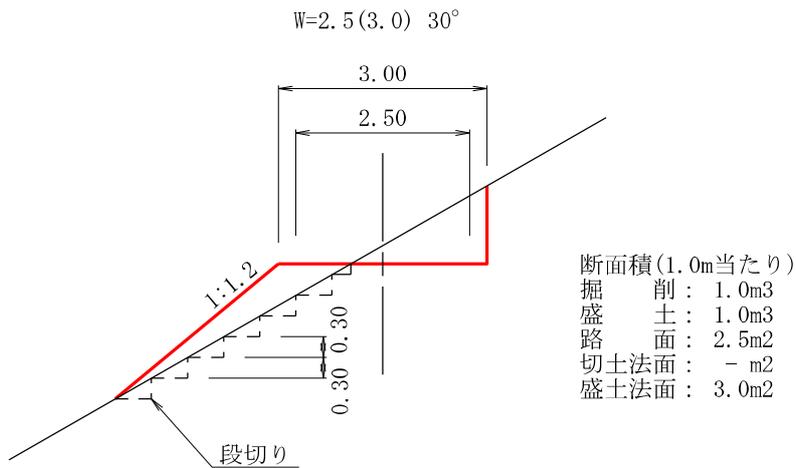
2.5 詳細設計 (R-4)

図表 821 R-4 の平面図



図表 822 R-4 の標準横断面図





R-4 起点



R-4 終点

図表 823 R-4 の構造・数量

延長	271.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

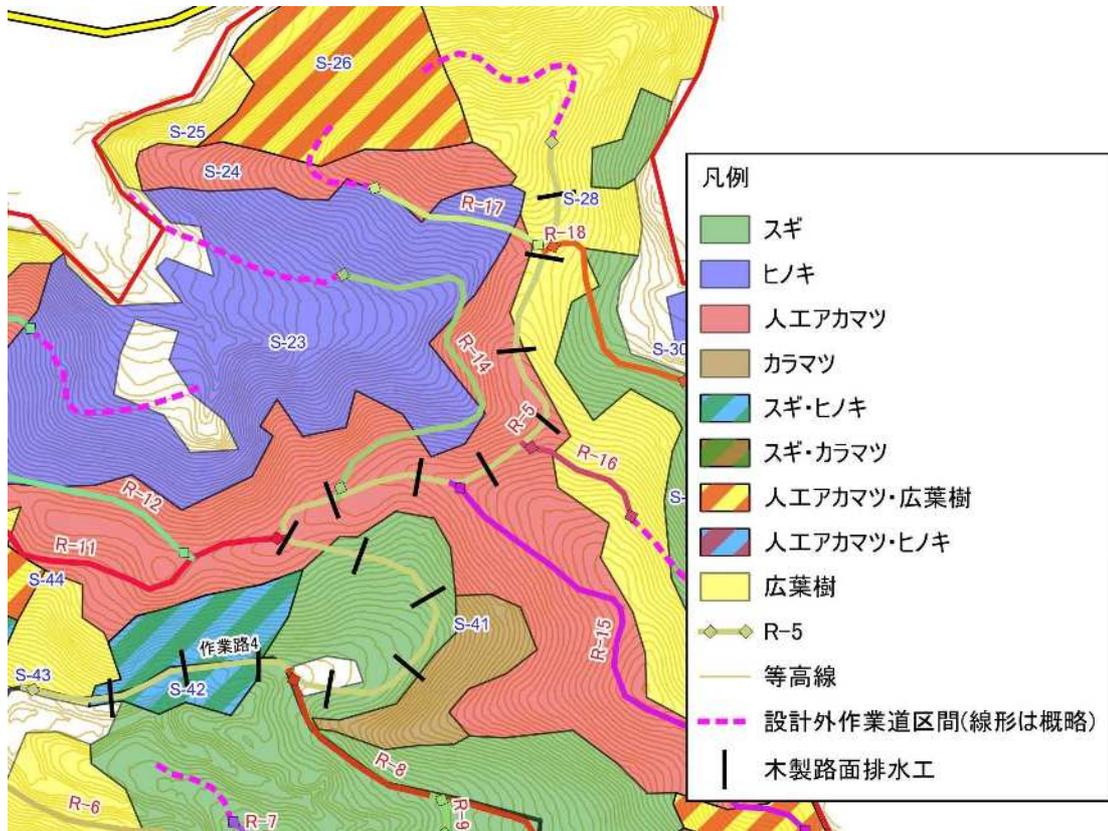
図表 824 R-4 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-49 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~171.7	+12%	+21m	171.7m
	171.7~214.6	-7%	-3m	42.9m
	214.6~271.0	+5%	+3m	56.4m
ヘアピンカーブ	1箇所			
排水施設	木製路面排水工7箇所			
構造物	なし			
切土	1:0.0			
盛土	1:1.2			

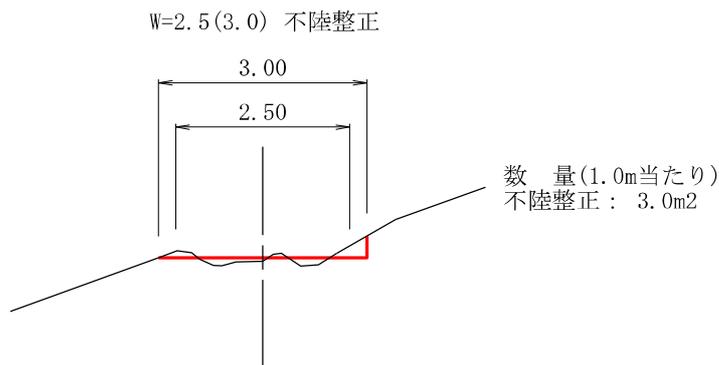
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

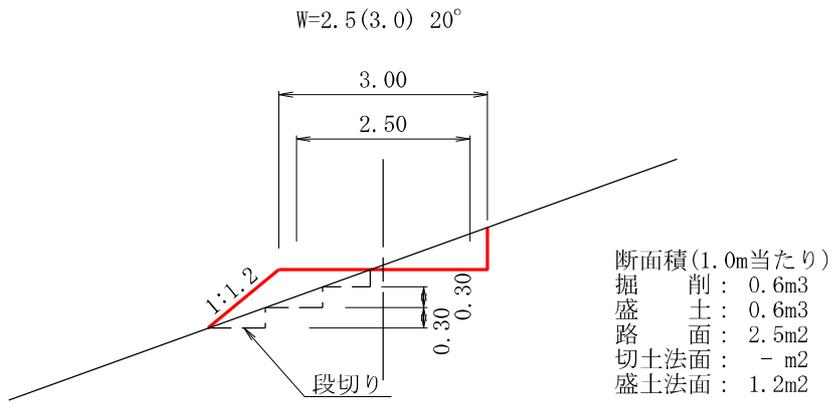
2.6 詳細設計 (R-5)

図表 825 R-5 の平面図



図表 826 R-5 の標準横断面図





R-5 起点



R-5 終点

図表 827 R-5 の構造・数量

延長	548.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

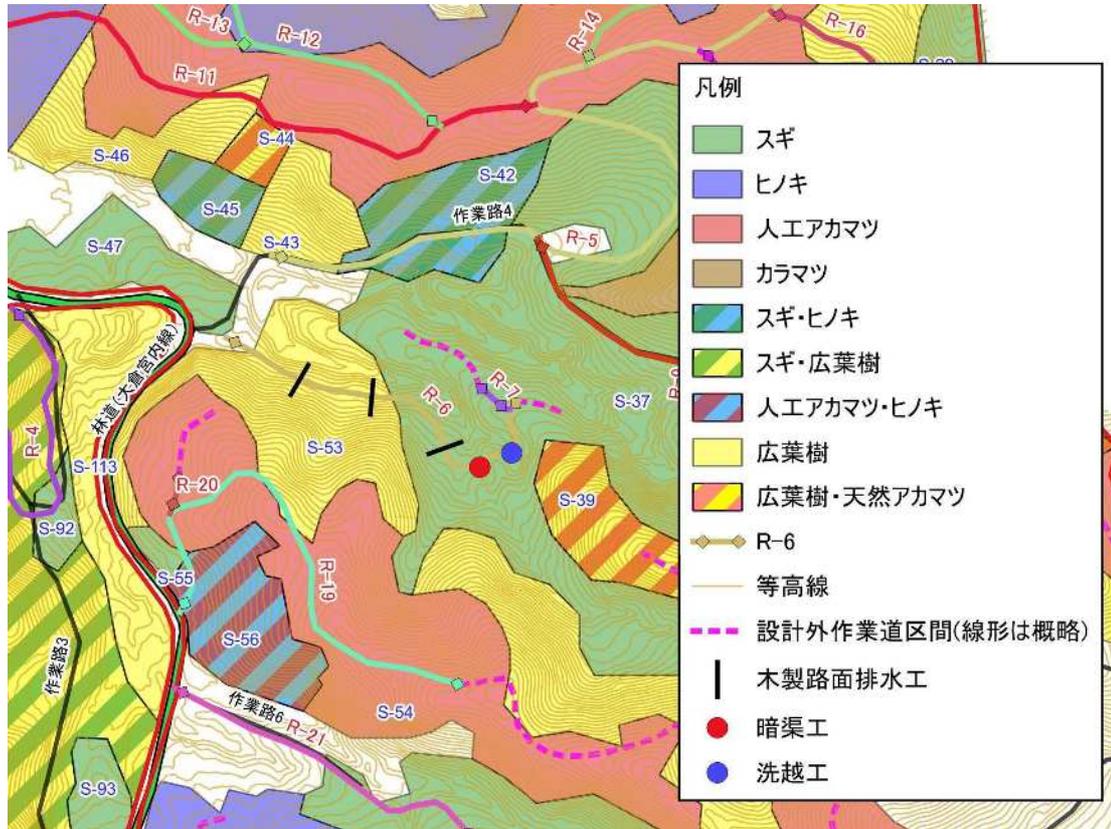
図表 828 R-5 の設計説明

項目	内 容			
起点	既設道			
終点	S-28 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~225.4	+12%	+26m	225.4m
	225.4~373.7	+11%	+16m	148.3m
	373.7~497.8	-10%	-12m	124.1m
	497.8~548.0	+14%	+7m	50.2m
ヘアピンカーブ	1 箇所			
排水施設	木製路面排水工 15 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

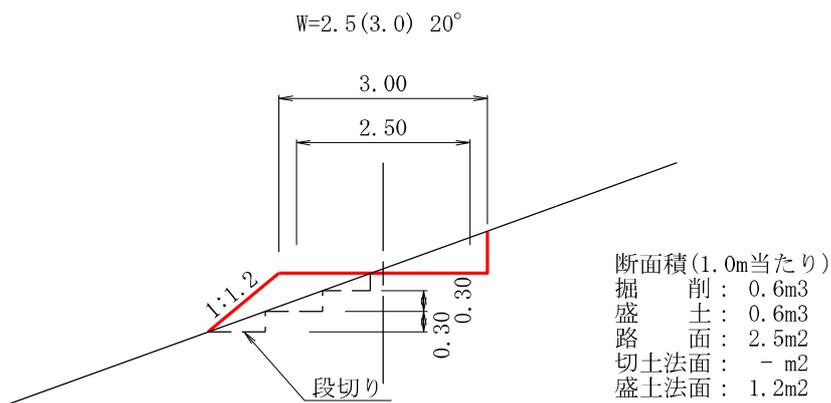
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

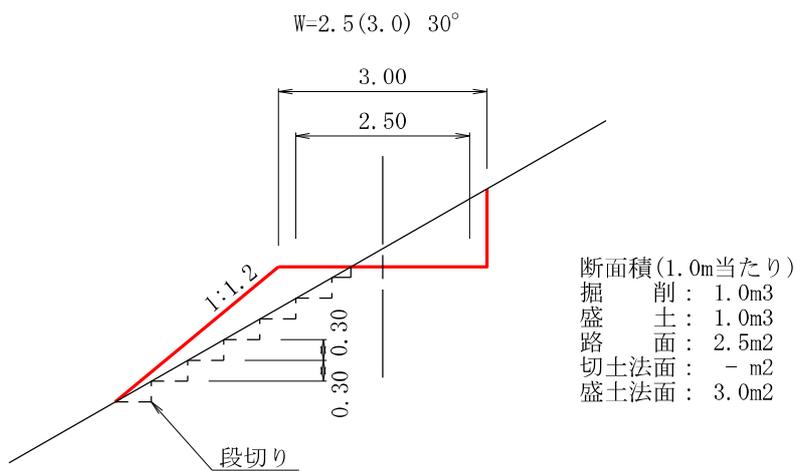
2.7 詳細設計 (R-6)

図表 829 R-6 の平面図



図表 830 R-6 の標準横断面図





R-6 起点



暗渠工計画地



洗越工計画地



R-6 終点

図表 831 R-6 の構造・数量

延長	173.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

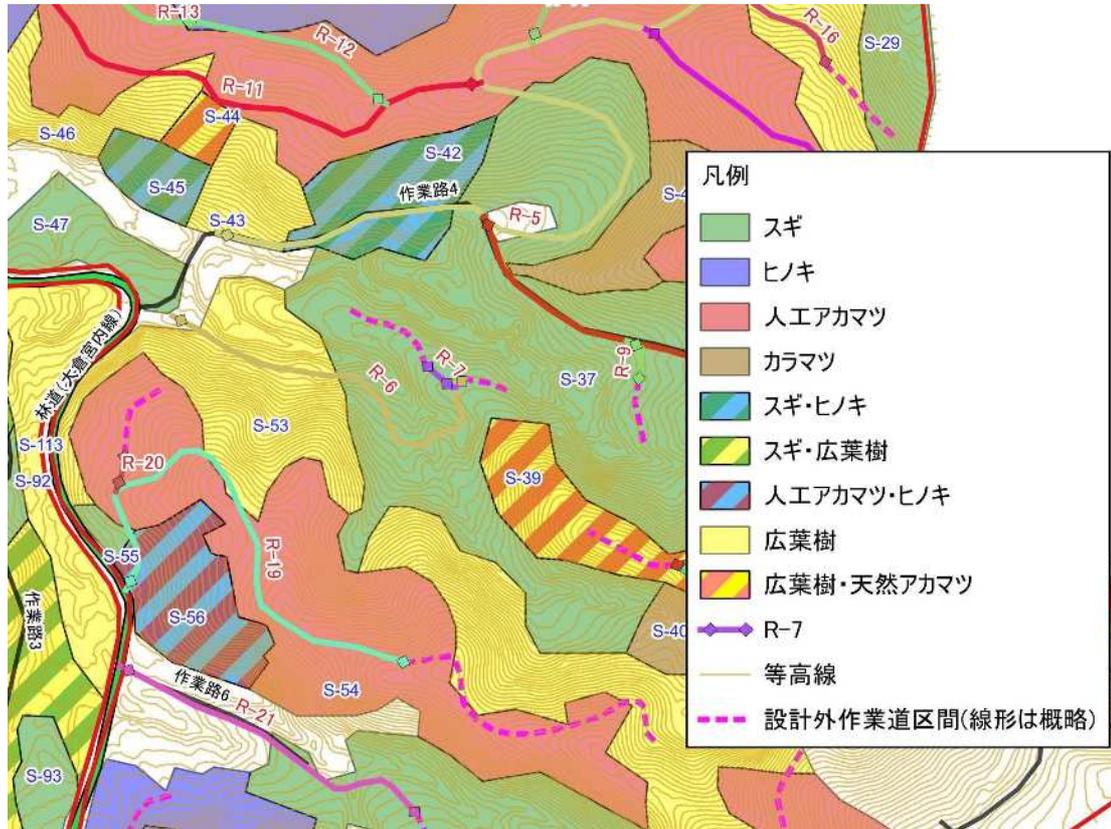
図表 832 R-6 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-37 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0～72.8	+5%	+4m	72.8m
	72.8～137.8	+11%	+7m	65.0m
	137.8～173.0	0%	+0m	35.2m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 3 箇所、洗越工 1 箇所、高密度ポリエチレン管 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

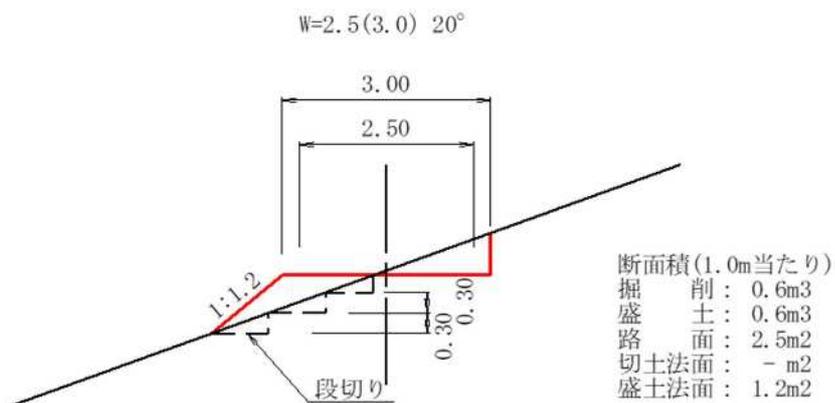
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.8 詳細設計 (R-7)

図表 833 R-7 の平面図



図表 834 R-7 の標準横断面図





R-7 起点



R-7 終点

図表 835 R-7 の構造・数量

延長	15.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

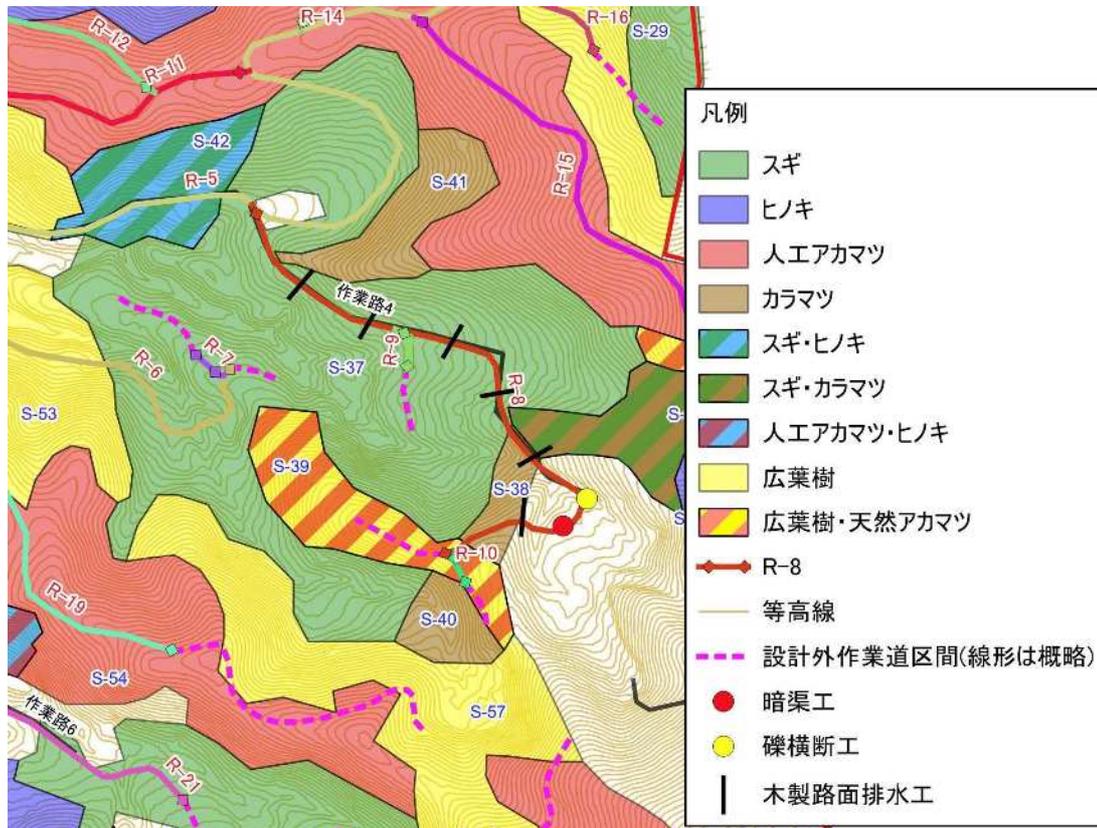
図表 836 R-7 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-6 から分岐			
終点	S-37 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~15.0	-13%	-2m	15.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

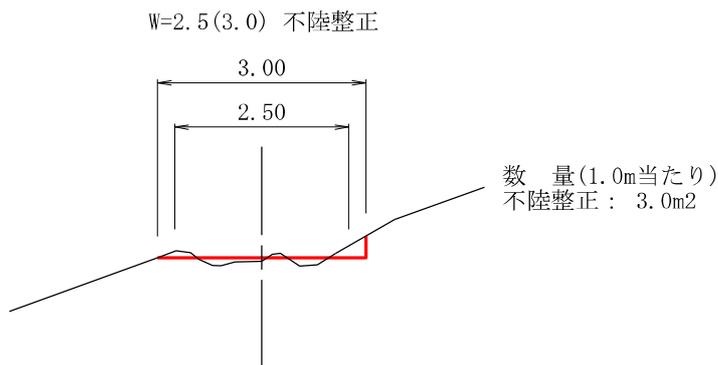
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

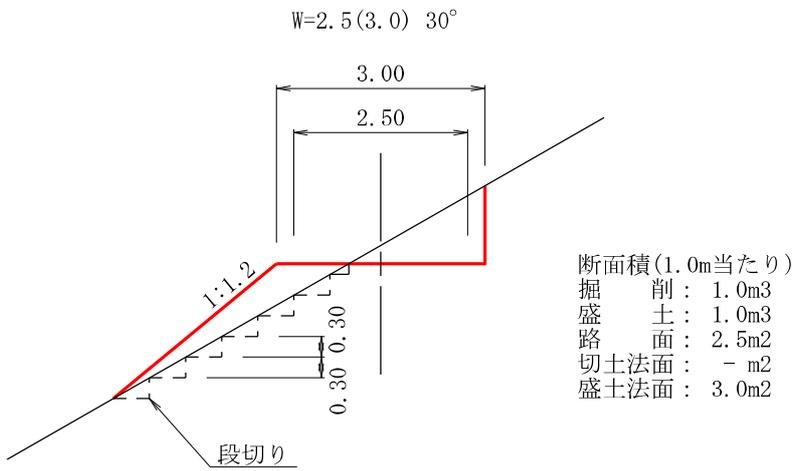
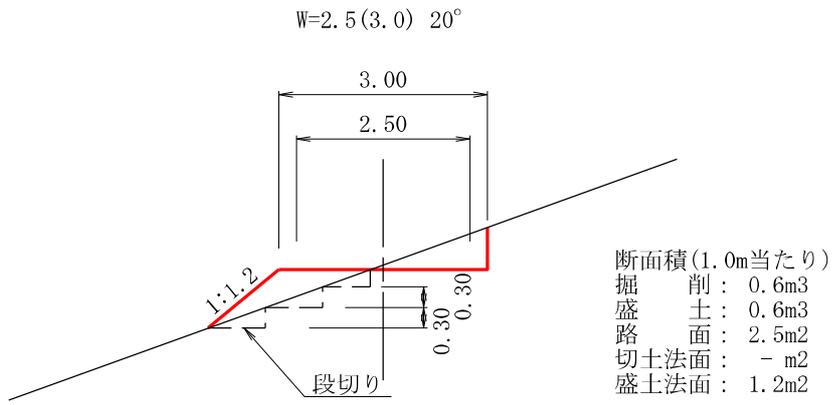
2.9 詳細設計 (R-8)

図表 837 R-8 の平面図



図表 838 R-8 の標準横断面図







R-8 起点



礫横断排水工計画箇所



暗渠工計画箇所



R-8 終点

図表 839 R-8 の構造・数量

延長	279.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m3 以下)	3~4t (0.2m3 以下)	6~8t (0.2~0.25m3)	9~13t (0.45m3)
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

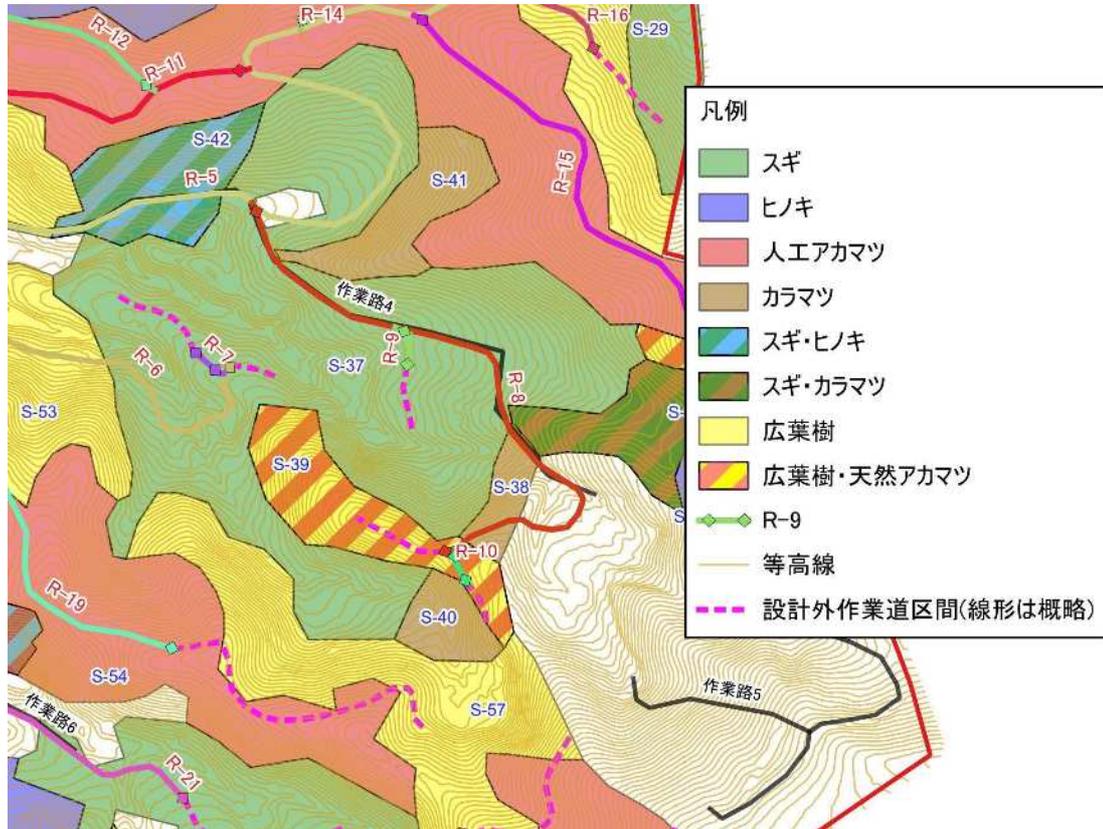
図表 840 R-8 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-5 から分岐			
終点	S-39 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0～84.4	+9%	+8m	84.4m
	84.4～201.7	+17%	+20m	117.3m
	201.7～279.0	+4%	+3m	77.3m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 6 箇所、高密度ポリエチレン管 1 箇所、礫横断排水工 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

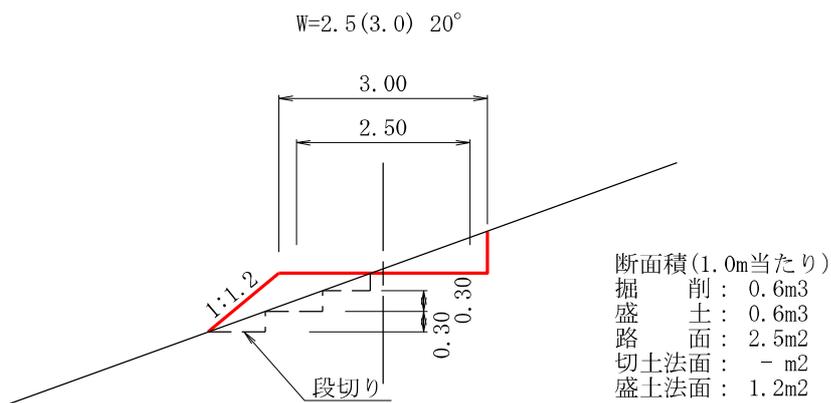
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.10 詳細設計 (R-9)

図表 841 R-9 の平面図



図表 842 R-9 の標準横断面図





R-9 起点



R-9 終点

図表 843 R-9 の構造・数量

延長	15.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

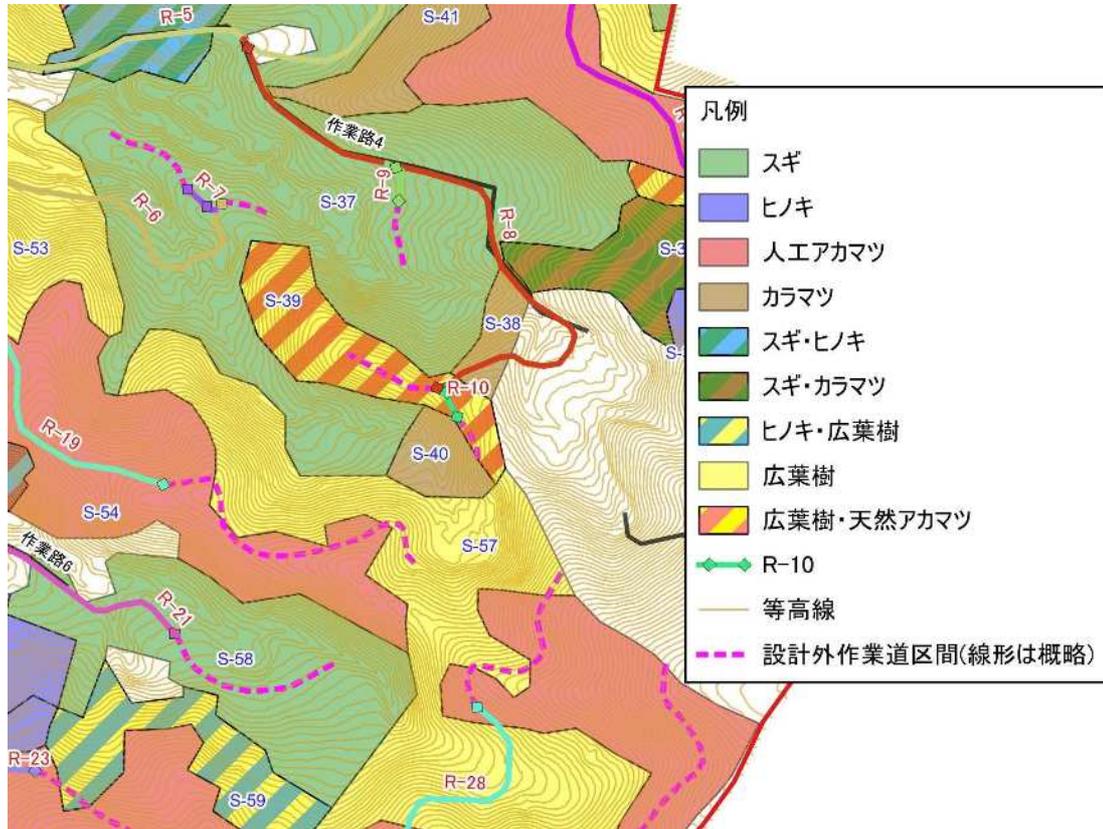
図表 844 R-9 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-8 から分岐			
終点	S-37 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~15.0	0%	0m	15.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

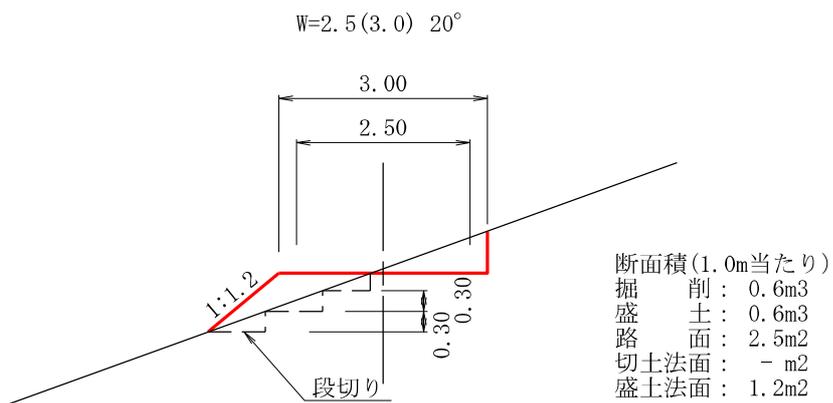
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

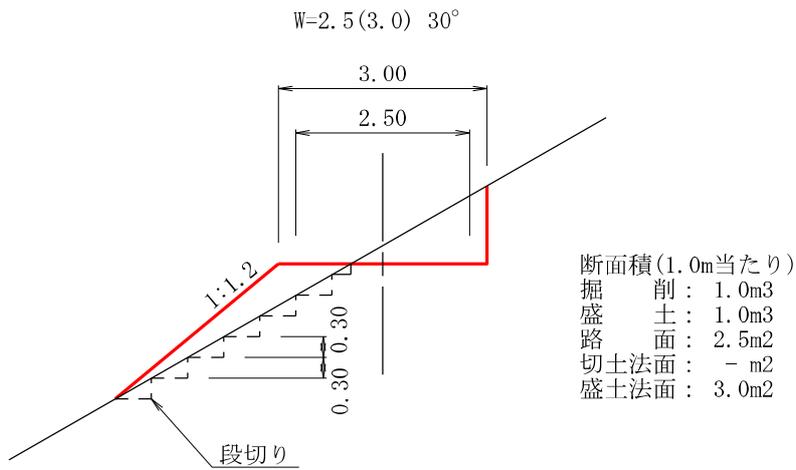
2.11 詳細設計(R-10)

図表 845 R-10 の平面図



図表 846 R-10 の標準横断図





R-10 起点



R-10 終点

図表 847 R-10 の構造・数量

延長	15.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

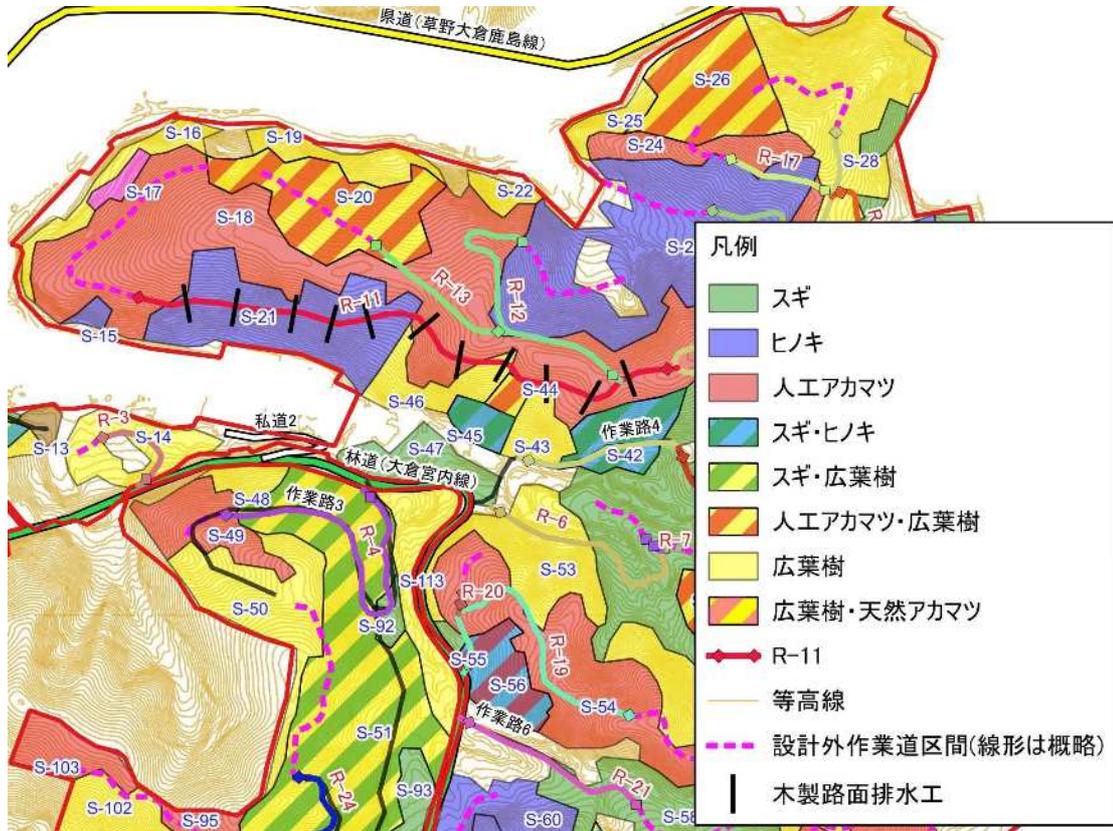
図表 848 R-10 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-8 から分岐			
終点	S-39 の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~15.0	0%	0m	15.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

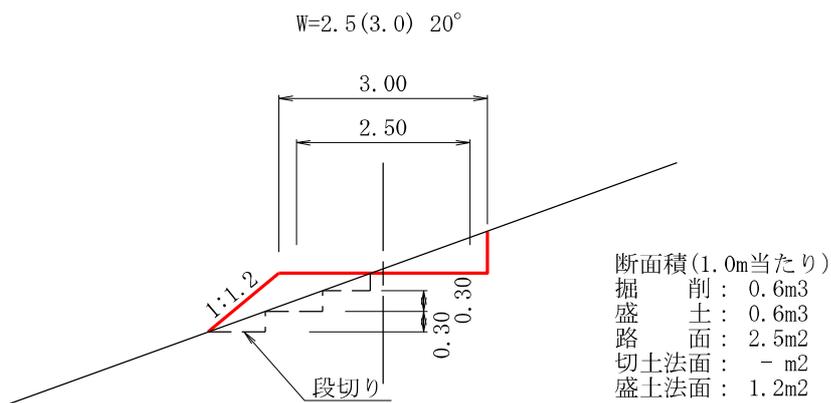
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

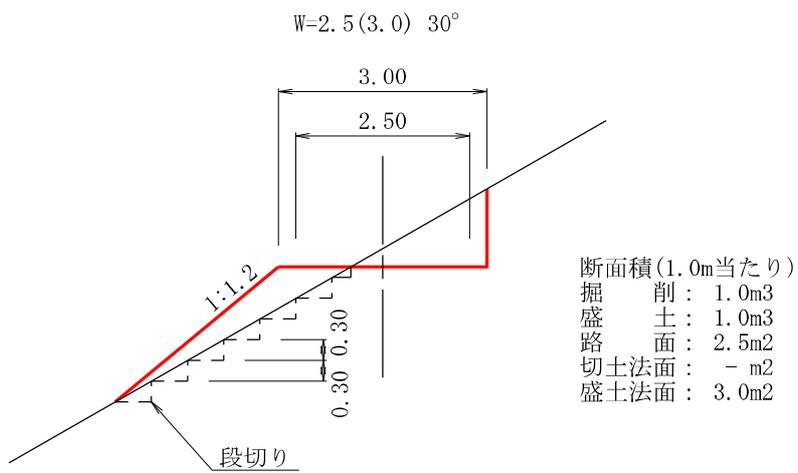
2.12 詳細設計(R-11)

図表 849 R-11 の平面図



図表 850 R-11 の標準横断図





R-11 起点



R-11 終点

図表 851 R-11 の構造・数量

延長	424.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

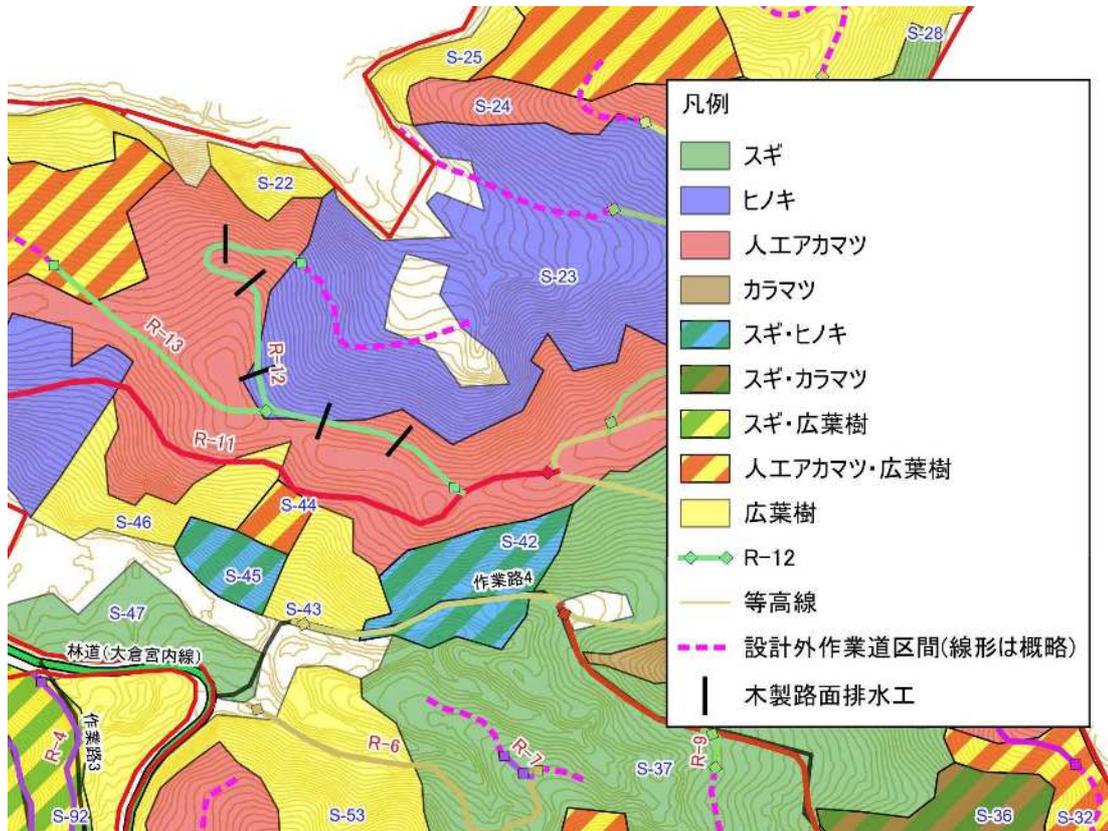
図表 852 R-11 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-5 から分岐			
終点	S-18 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~141.0	-6%	-9m	141.0m
	141.0~341.5	-10%	-20m	200.5m
	341.5~424.0	0%	0m	82.5m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 11 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

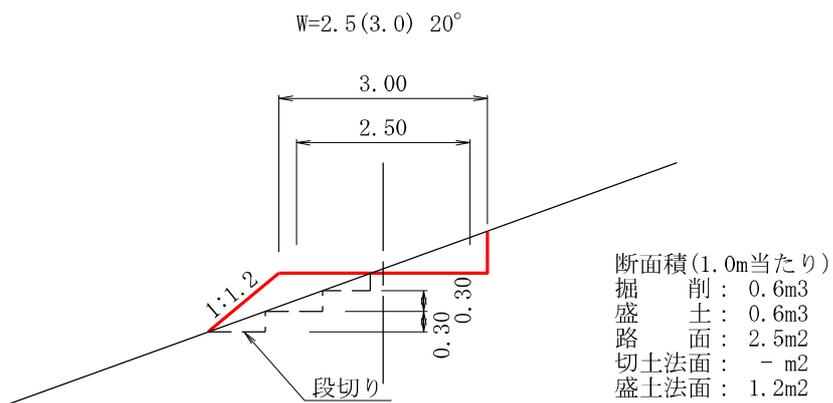
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

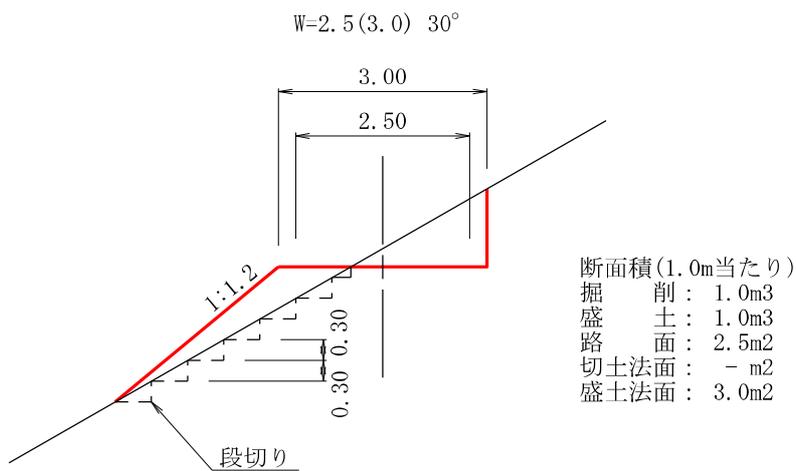
2.13 詳細設計(R-12)

図表 853 R-12 の平面図



図表 854 R-12 の標準横断図





R-12 起点



R-12 終点

図表 855 R-12 の構造・数量

延長	222.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

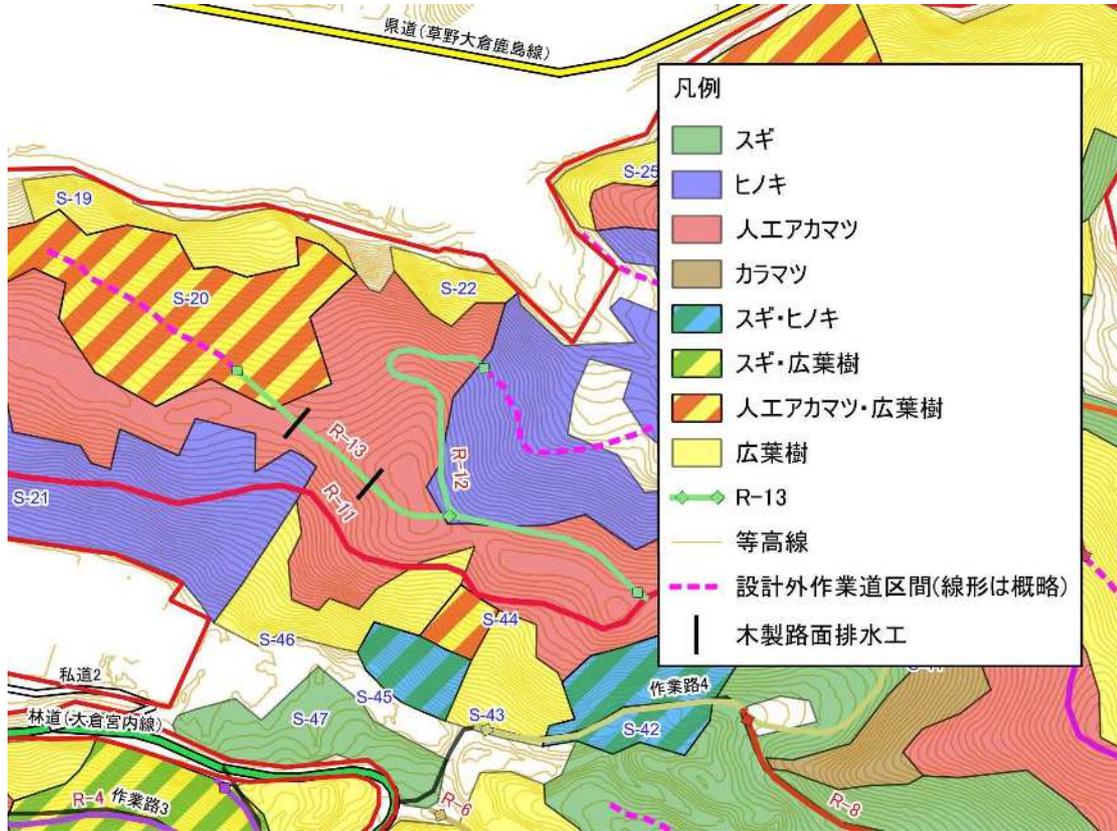
図表 856 R-12 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-11 から分岐			
終点	S-23 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~89.0	-2%	-2m	89.0m
	89.0~222.0	-9%	-12m	133.0m
ヘアピンカーブ	1 箇所			
排水施設	木製路面排水工 5 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

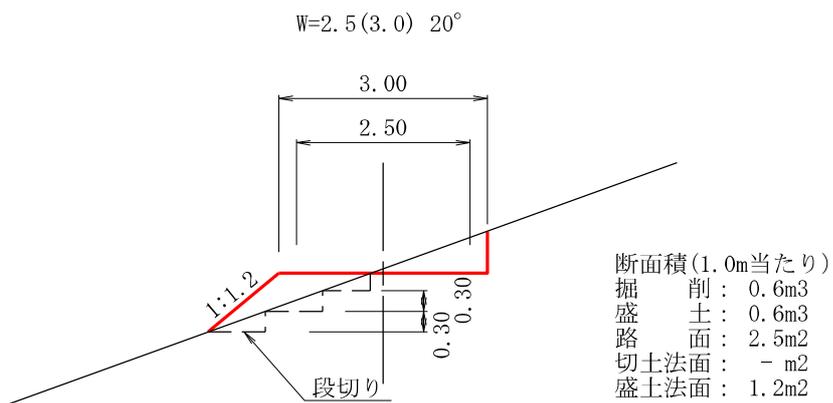
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.14 詳細設計(R-13)

図表 857 R-13 の平面図



図表 858 R-13 の標準横断図





R-13 起点



R-13 終点

図表 859 R-13 の構造・数量

延長	119.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

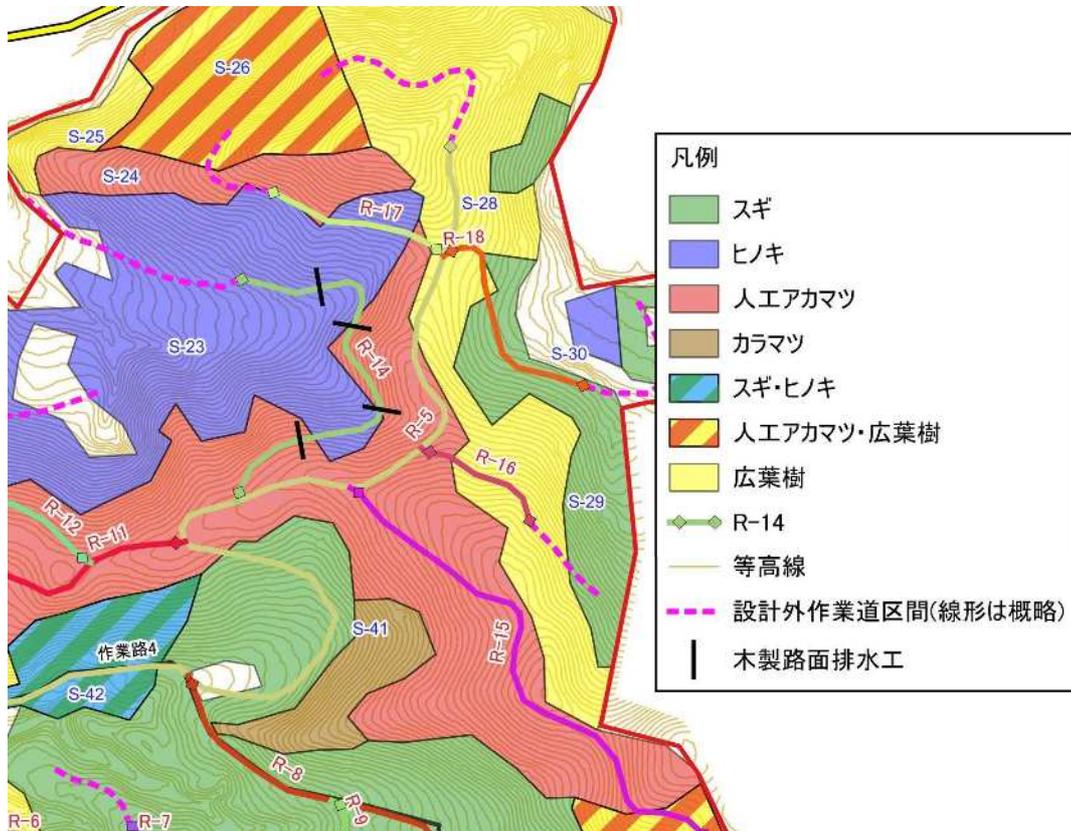
図表 860 R-13 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-12 から分岐			
終点	S-20 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0～16.2	+12%	+2m	16.2m
	16.2～119.0	-10%	-10m	102.8m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 2 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

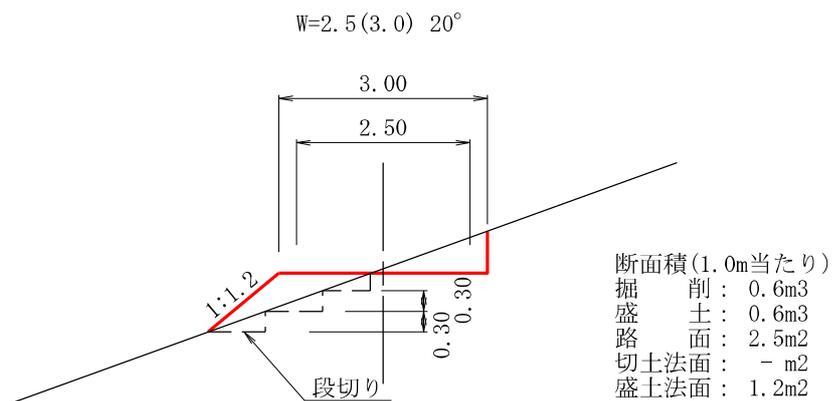
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

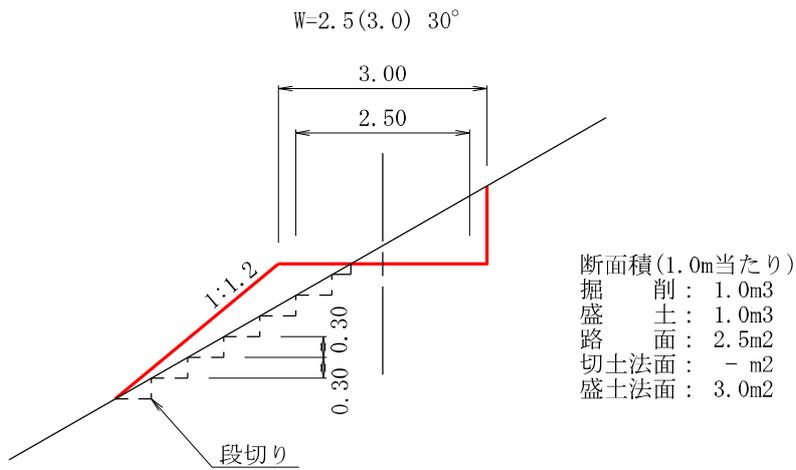
2.15 詳細設計(R-14)

図表 861 R-14 の平面図



図表 862 R-14 の標準横断図





R-14 起点



R-14 終点

図表 863 R-14 の構造・数量

延長	194.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

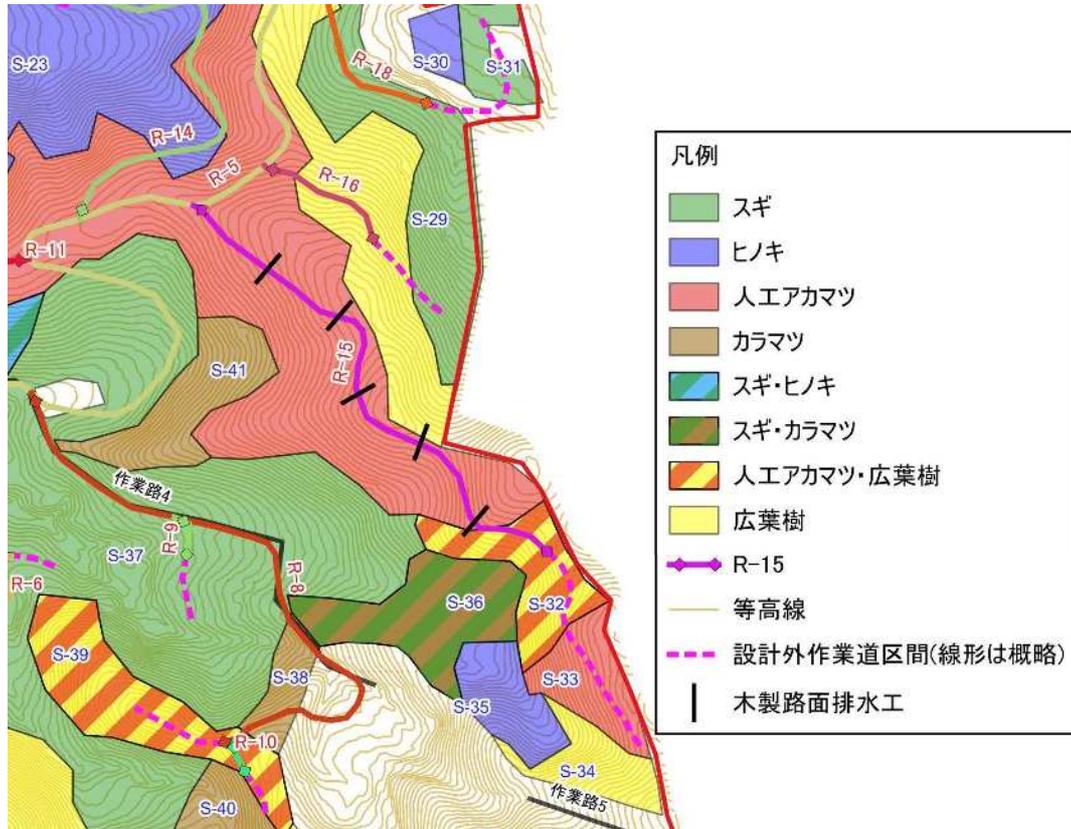
図表 864 R-14 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-5 から分岐			
終点	S-23 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~40.5	-5%	-2m	40.5m
	40.5~194.0	-14%	-21m	153.5m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 4 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

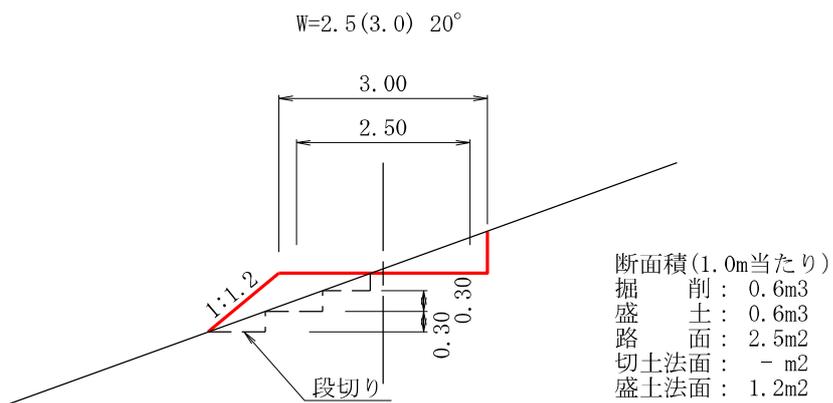
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

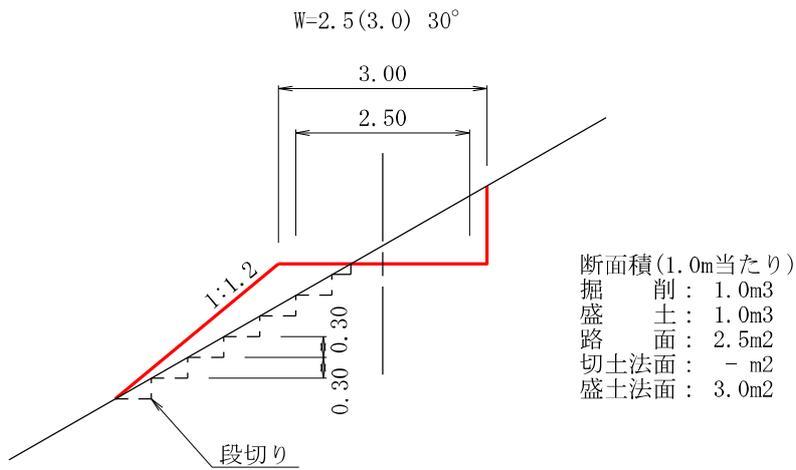
2.16 詳細設計(R-15)

図表 865 R-15 の平面図



図表 866 R-15 の標準横断面図





R-15 起点



R-15 終点

図表 867 R-15 の構造・数量

延長	235.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

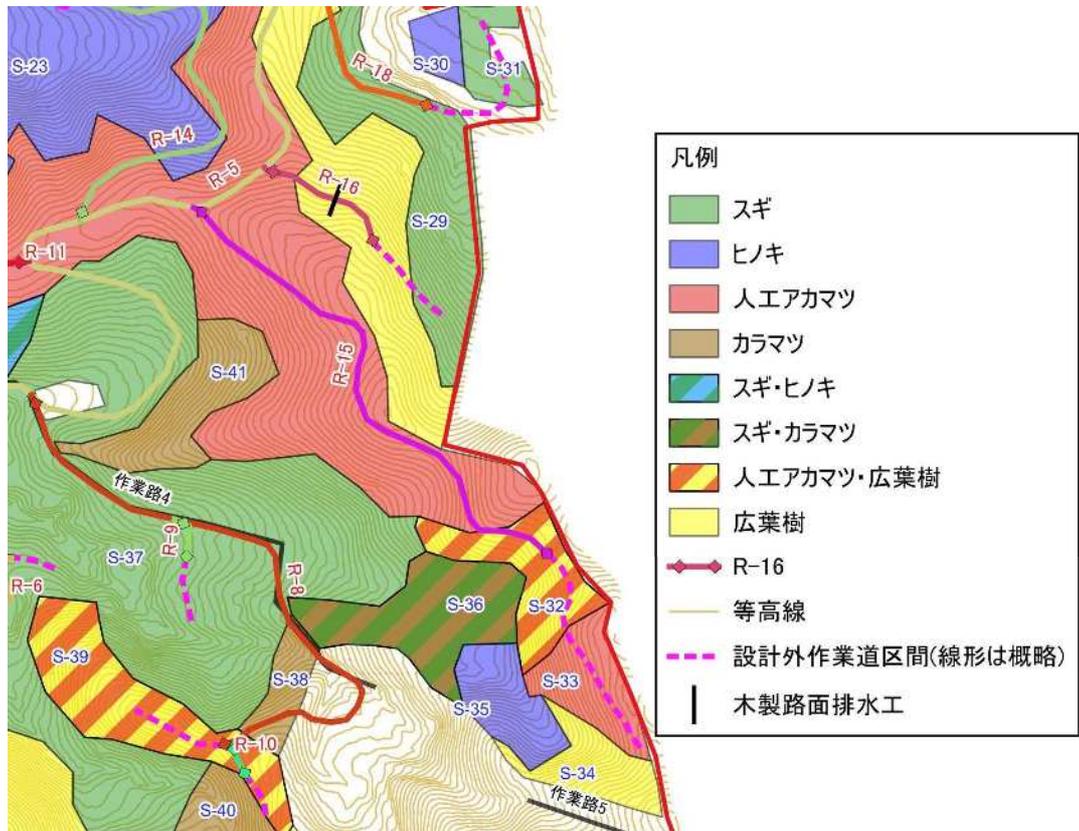
図表 868 R-15 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-5 から分岐			
終点	S-32 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~83.3	+14%	+12m	83.3m
	83.3~103.8	0%	0m	20.5m
	103.8~138.1	+15%	+5m	34.3m
	138.1~162.8	-8%	-2m	24.7m
	162.8~235.0	+7%	+5m	72.2m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 5 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

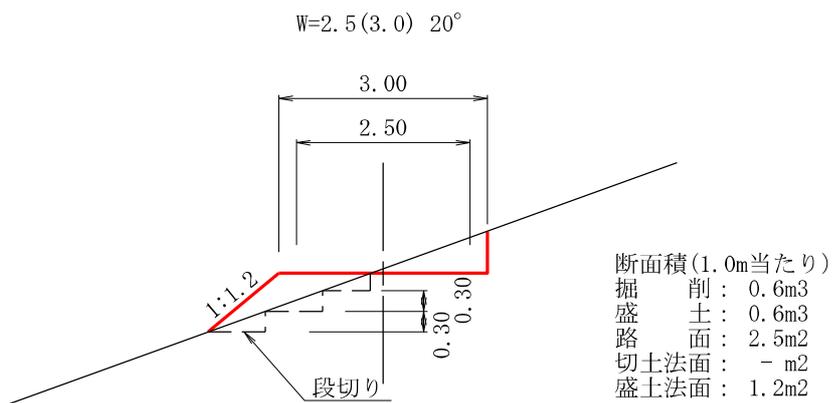
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.17 詳細設計(R-16)

図表 869 R-16 の平面図



図表 870 R-16 の標準横断図





R-16 起点



R-16 終点

図表 871 R-16 の構造・数量

延長	60.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

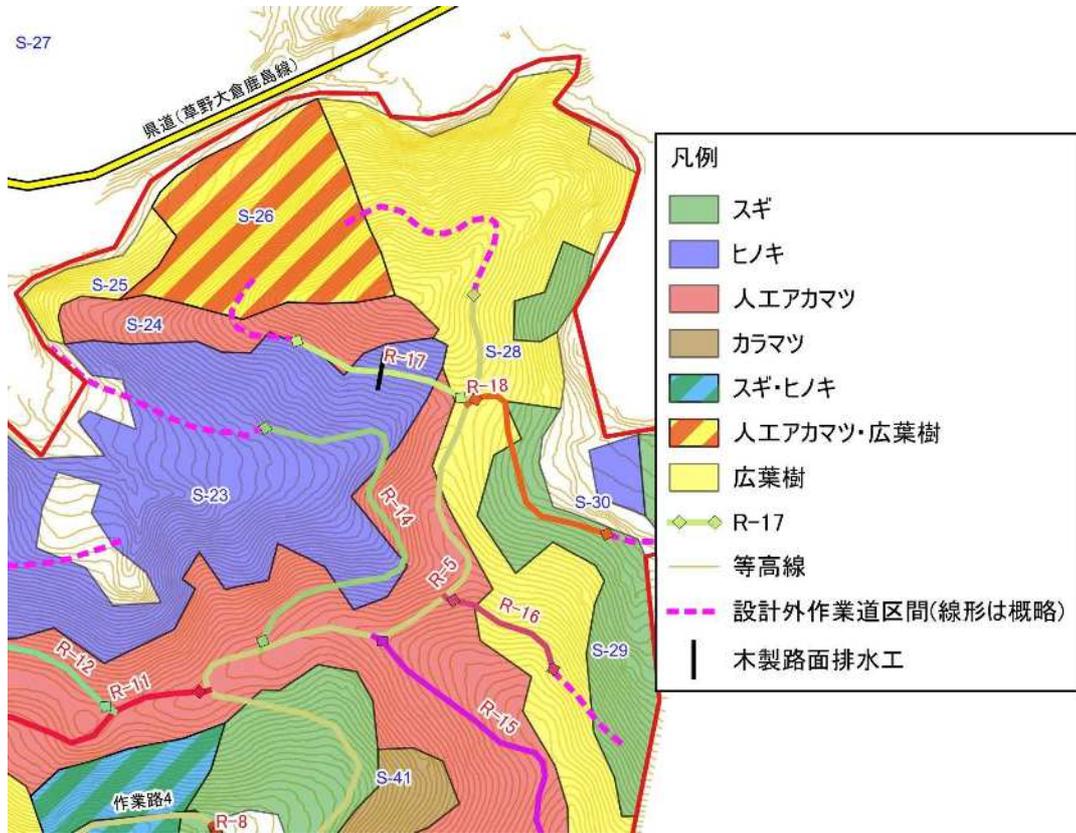
図表 872 R-16 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-5 から分岐			
終点	S-28 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~60.0	+13%	+8m	60.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

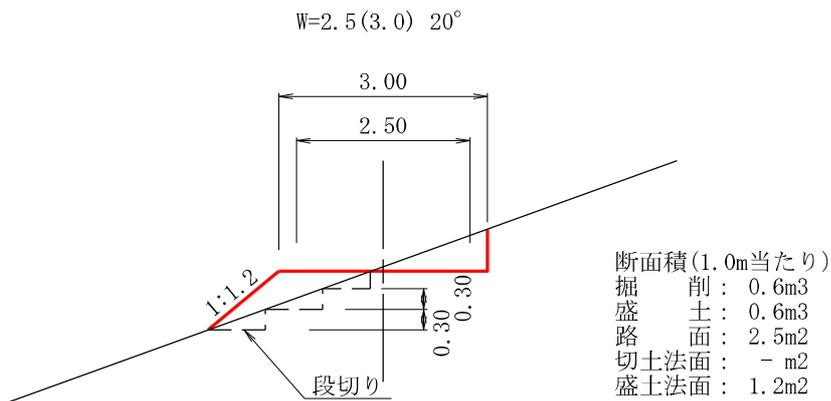
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.18 詳細設計(R-17)

図表 873 R-17 の平面図



図表 874 R-17 の標準横断図





R-17 起点



R-17 終点

図表 875 R-17 の構造・数量

延長	80.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

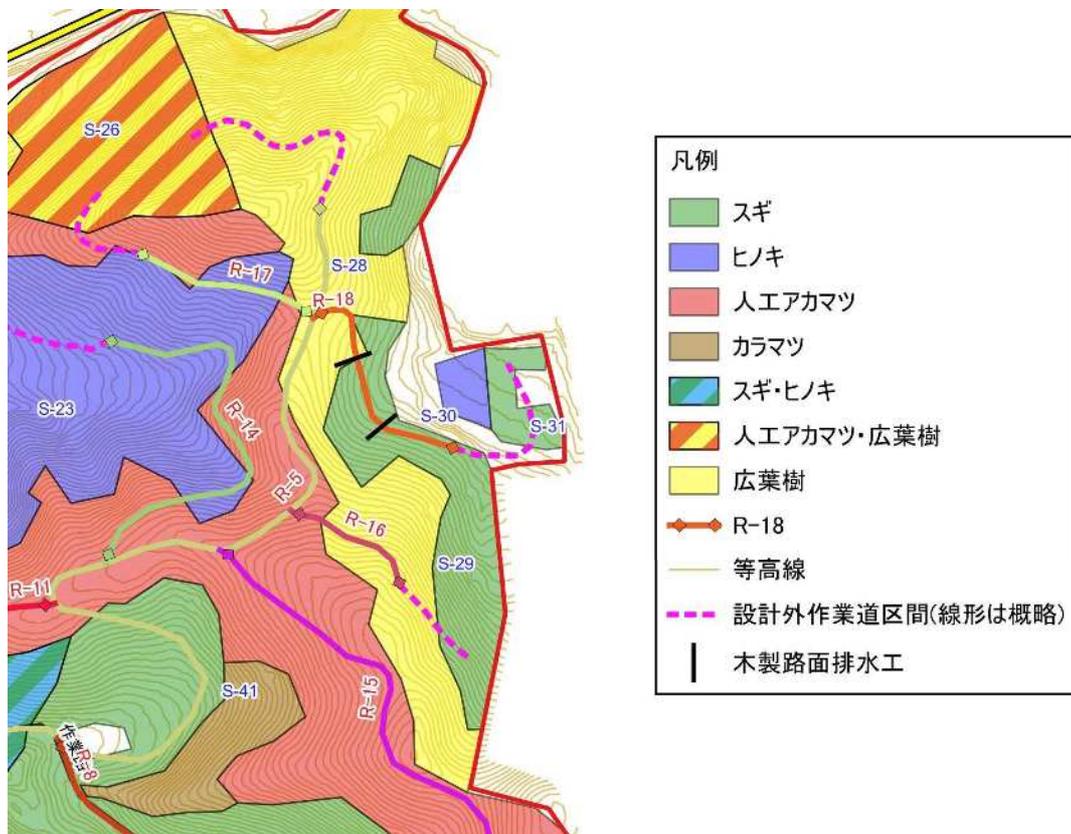
図表 876 R-17 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-5 から分岐			
終点	S-24 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~80.0	-3%	-2m	80.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

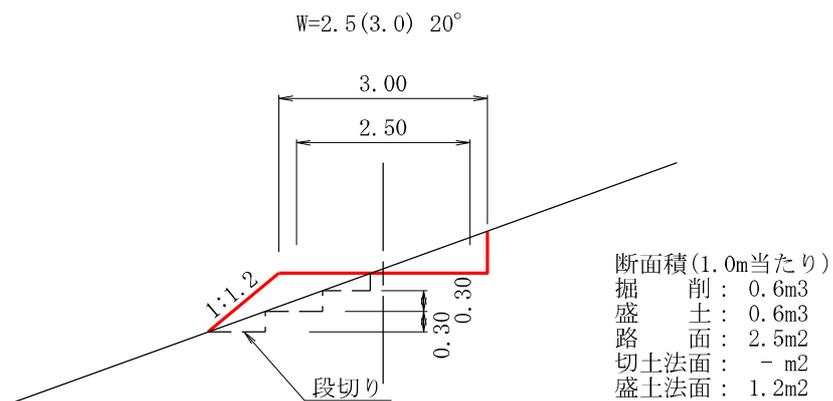
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.19 詳細設計 (R-18)

図表 877 R-18 の平面図



図表 878 R-18 の標準横断図





R-18 起点



R-18 終点

図表 879 R-18 の構造・数量

延長	99.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

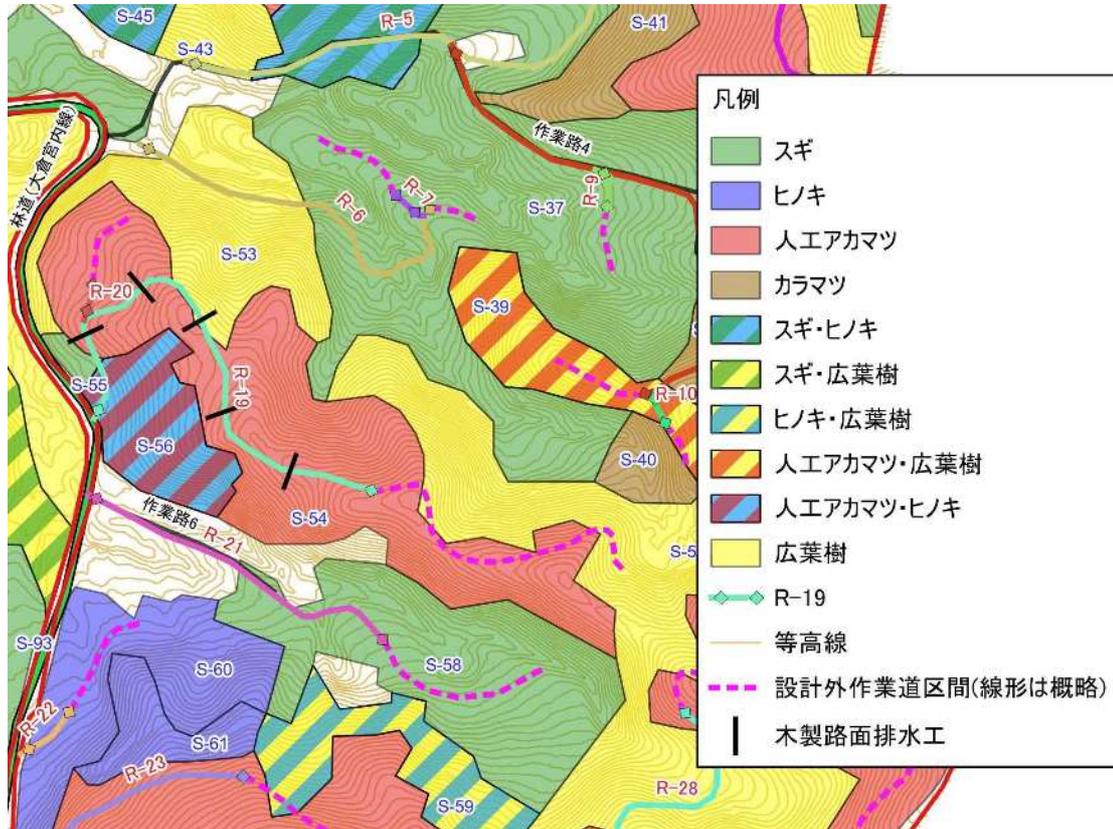
図表 880 R-18 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-5 から分岐			
終点	S-29 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0～58.2	-10%	-6m	58.2m
	58.2～99.0	-2%	-1m	40.8m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 2 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

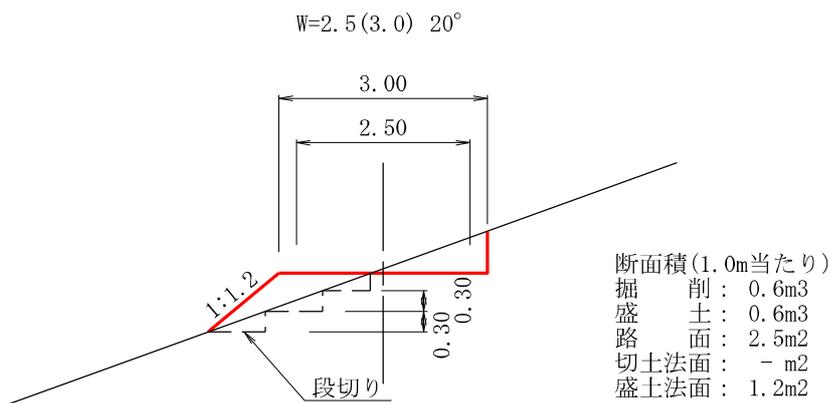
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.20 詳細設計(R-19)

図表 881 R-19 の平面図



図表 882 R-19 の標準横断図





R-19 起点



R-19 終点

図表 883 R-19 の構造・数量

延長	233.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

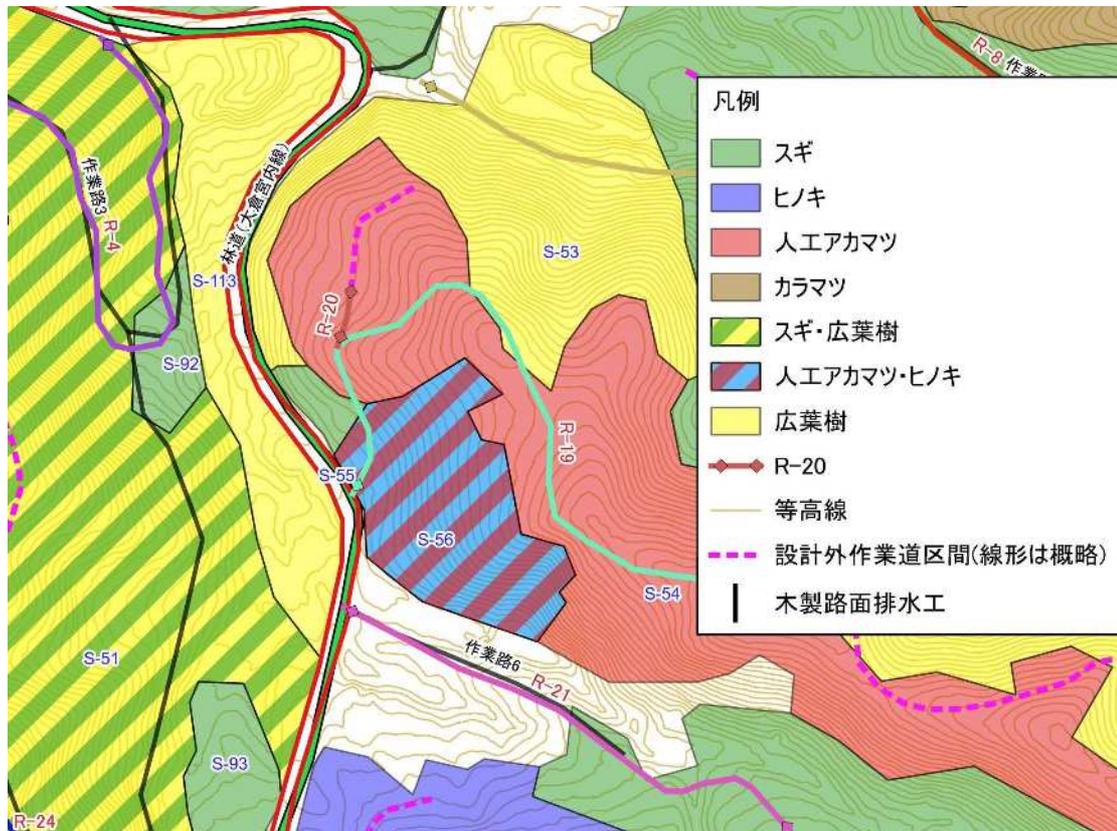
図表 884 R-19 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-54 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~233.0	+14%	+33m	233.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 5 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

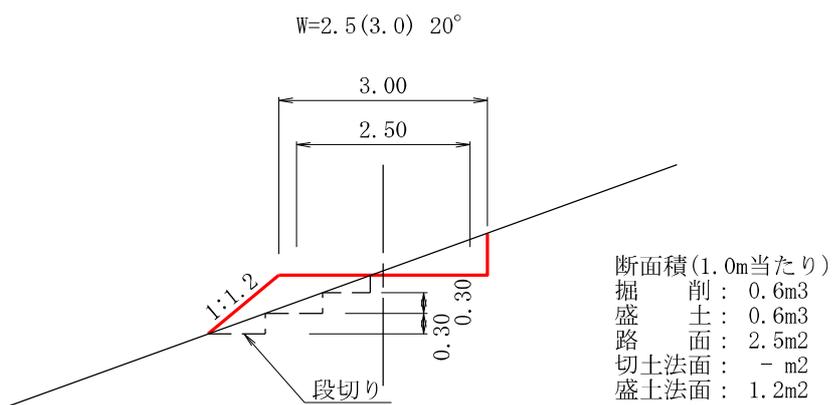
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.21 詳細設計(R-20)

図表 885 R-20 の平面図



図表 886 R-20 の標準横断図





R-20 起点



R-20 終点

図表 887 R-20 の構造・数量

延長	20.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

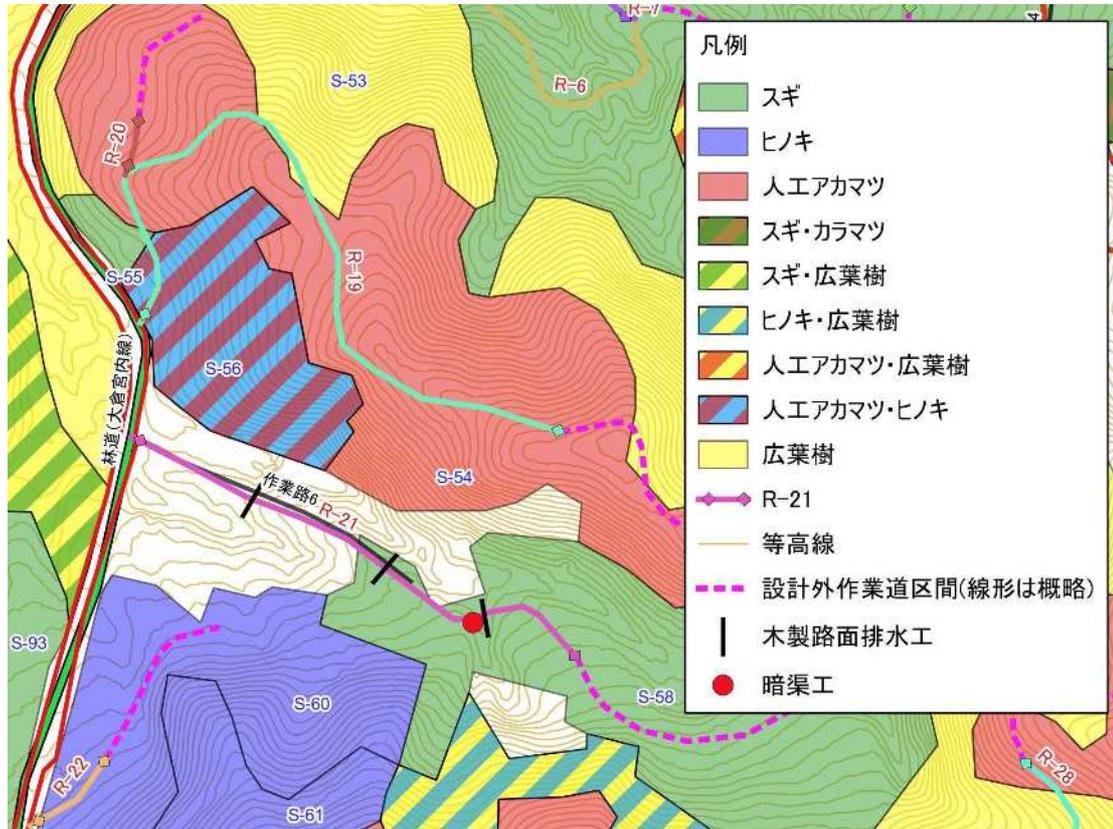
図表 888 R-20 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-19 から分岐			
終点	S-54 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0～15.0	-13%	-2m	15.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

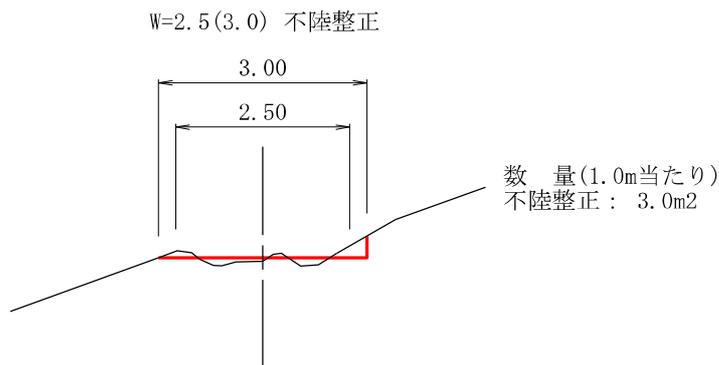
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

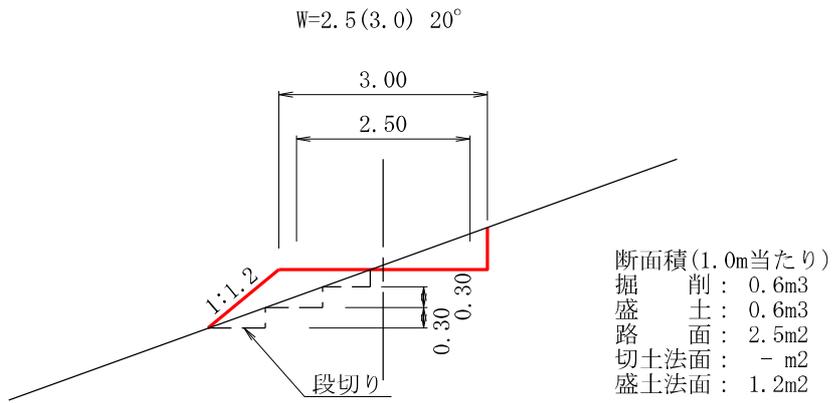
2.22 詳細設計(R-21)

図表 889 R-21 の平面図



図表 890 R-21 の標準横断図





R-21 起点



暗渠工計画地



R-21 終点

図表 891 R-21 の構造・数量

延長	151.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

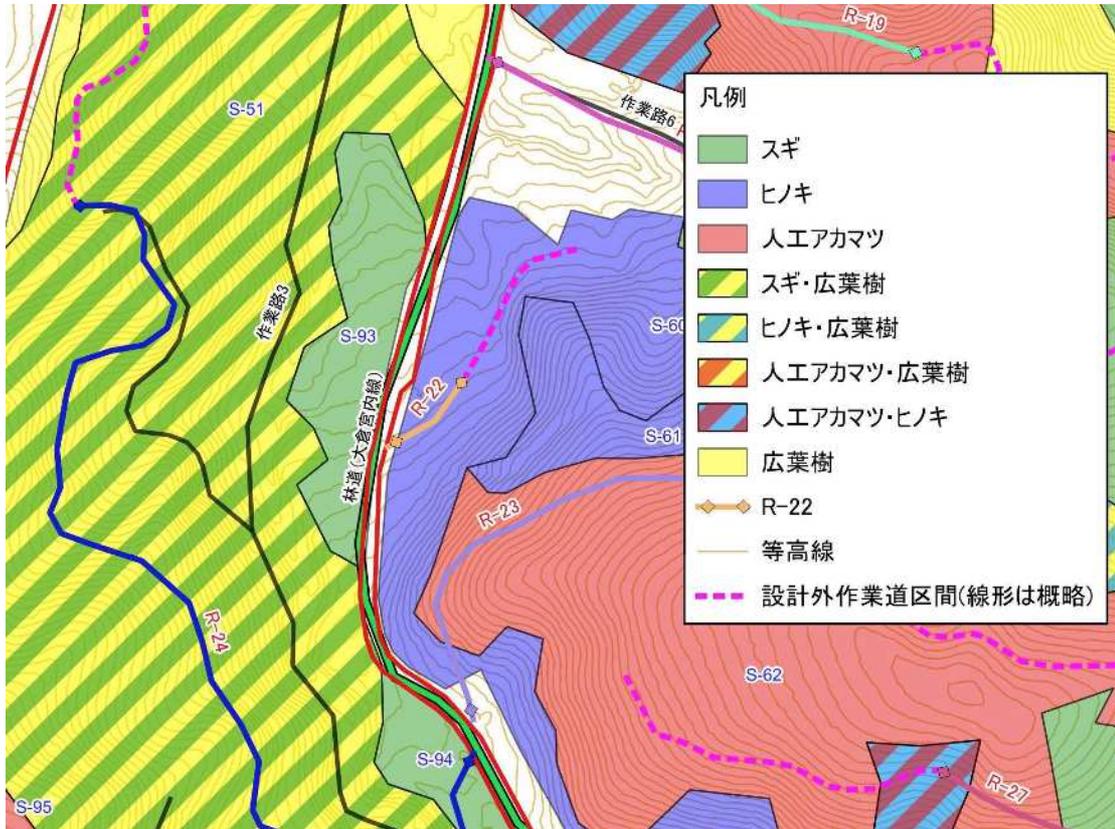
図表 892 R-21 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-58 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~151.0	+11%	+17m	151.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 3 箇所、高密度ポリエチレン管 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

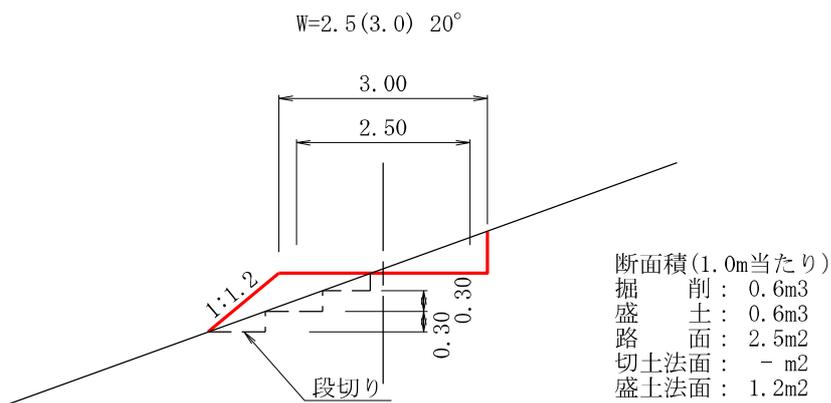
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.23 詳細設計(R-22)

図表 893 R-22 の平面図



図表 894 R-22 の標準横断面図





R-22 起点



R-22 終点

図表 895 R-22 の構造・数量

延長	30.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

図表 896 R-22 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-60 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~30.0	0%	0m	30.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

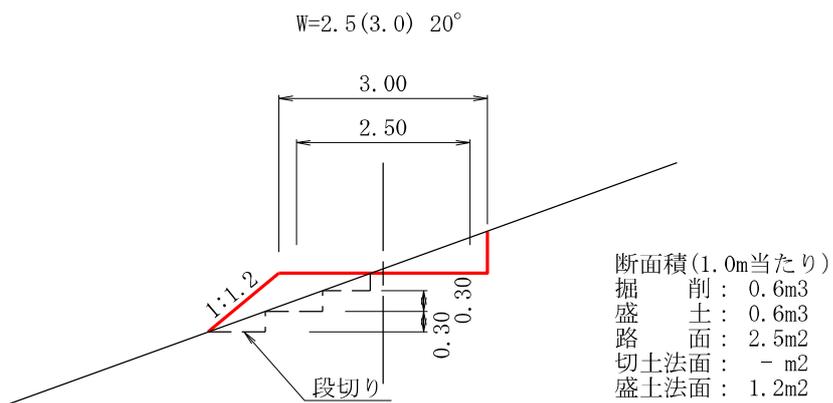
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

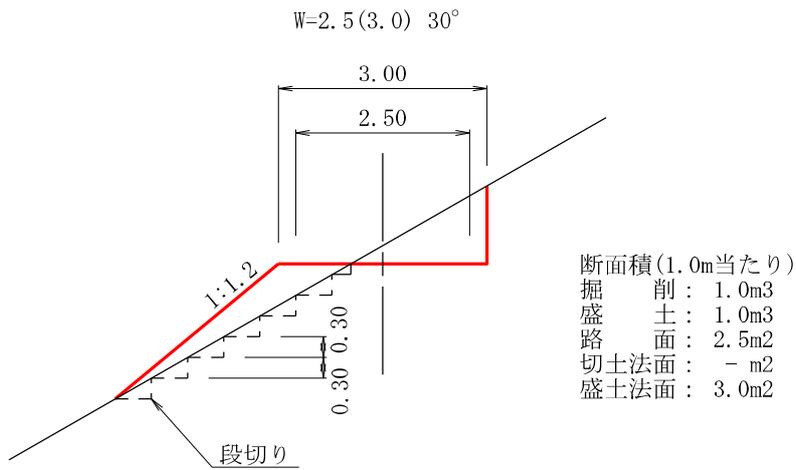
2.24 詳細設計(R-23)

図表 897 R-23 の平面図



図表 898 R-23 の標準横断図





R-23 起点



R-23 終点

図表 899 R-23 の構造・数量

延長	134.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

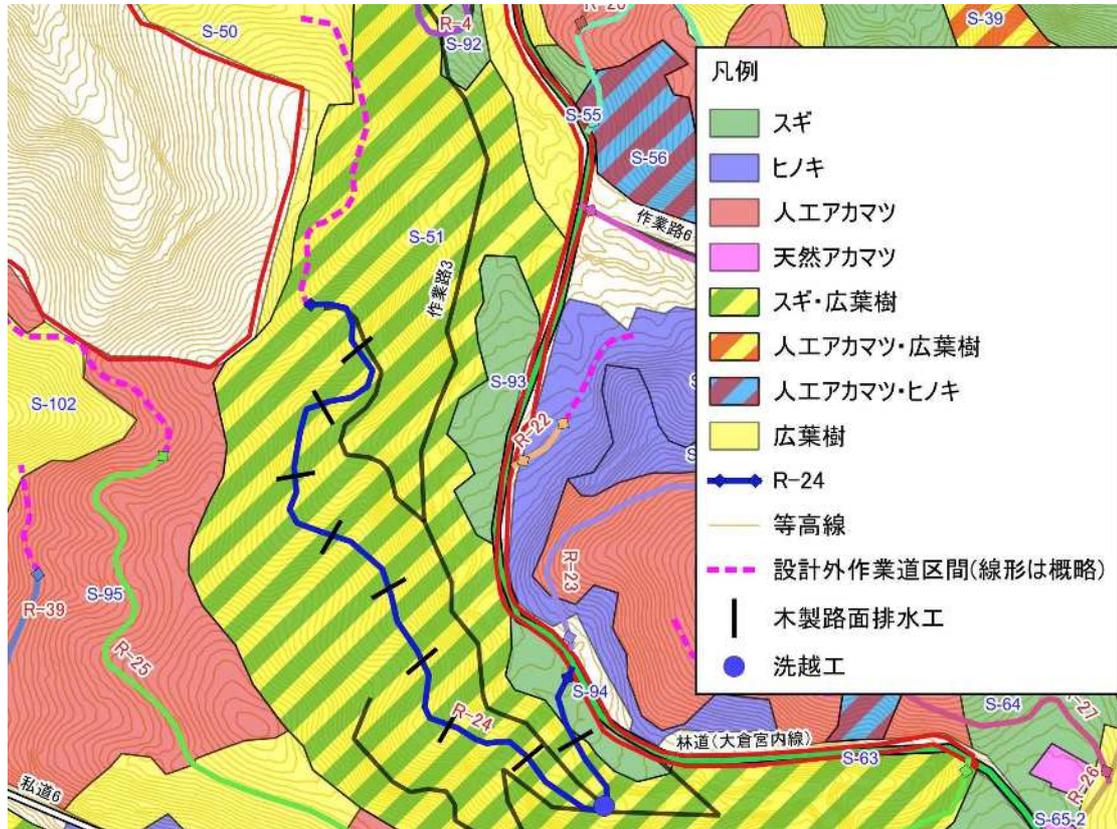
図表 900 R-23 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-62 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~134.0	+15%	+20m	134.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 3 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

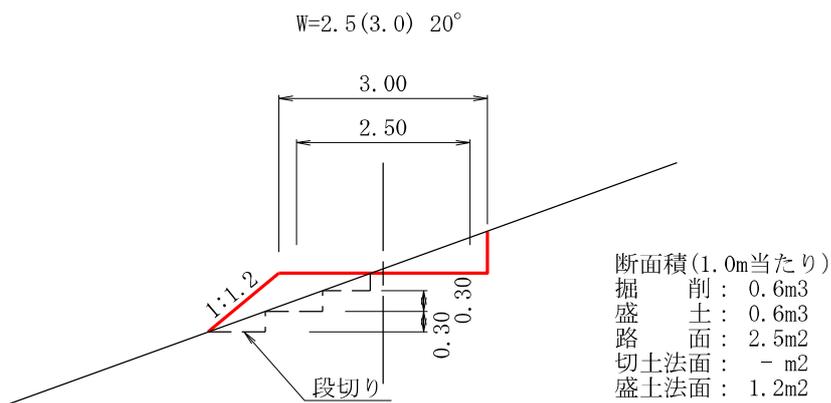
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

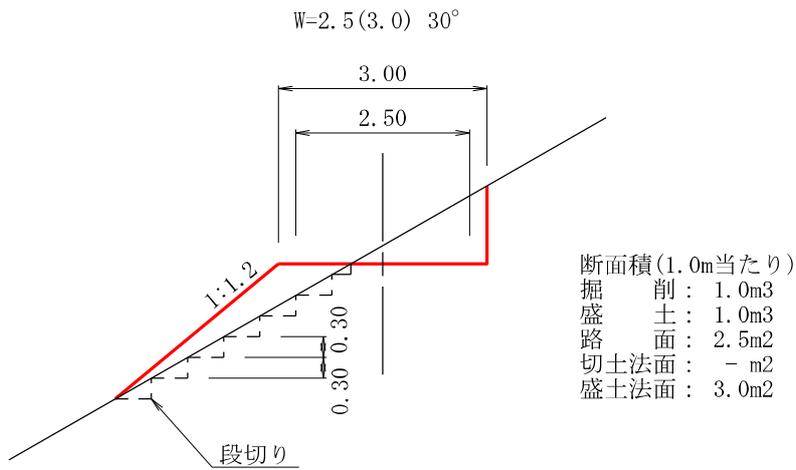
2.25 詳細設計(R-24)

図表 901 R-24 の平面図



図表 902 R-24 の標準横断図





R-24 起点



洗越工計画箇所



R-24 終点

図表 903 R-24 の構造・数量

延長	404.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m3 以下)	3~4t (0.2m3 以下)	6~8t (0.2~0.25m3)	9~13t (0.45m3)
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

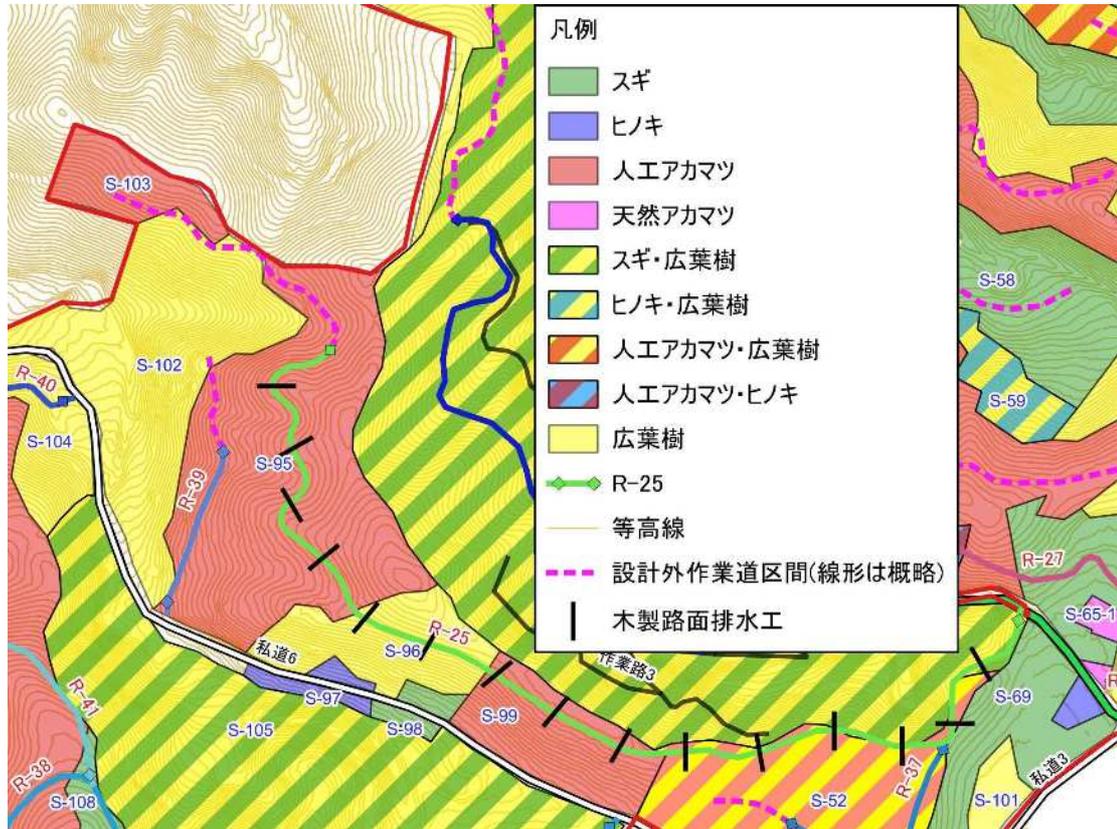
図表 904 R-24 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-51 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~109.6	0%	0m	109.6m
	109.6~187.5	+13%	+10m	77.9m
	187.5~214.2	-7%	-2m	26.7m
	214.2~244.4	+10%	+3m	30.2m
	244.4~320.7	-9%	-7m	76.3m
	320.7~404.0	+8%	+7m	83.3m
ヘアピンカーブ	1 箇所			
排水施設	木製路面排水工 9 箇所、洗越工 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

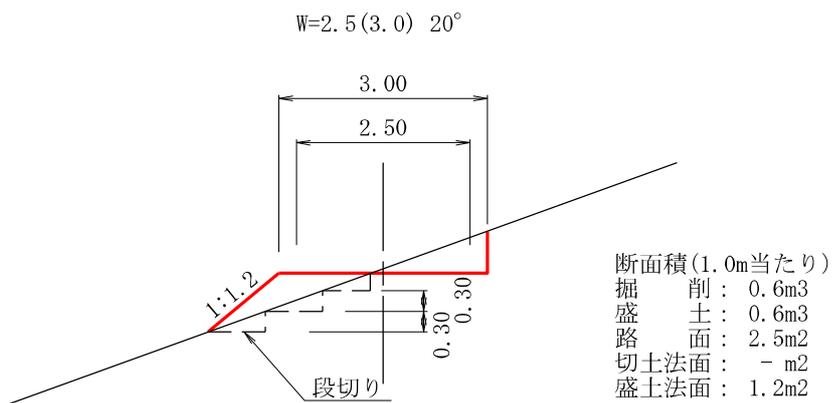
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

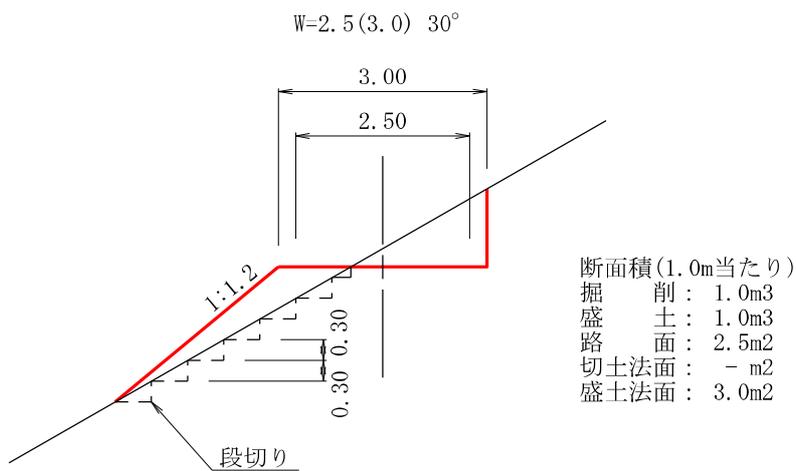
2.26 詳細設計 (R-25)

図表 905 R-25 の平面図



図表 906 R-25 の標準横断図





R-25 起点



R-25 終点

図表 907 R-25 の構造・数量

延長	586.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

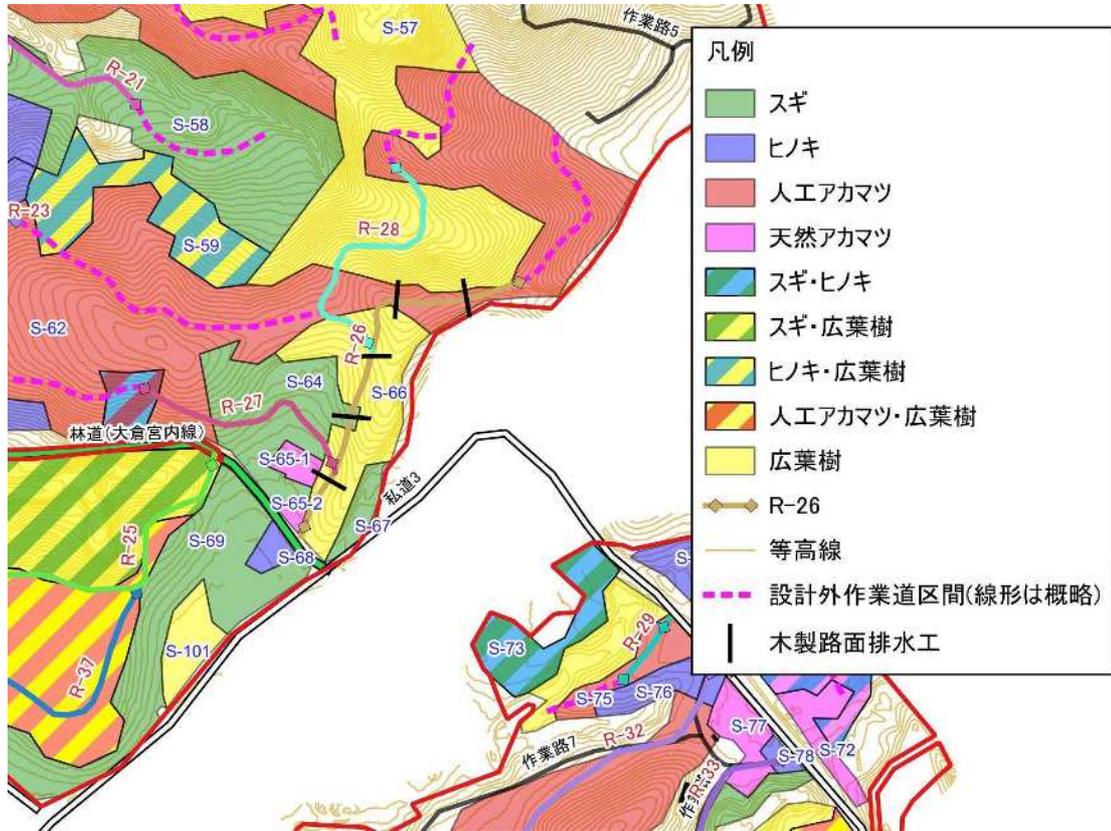
図表 908 R-25 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-95 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~122.0	+5%	+6m	122.0m
	122.0~295.5	+3%	+6m	173.5m
	295.5~403.0	-2%	-2m	107.5m
	403.0~586.0	-5%	-9m	183.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 15 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

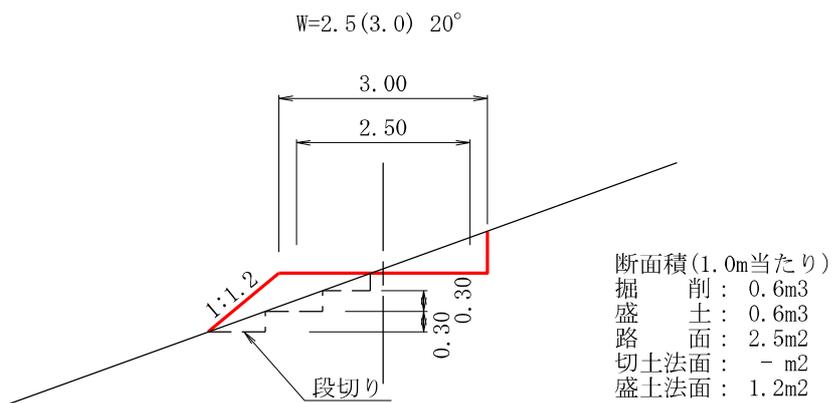
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.27 詳細設計(R-26)

図表 909 R-26 の平面図



図表 910 R-26 の標準横断図





R-26 起点



R-26 終点

図表 911 R-26 の構造・数量

延長	201.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

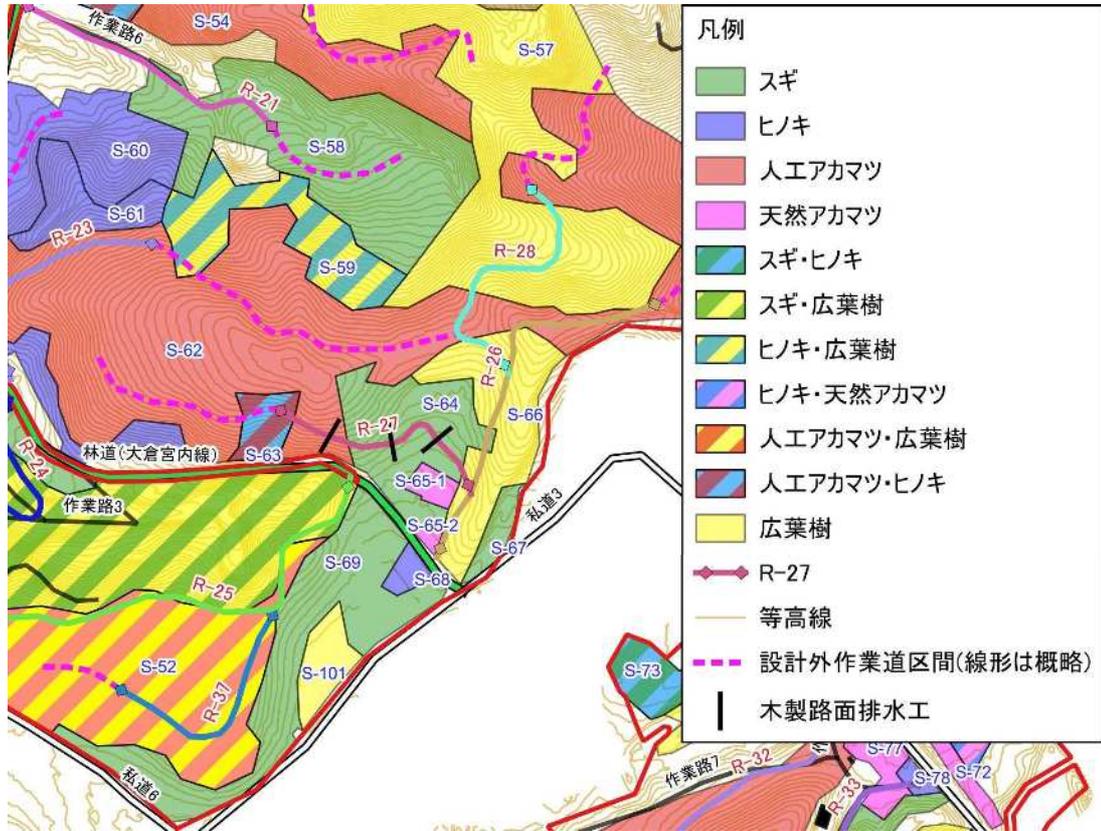
図表 912 R-26 の設計説明

項目	内 容			
起点	林道大倉宮内線			
終点	S-62 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~150.8	+13%	+20m	150.8m
	150.8~183.7	-3%	-1m	32.9m
	183.7~201.0	+12%	+2m	17.3m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 5 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

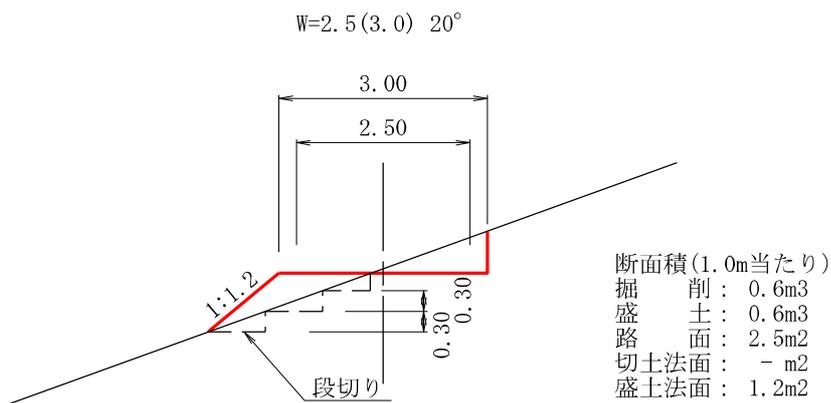
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

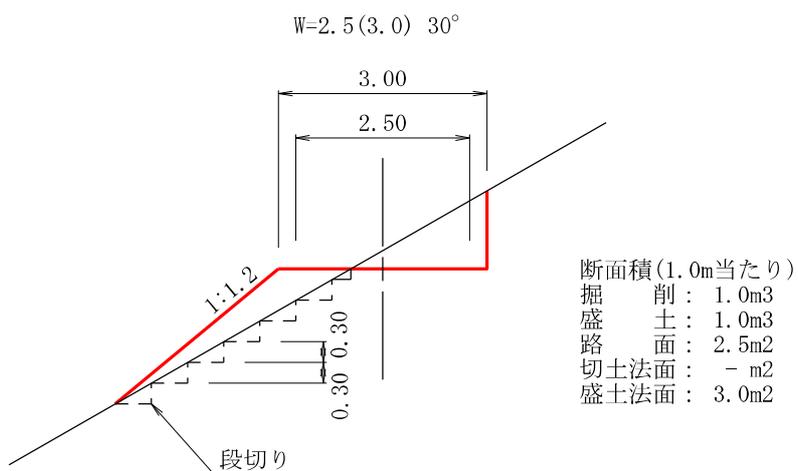
2.28 詳細設計(R-27)

図表 913 R-27 の平面図



図表 914 R-27 の標準横断図





R-27 起点



R-27 終点

図表 915 R-27 の構造・数量

延長	123.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

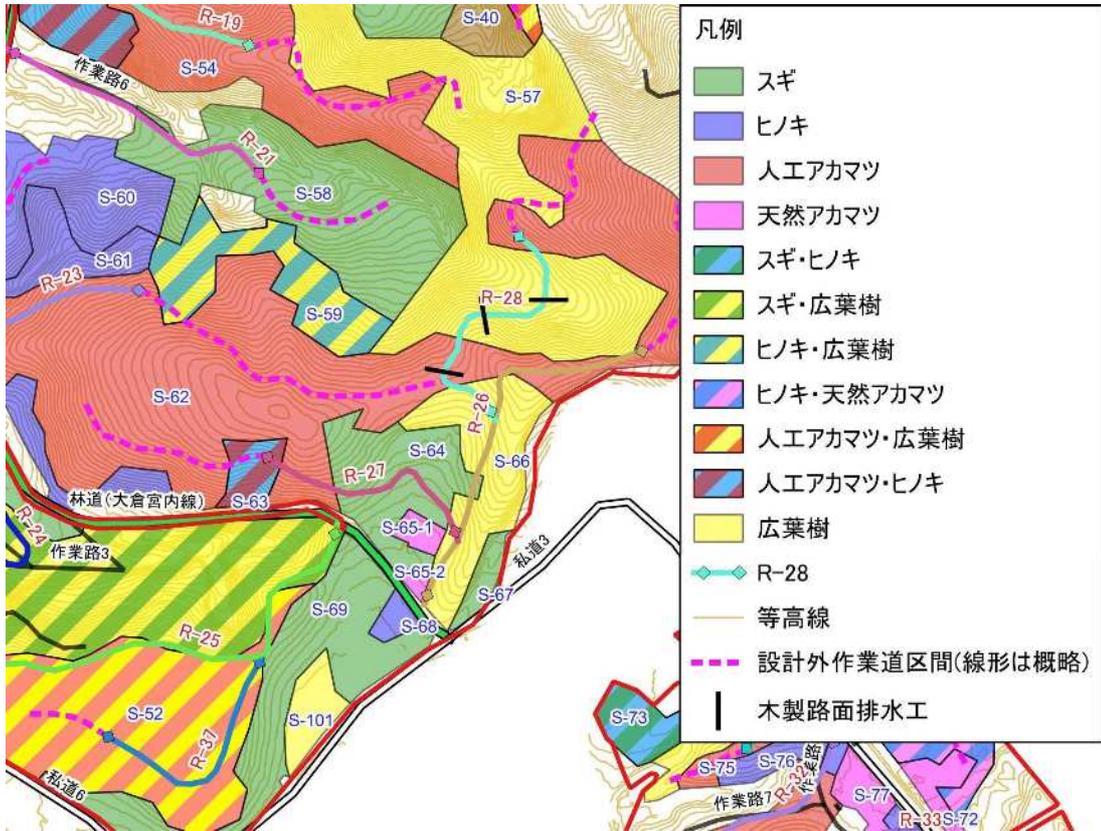
図表 916 R-27 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-26 から分岐			
終点	S-63 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~54.8	+4%	+2m	54.8m
	54.8~123.0	+12%	+8m	68.2m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 3 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

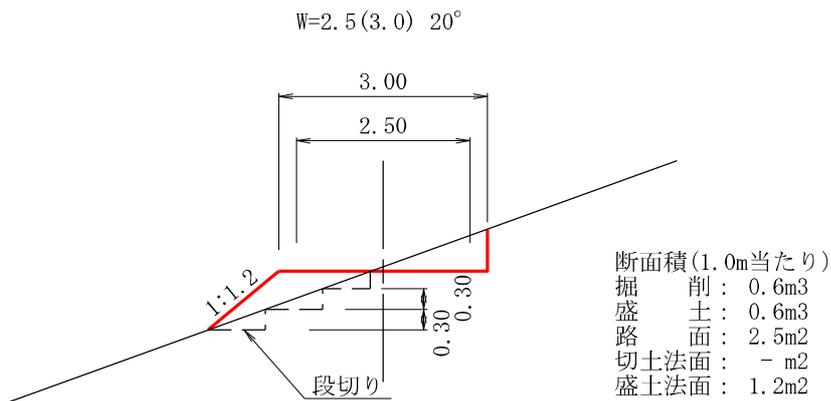
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

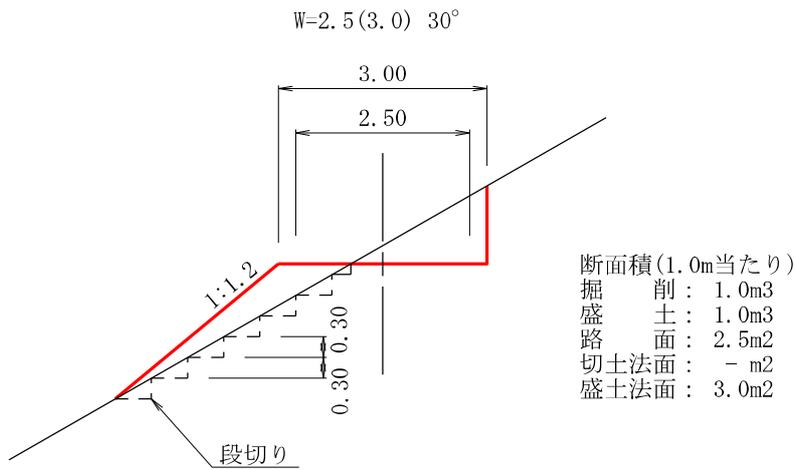
2.29 詳細設計(R-28)

図表 917 R-28 の平面図



図表 918 R-28 の標準横断図





R-28 起点



R-28 終点

図表 919 R-28 の構造・数量

延長	150.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

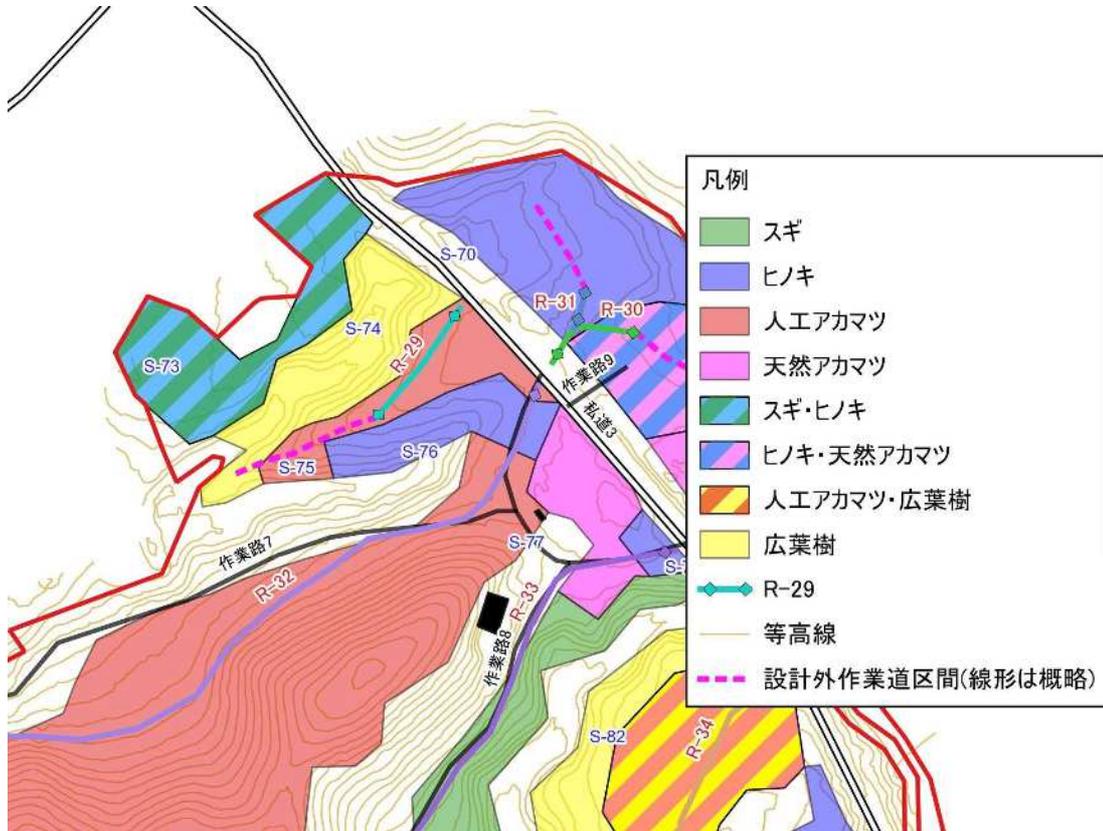
図表 920 R-28 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-26 の分岐			
終点	S-62 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~32.4	0%	0m	32.4m
	32.4~112.5	-12%	-10m	80.1m
	112.5~150.0	+11%	+4m	37.5m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 3 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

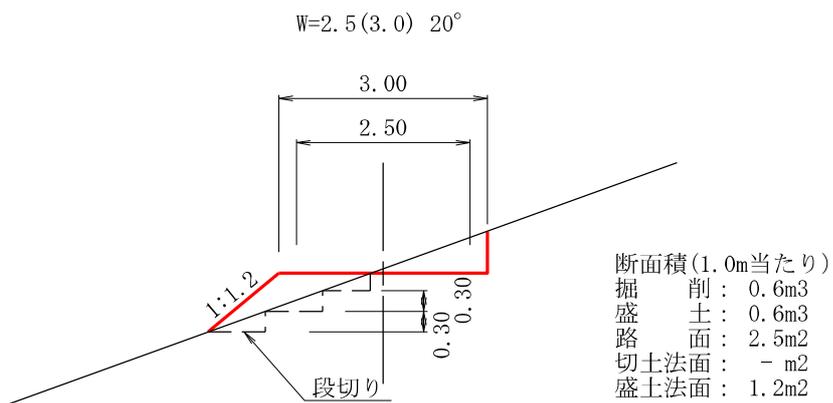
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.30 詳細設計 (R-29)

図表 921 R-29 の平面図



図表 922 R-29 の標準横断面図





R-29 起点



R-29 終点

図表 923 R-29 の構造・数量

延長	40.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

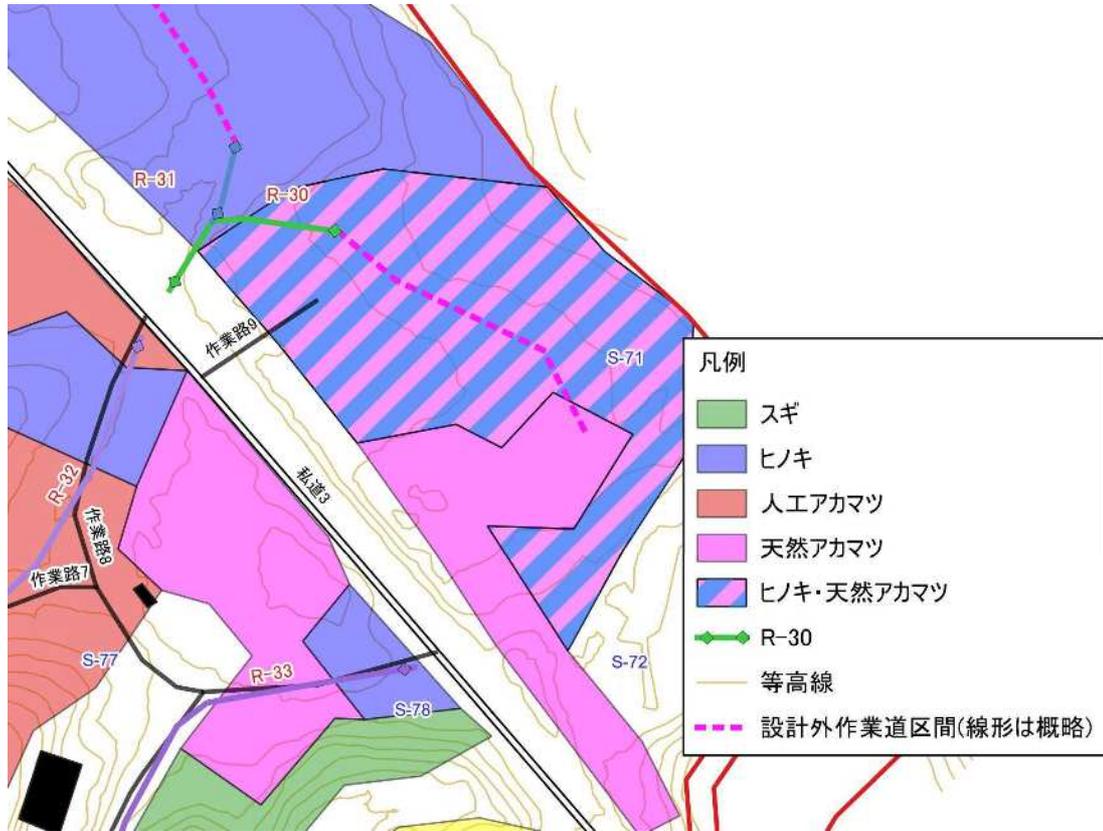
図表 924 R-29 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-75 内の平坦地			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~40.0	-3%	-1m	40.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

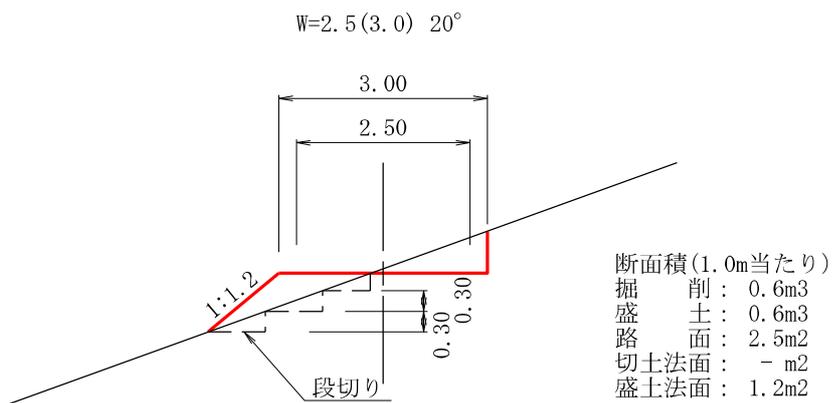
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.31 詳細設計 (R-30)

図表 925 R-30 の平面図



図表 926 R-30 の標準横断面図





R-30 起点



R-30 終点

図表 927 R-30 の構造・数量

延長	30.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

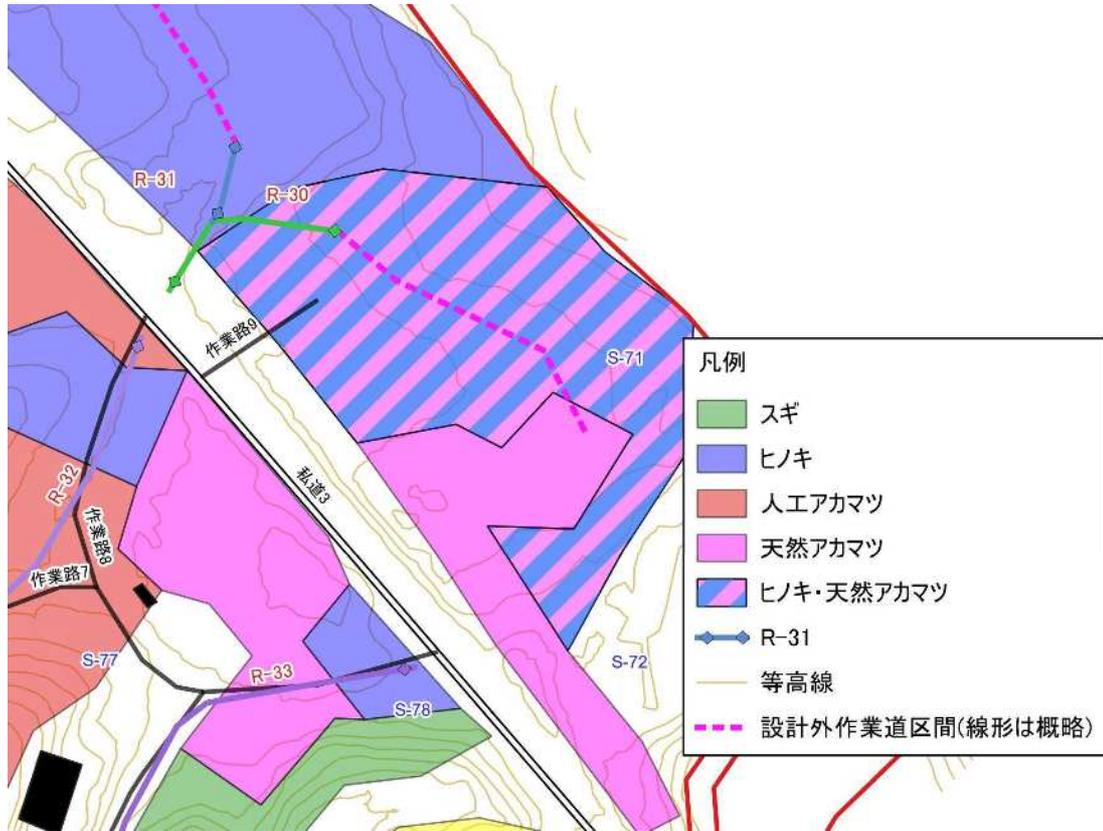
図表 928 R-30 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-71 内の平坦地			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~30.0	+10%	+3m	30.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

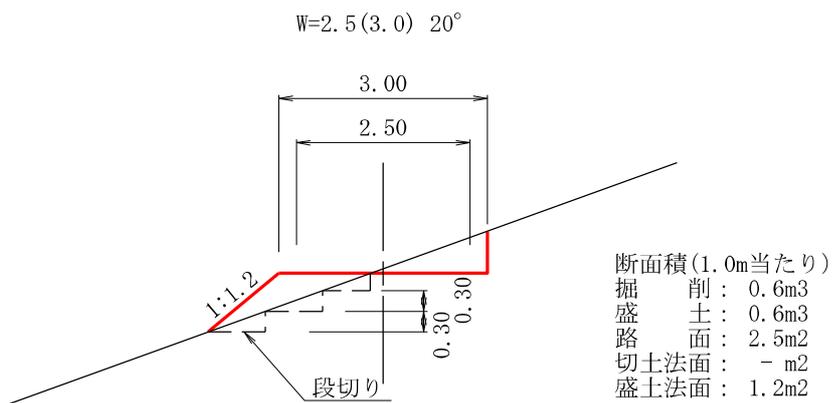
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.32 詳細設計(R-31)

図表 929 R-31 の平面図



図表 930 R-31 の標準横断図





R-31 起点



R-31 終点

図表 931 R-31 の構造・数量

延長	10.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

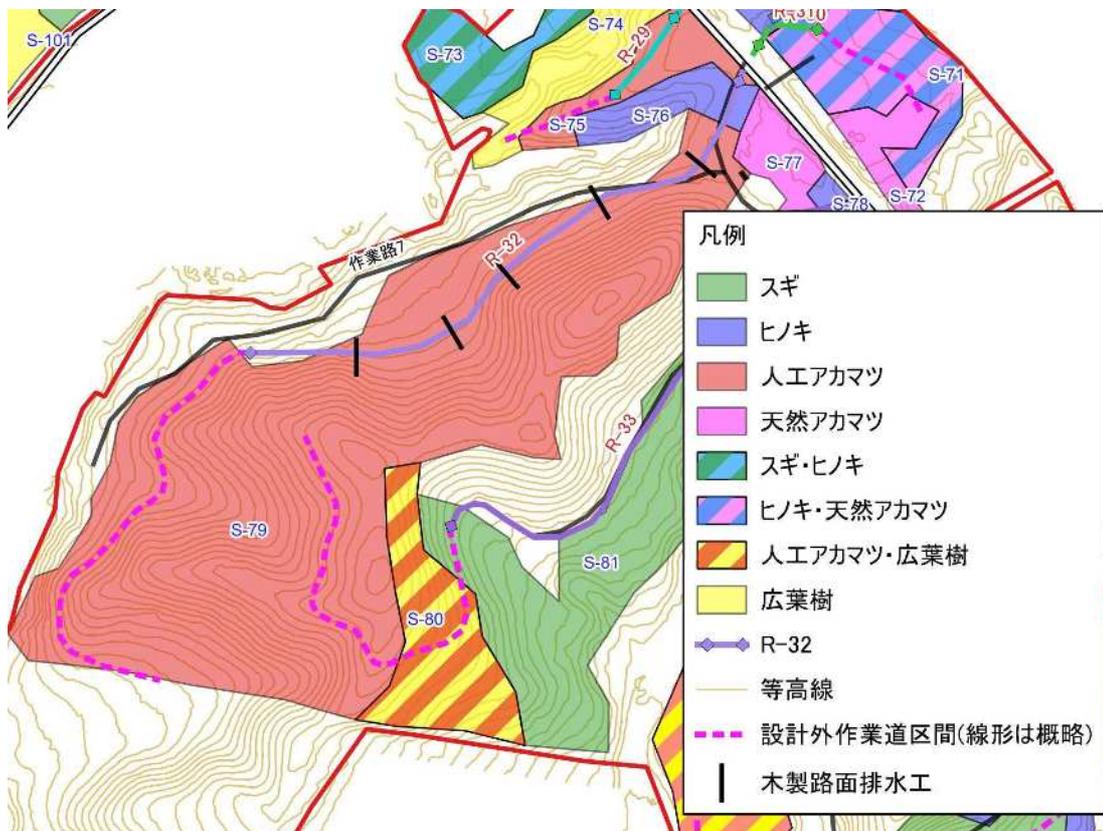
図表 932 R-31 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-30 から分岐			
終点	S-70 内の平坦地			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~10.0	0%	0m	10.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

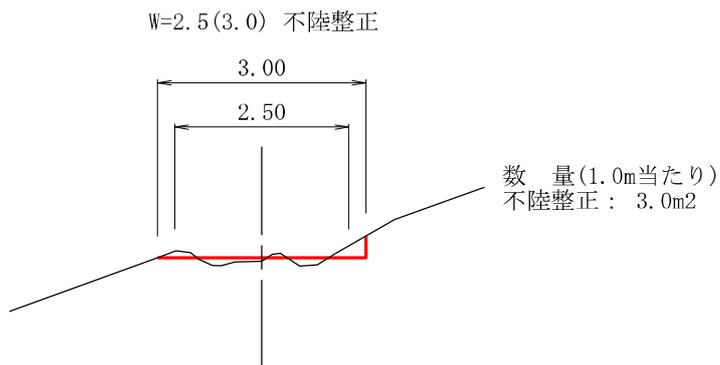
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

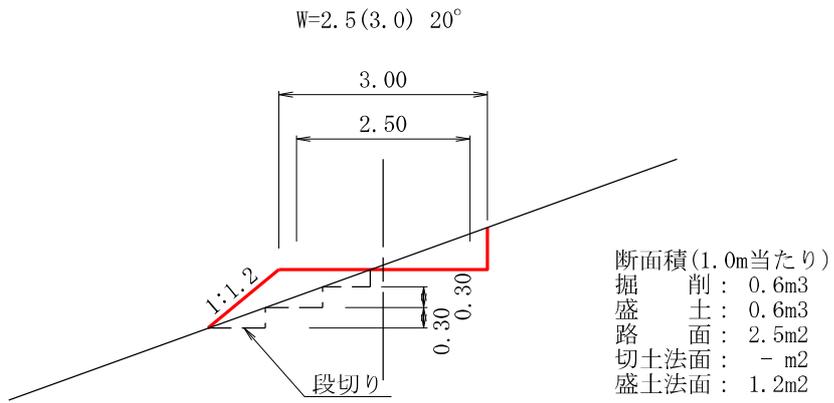
2.33 詳細設計(R-32)

図表 933 R-32 の平面図



図表 934 R-32 の標準横断図





R-32 起点



R-32 終点

図表 935 R-32 の構造・数量

延長	224.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

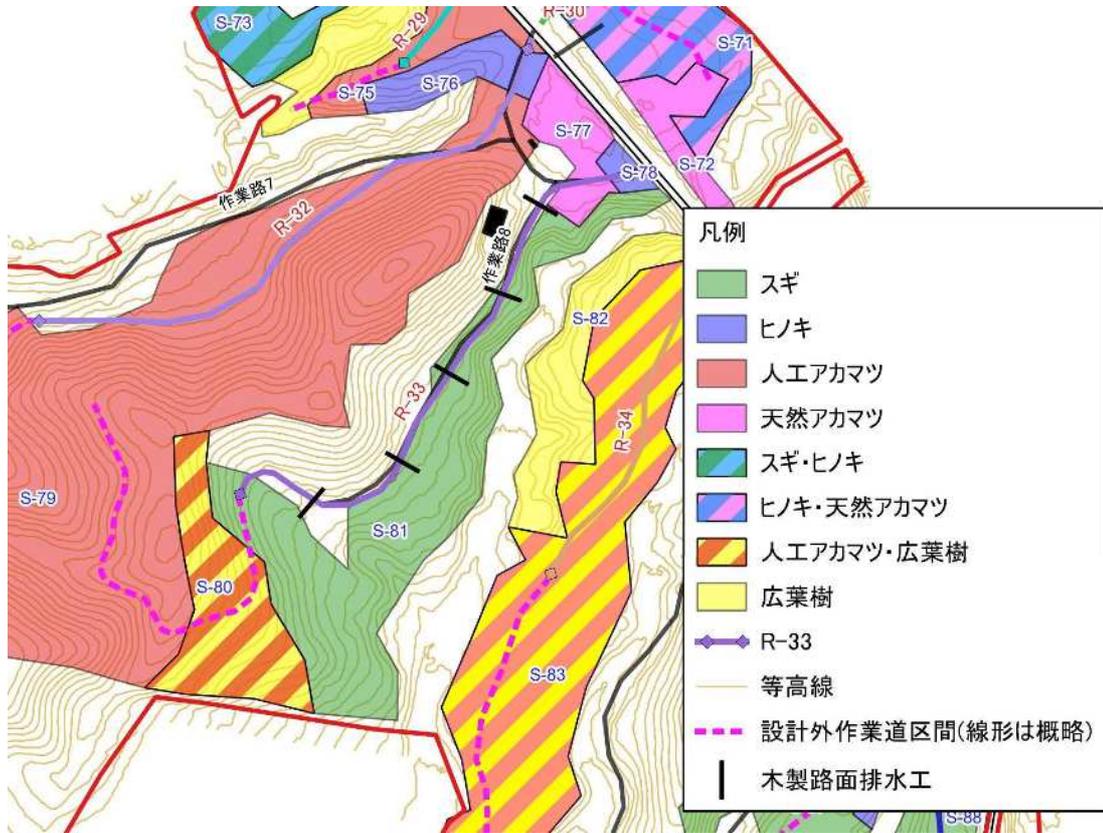
図表 936 R-32 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-79 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~124.3	0%	0m	124.3m
	124.3~224.0	-4%	-4m	99.7m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 5 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

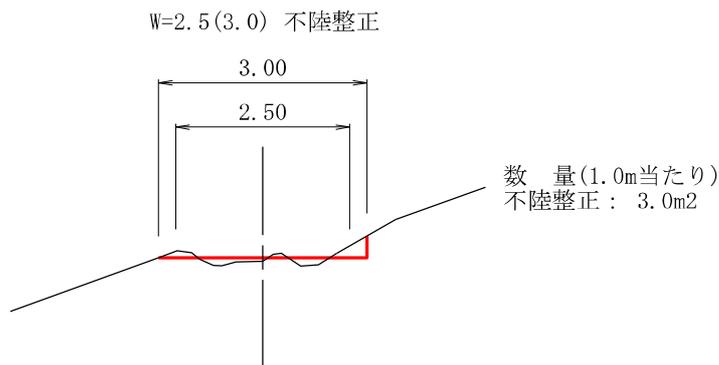
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

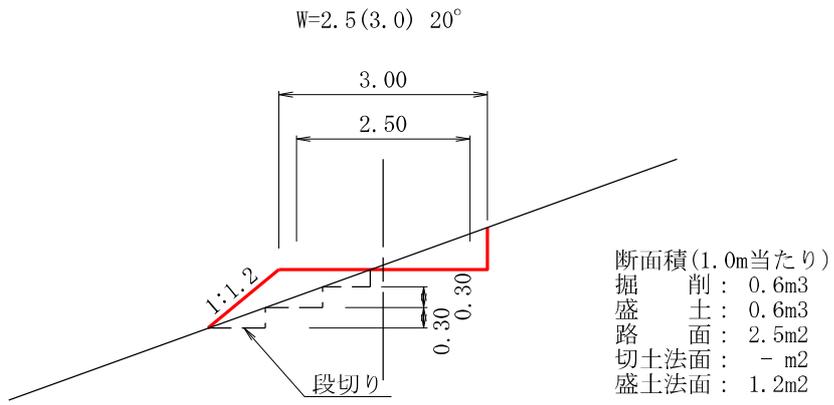
2.34 詳細設計 (R-33)

図表 937 R-33 の平面図



図表 938 R-33 の標準横断面図





R-33 起点



R-33 終点

図表 939 R-33 の構造・数量

延長	222.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

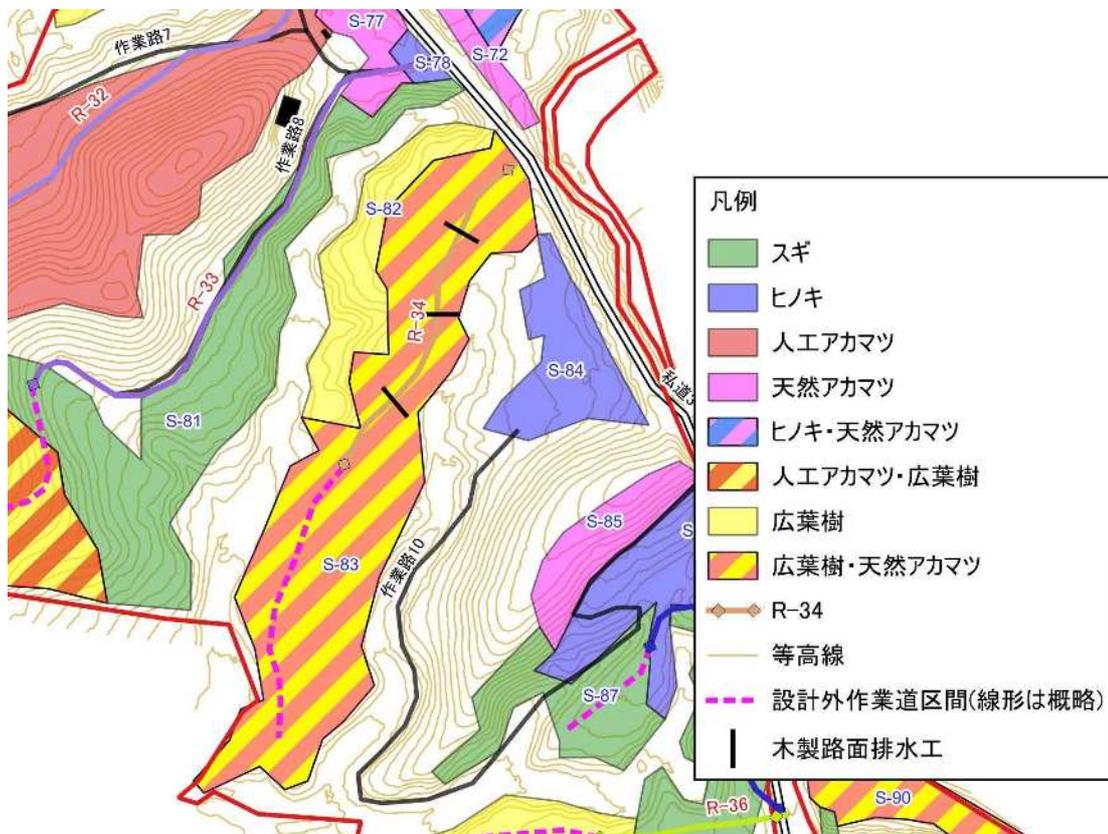
図表 940 R-33 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-81 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~97.4	-2%	-2m	97.4m
	97.4~182.9	0%	0m	85.5m
	182.9~222.0	+13%	+5m	39.1m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 5 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

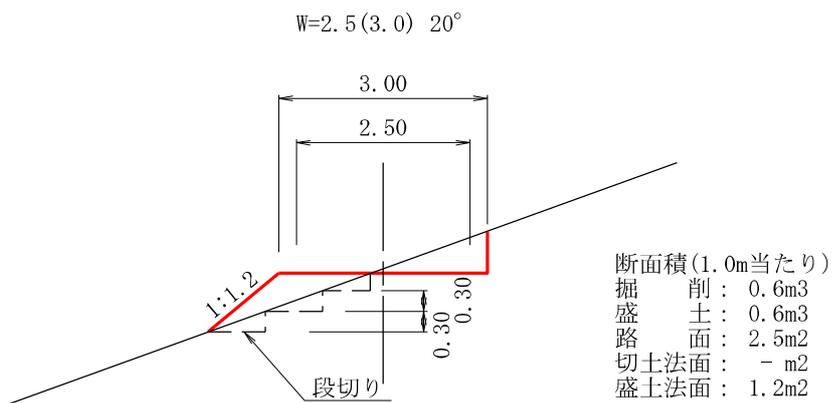
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.35 詳細設計(R-34)

図表 941 R-34 の平面図



図表 942 R-34 の標準横断図





R-34 起点



R-34 終点

図表 943 R-34 の構造・数量

延長	132.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

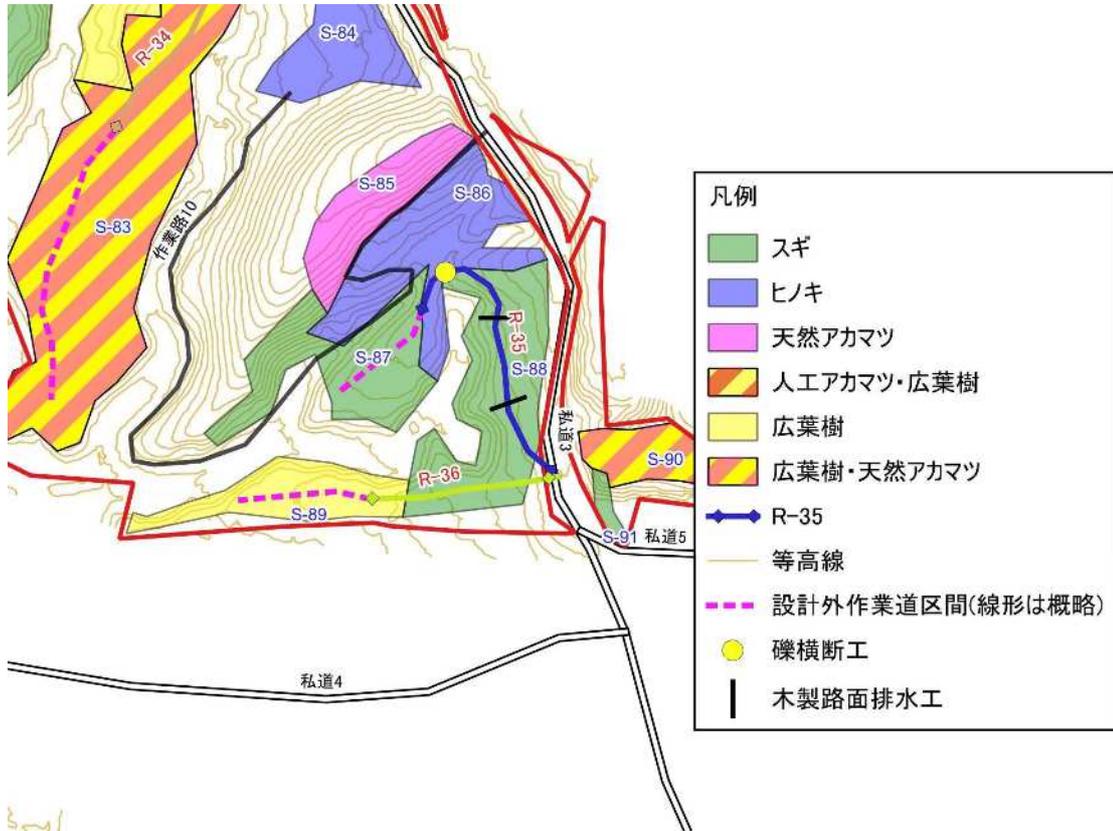
図表 944 R-34 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-83 内の平坦地			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~132.0	-5%	-6m	132.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 3 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

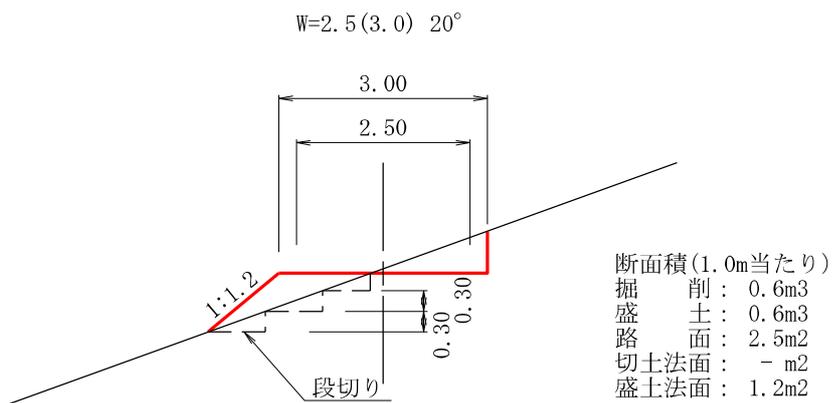
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.36 詳細設計 (R-35)

図表 945 R-35 の平面図



図表 946 R-35 の標準横断図





R-35 起点



礫横断排水工計画箇所



R-35 終点

図表 947 R-35 の構造・数量

延長	113.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

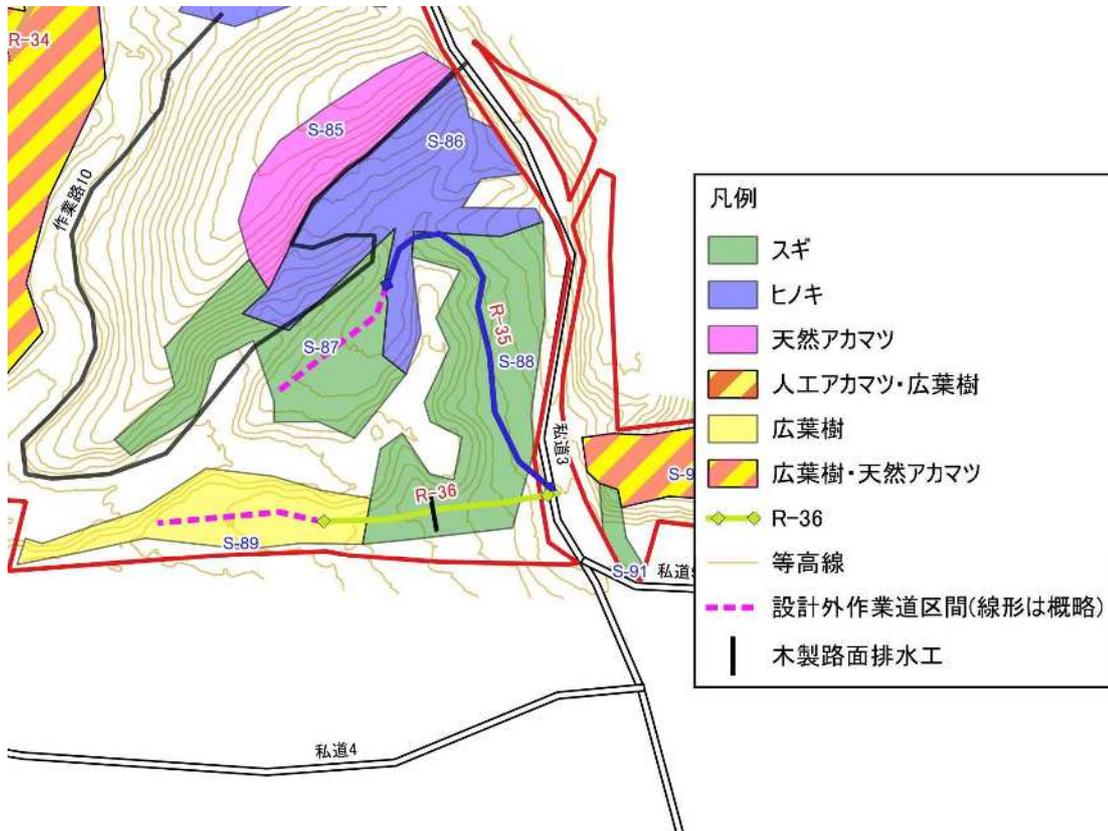
図表 948 R-35 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-86 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~61.2	0%	0m	61.2m
	61.2~77.3	+6%	+1m	16.1m
	77.3~113.0	-6%	-2m	35.7m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 2 箇所、礫横断排水工 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

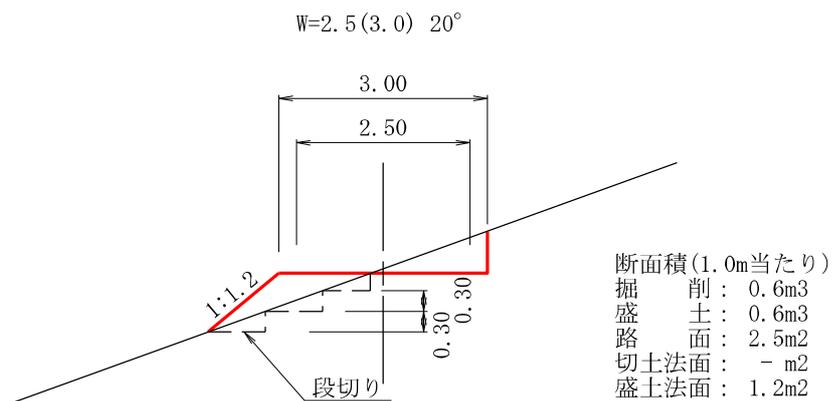
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.37 詳細設計 (R-36)

図表 949 R-36 の平面図



図表 950 R-36 の標準横断図





R-36 起点



R-36 終点

図表 951 R-36 の構造・数量

延長	69.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

図表 952 R-36 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-89 内の平坦地			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~69.0	-7%	-5m	69.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

※1：地形図の等高線読み取りによって算出。





R-37 起点



R-37 終点

図表 955 R-37 の構造・数量

延長	115.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

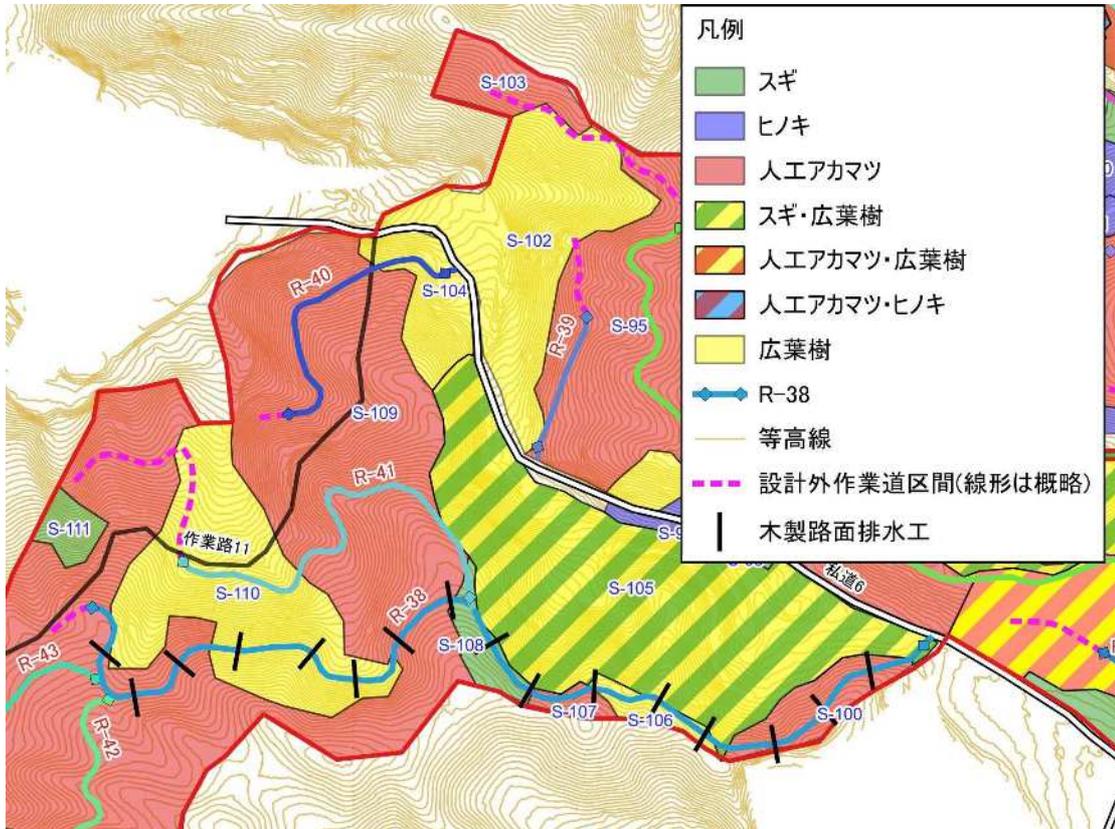
図表 956 R-37 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-25 から分岐			
終点	S-52 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~115.0	+4%	+5m	115.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 3 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

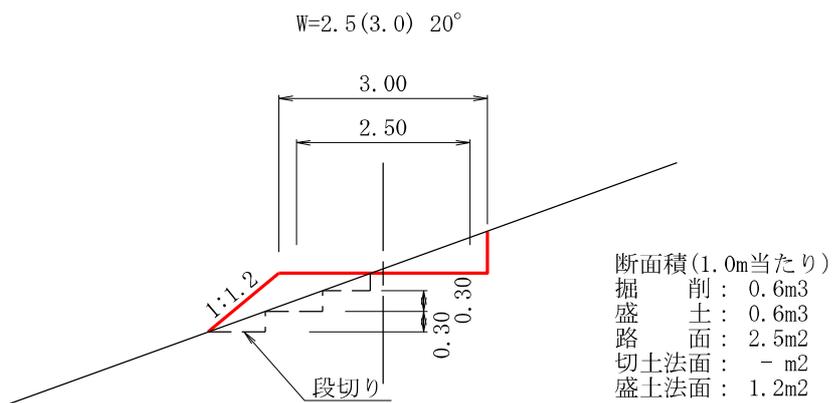
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

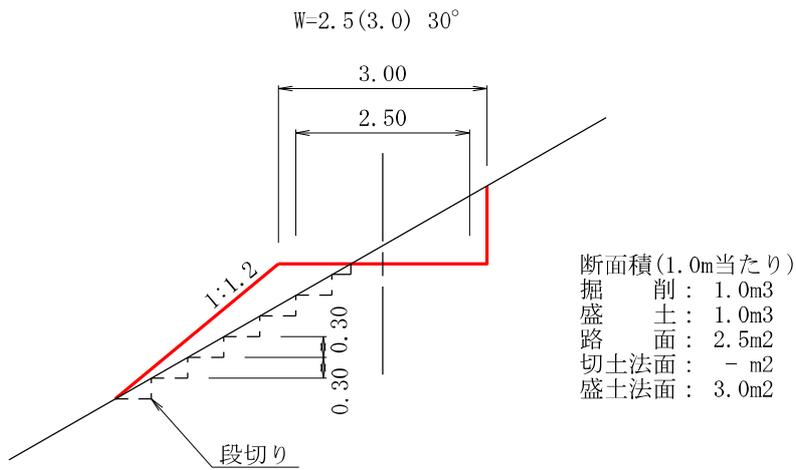
2.39 詳細設計(R-38)

図表 957 R-38 の平面図



図表 958 R-38 の標準横断面図





R-38 起点



R-38 終点

図表 959 R-38 の構造・数量

延長	650.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

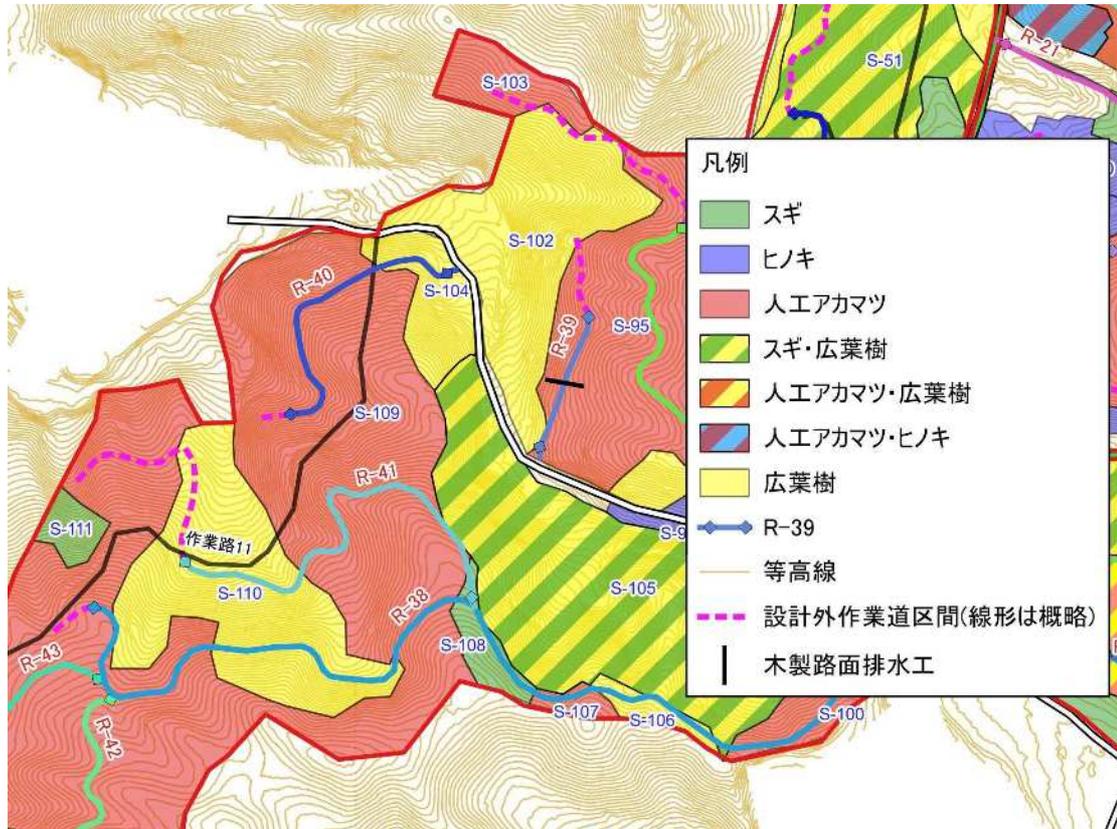
図表 960 R-38 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-109 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~96.0	+14%	+13m	96.0m
	96.0~259.6	+7%	+11m	163.6m
	259.6~429.4	-8%	-13m	169.8m
	429.4~456.9	+11%	+3m	27.5m
	456.9~511.2	-4%	-2m	54.3m
	511.2~587.1	+5%	+4m	75.9m
587.1~650.0	-11%	-7m	62.9m	
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 16 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

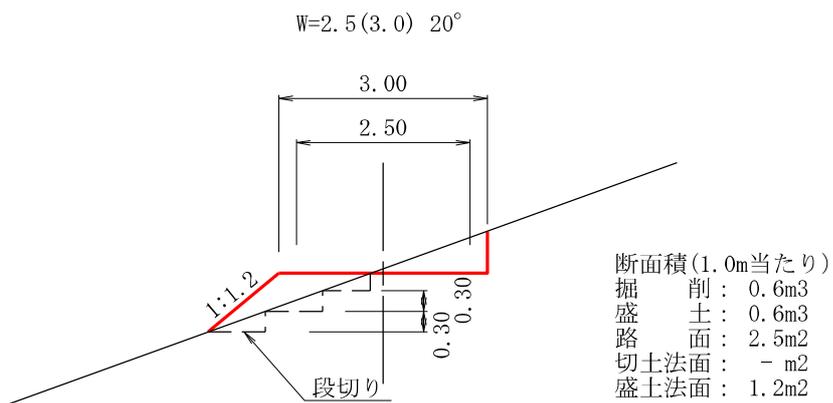
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

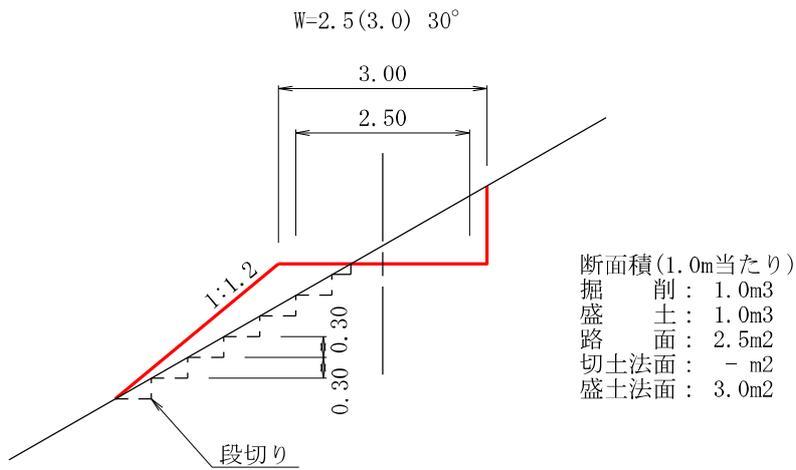
2.40 詳細設計 (R-39)

図表 961 R-39 の平面図



図表 962 R-39 の標準横断面図





R-39 起点



R-39 終点

図表 963 R-39 の構造・数量

延長	89.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

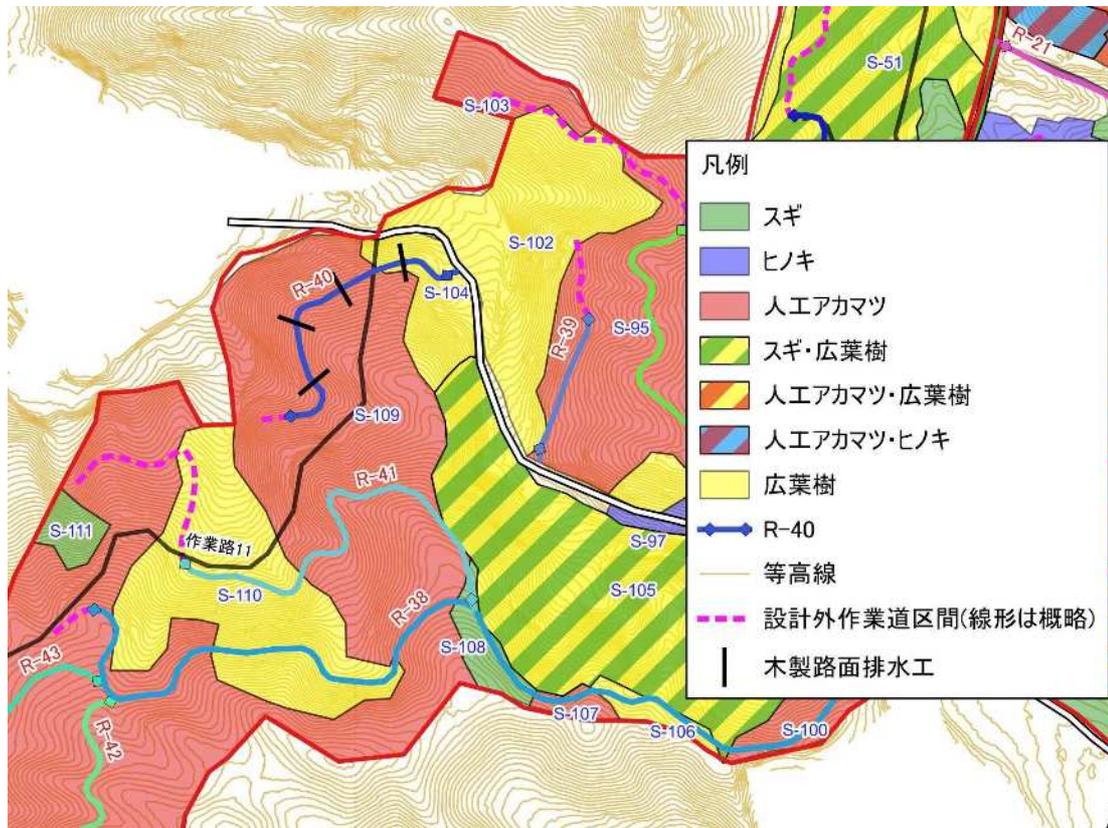
図表 964 R-39 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-95 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~51.7	+14%	+7m	51.7m
	51.7~89.0	0%	0m	37.3m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

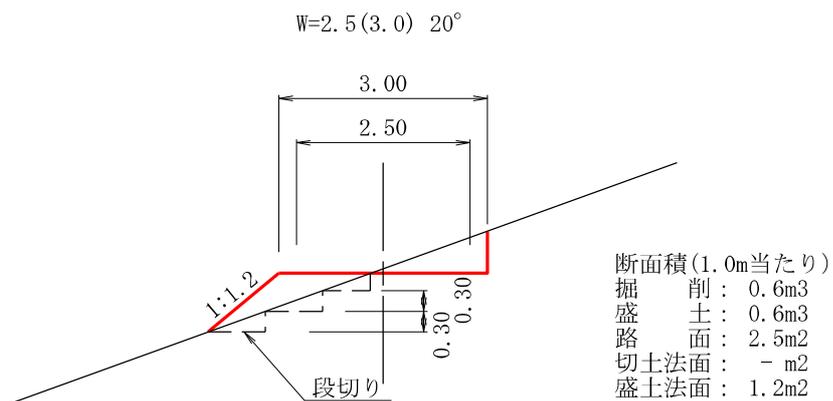
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

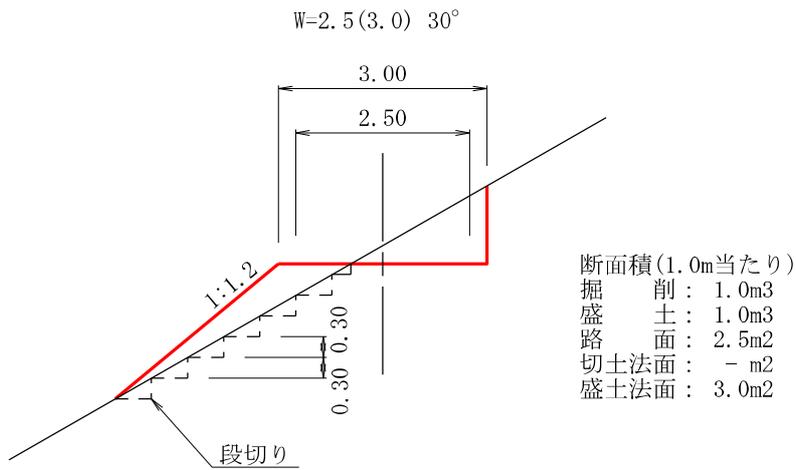
2.40 詳細設計 (R-40)

図表 965 R-40 の平面図



図表 966 R-40 の標準横断面図





R-40 起点



R-40 終点

図表 967 R-40 の構造・数量

延長	183.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

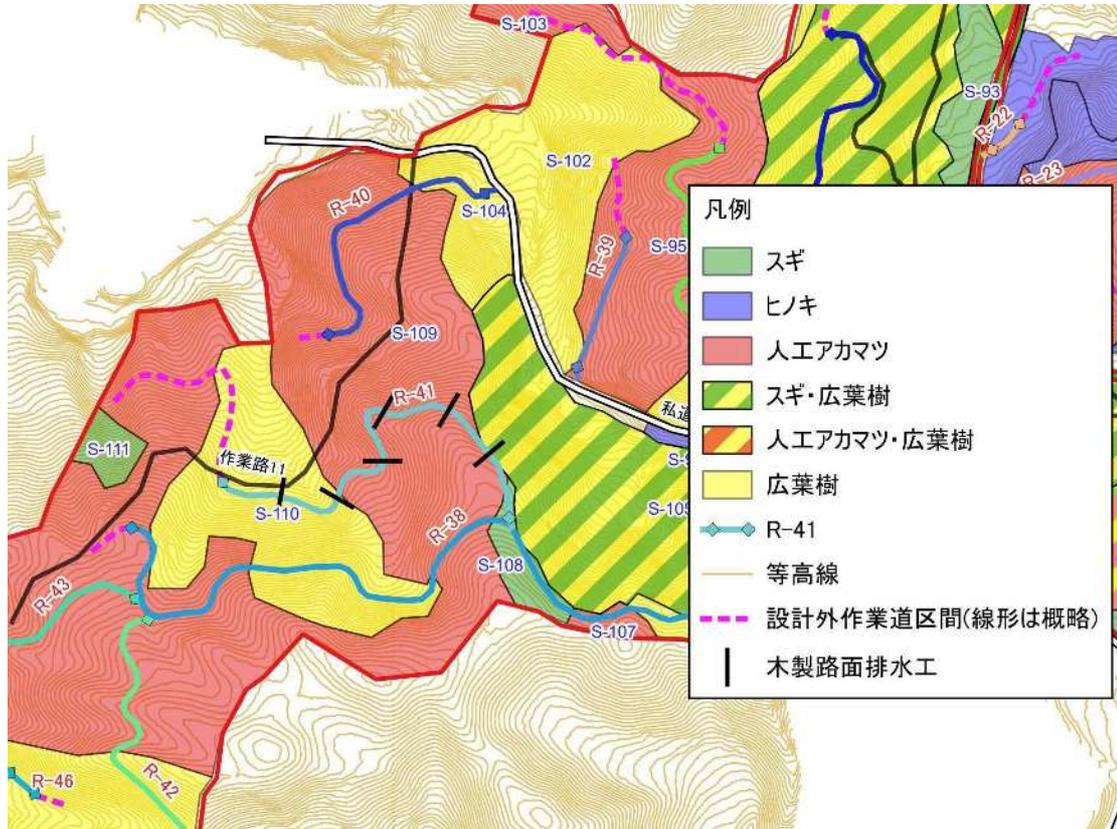
図表 968 R-40 の設計説明

項目	内 容			
起点	私道			
終点	S-109 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~28.1	+11%	+3m	28.1m
	28.1~127.5	+8%	+8m	99.4m
	127.5~183.0	0%	0m	55.5m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 4 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

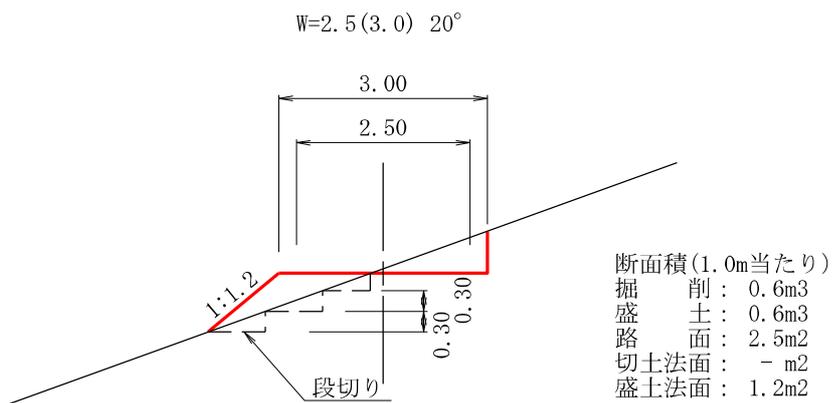
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

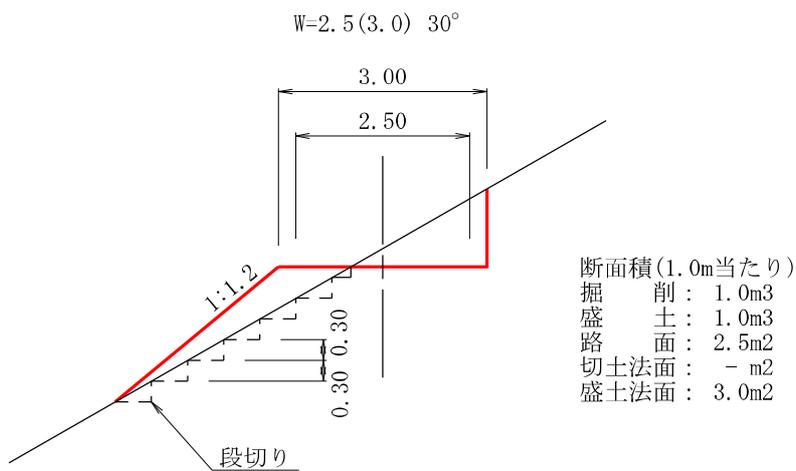
2.40 詳細設計(R-41)

図表 969 R-41 の平面図



図表 970 R-41 の標準横断面図





R-41 起点



R-41 終点

図表 971 R-41 の構造・数量

延長	273.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

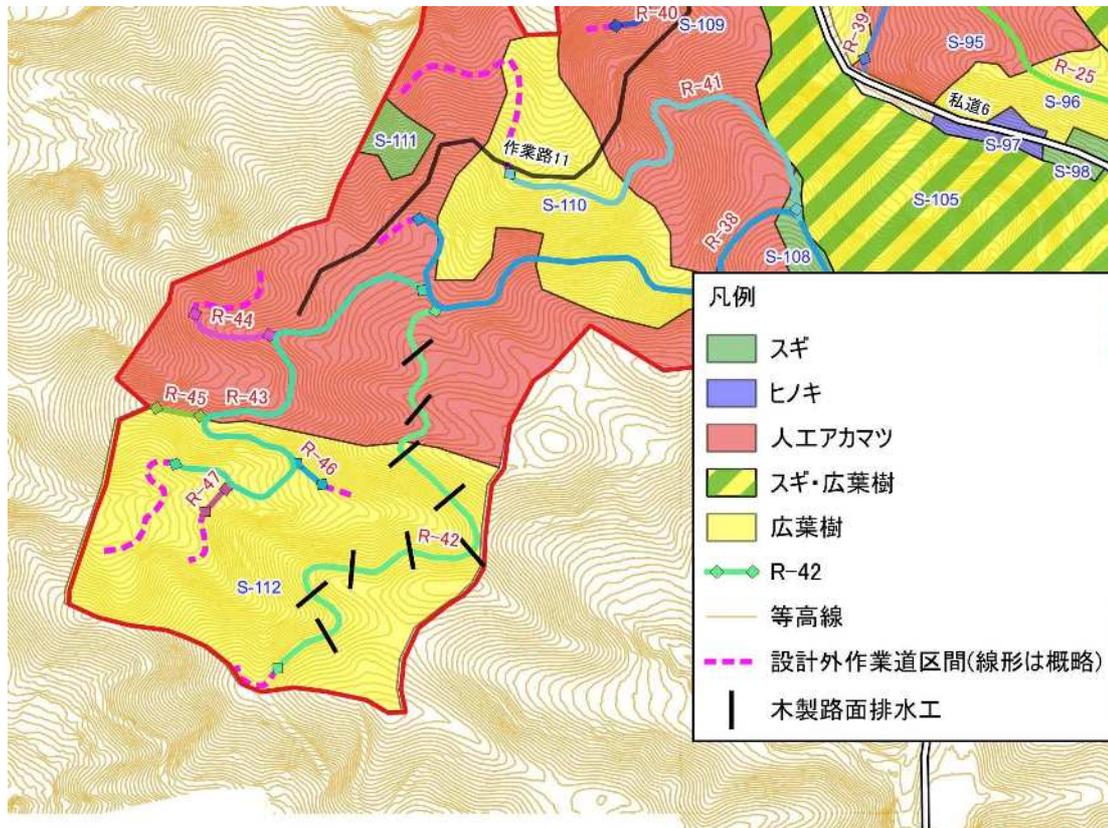
図表 972 R-41 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-38 から分岐			
終点	S-110 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~176.3	-13%	-23m	176.3m
	176.3~273.0	-7%	-7m	96.7m
ヘアピンカーブ	1 箇所			
排水施設	木製路面排水工 6 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

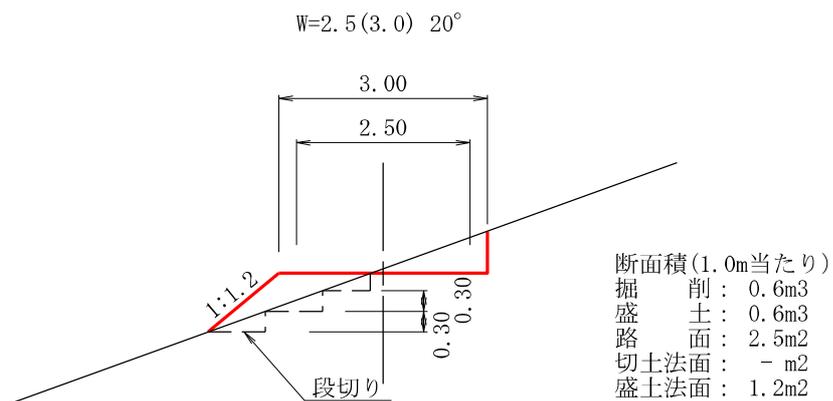
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

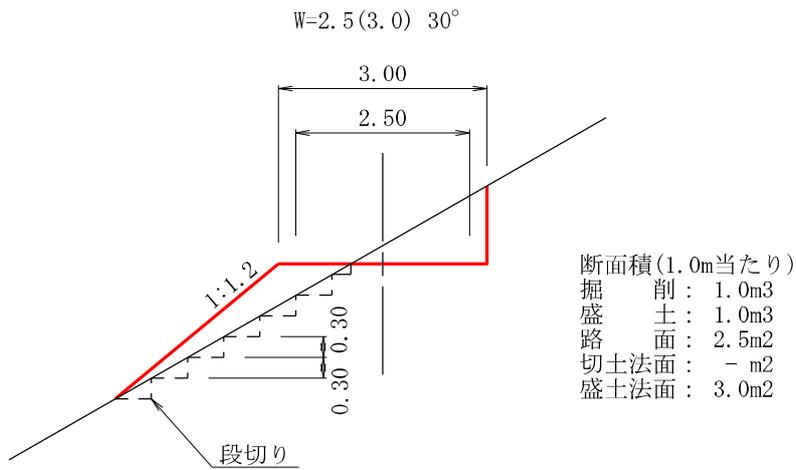
2.40 詳細設計(R-42)

図表 973 R-42 の平面図



図表 974 R-42 の標準横断面図





R-42 起点



R-42 終点

図表 975 R-42 の構造・数量

延長	376.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

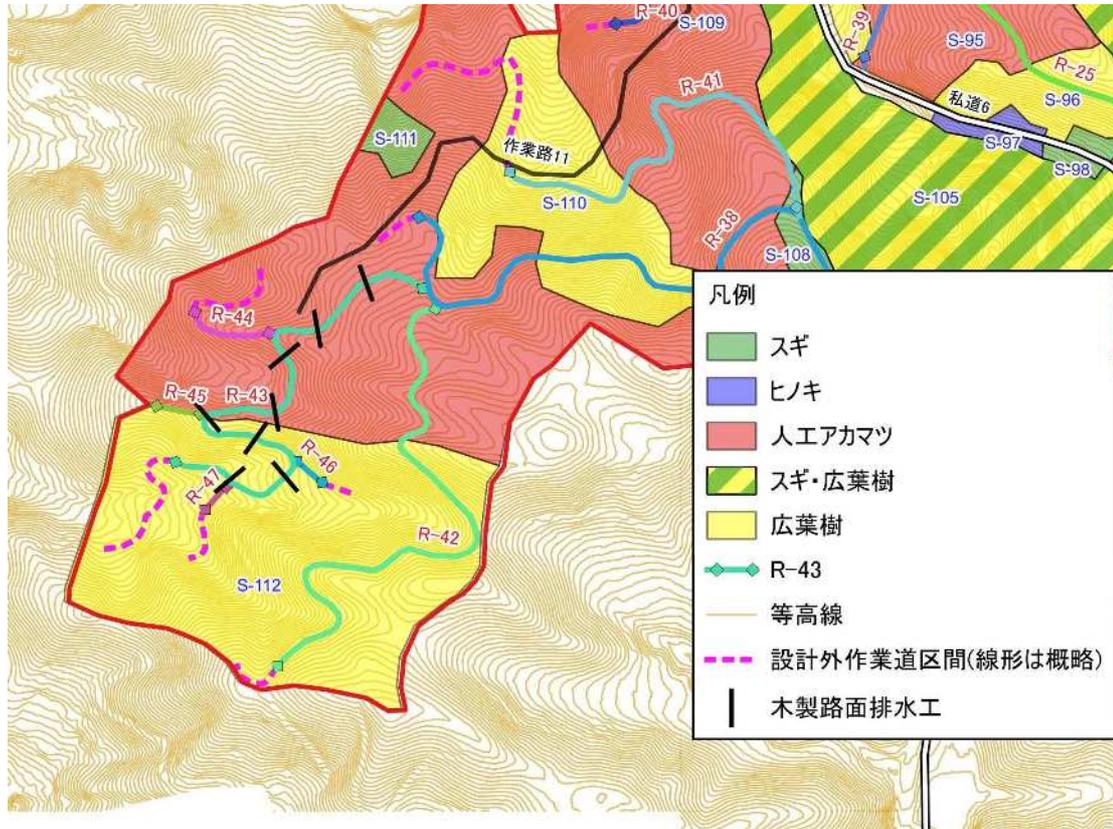
図表 976 R-42 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-38 から分岐			
終点	S-112 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~105.7	+10%	+11m	105.7m
	105.7~155.3	-12%	-6m	49.6m
	155.3~212.5	+3%	+2m	57.2m
	212.5~306.6	-5%	-5m	94.1m
	306.6~376.0	+6%	+4m	69.4m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 9 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

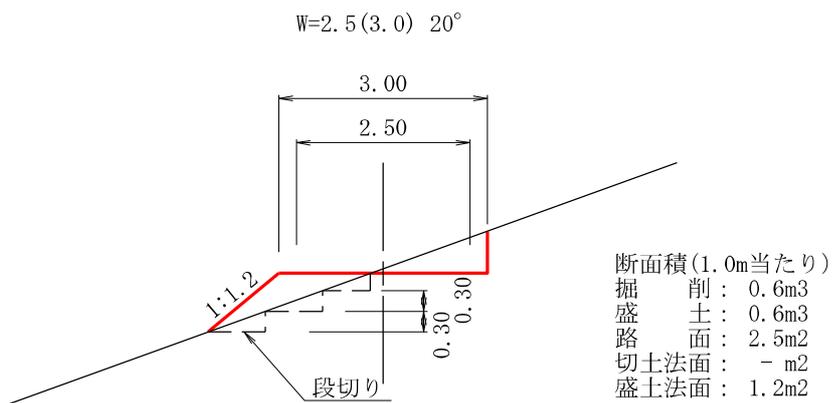
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

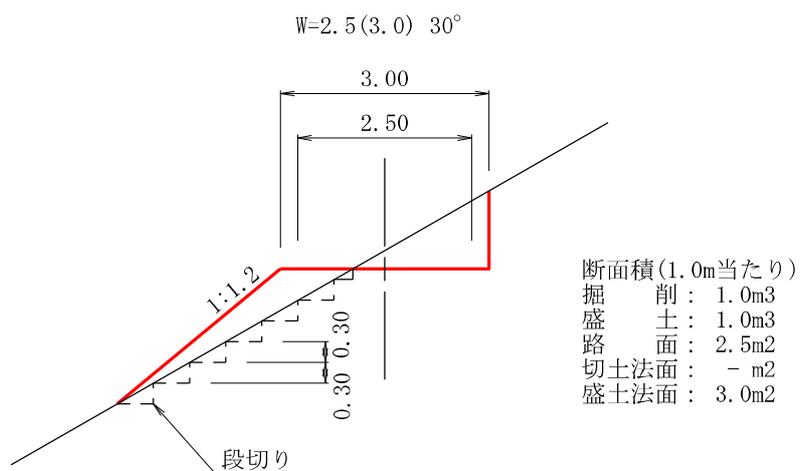
2.40 詳細設計(R-43)

図表 977 R-43 の平面図



図表 978 R-43 の標準横断面図





R-43 起点



R-43 終点

図表 979 R-43 の構造・数量

延長	346.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○		○	
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の( )書きはバケット容量

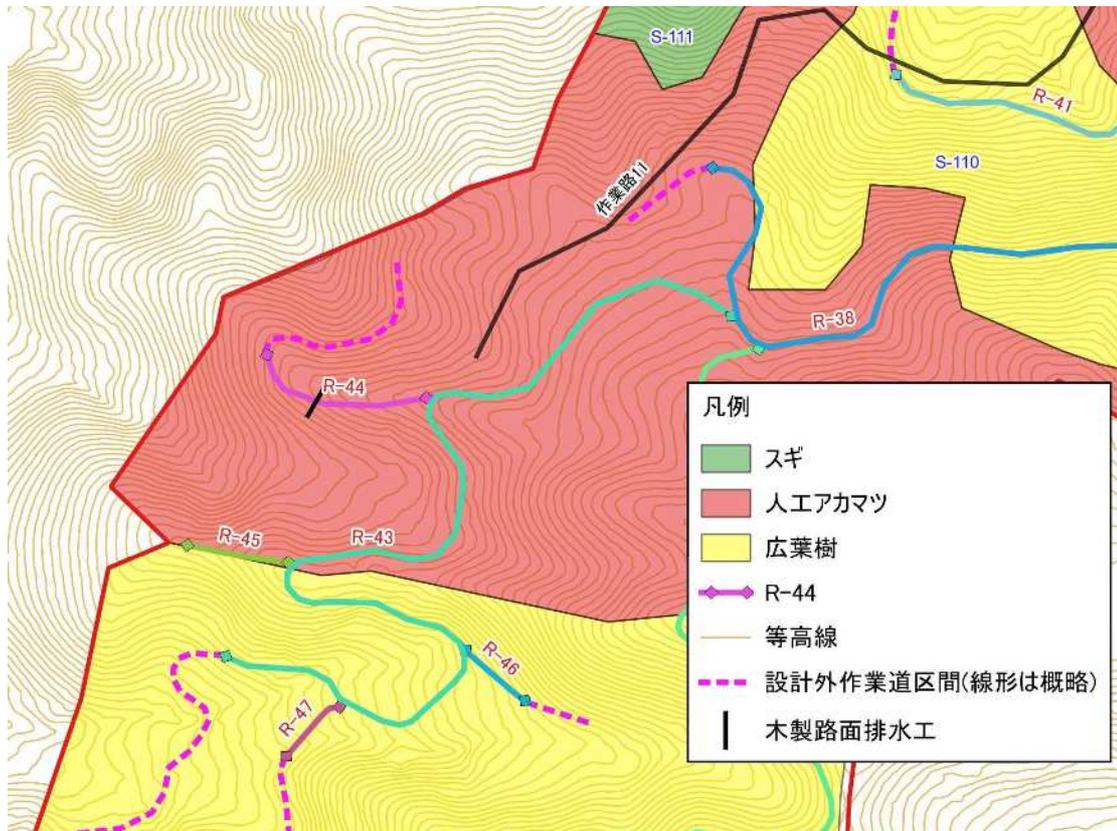
図表 980 R-43 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-38 から分岐			
終点	S-112 内の斜面			
縦断勾配 <sup>※1</sup>	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~58.5	-7%	-4m	58.5m
	58.5~185.5	-6%	-8m	127.0m
	185.5~196.4	+9%	+1m	10.9m
	196.4~258.9	-8%	-5.0m	62.5m
	258.9~346.0	-11%	-10m	87.1m
ヘアピンカーブ	2箇所			
排水施設	木製路面排水工 8 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

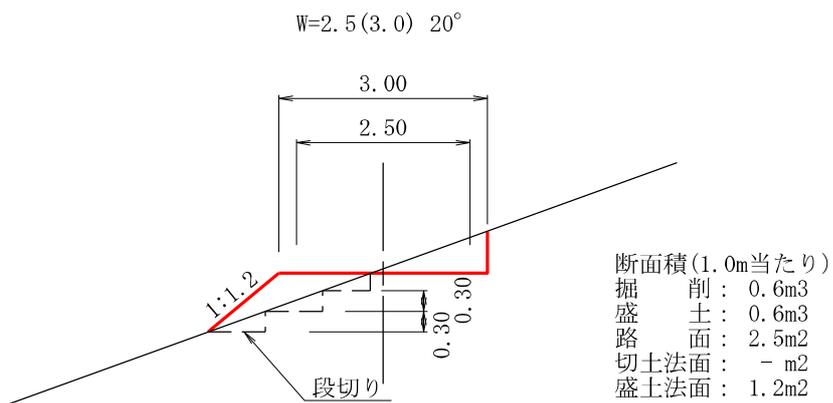
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.40 詳細設計(R-44)

図表 981 R-44 の平面図



図表 982 R-44 の標準横断図





R-44 起点



R-44 終点

図表 983 R-44 の構造・数量

延長	55.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

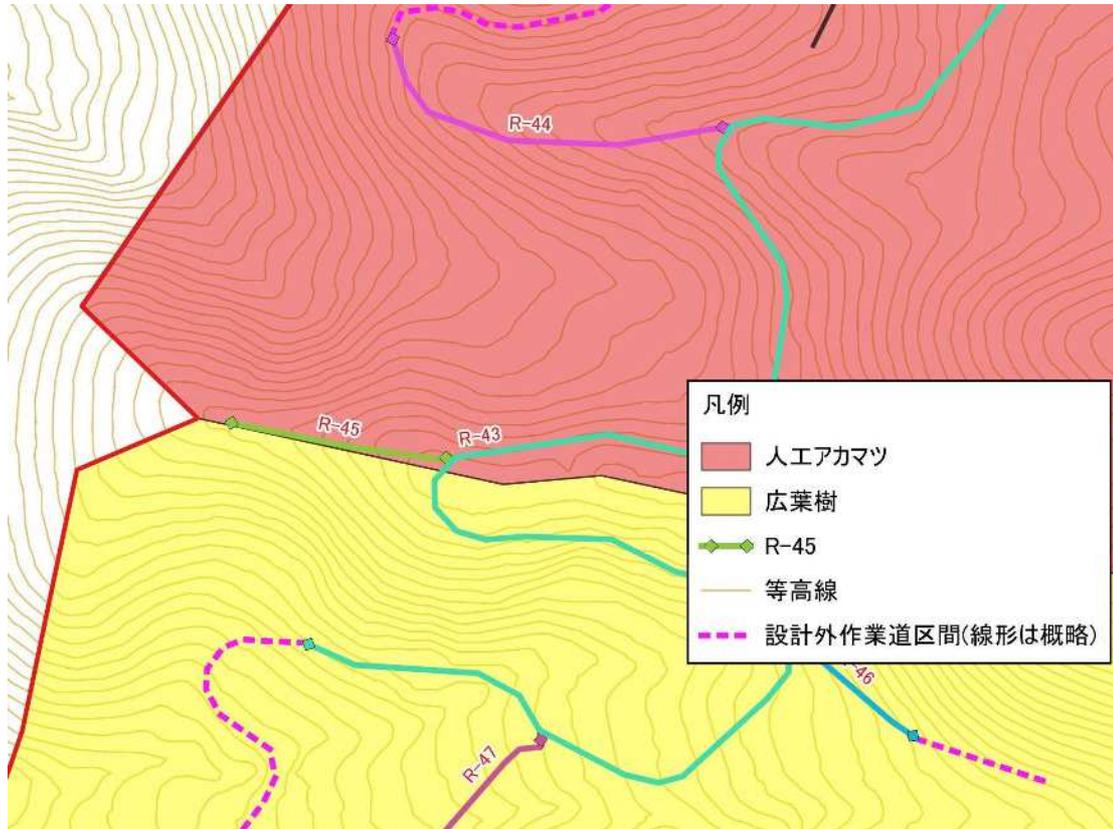
図表 984 R-44 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-43 から分岐			
終点	S-109 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0～55.0	-15%	-8m	55.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	木製路面排水工 1 箇所			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

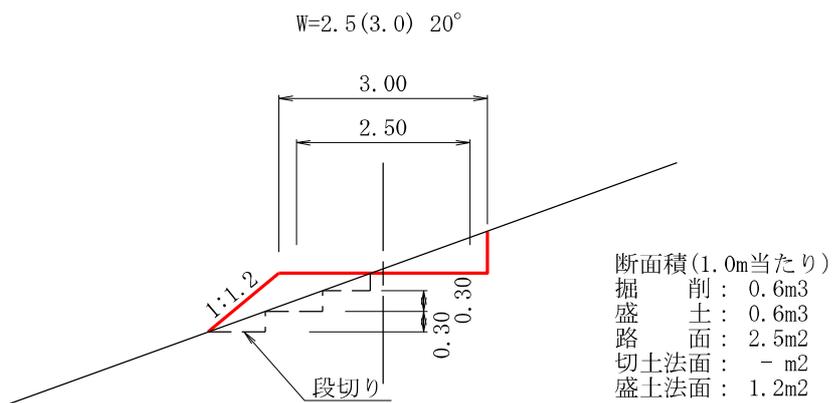
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.40 詳細設計 (R-45)

図表 985 R-45 の平面図



図表 986 R-45 の標準横断面図





R-45 起点



R-45 終点

図表 987 R-45 の構造・数量

延長	30.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

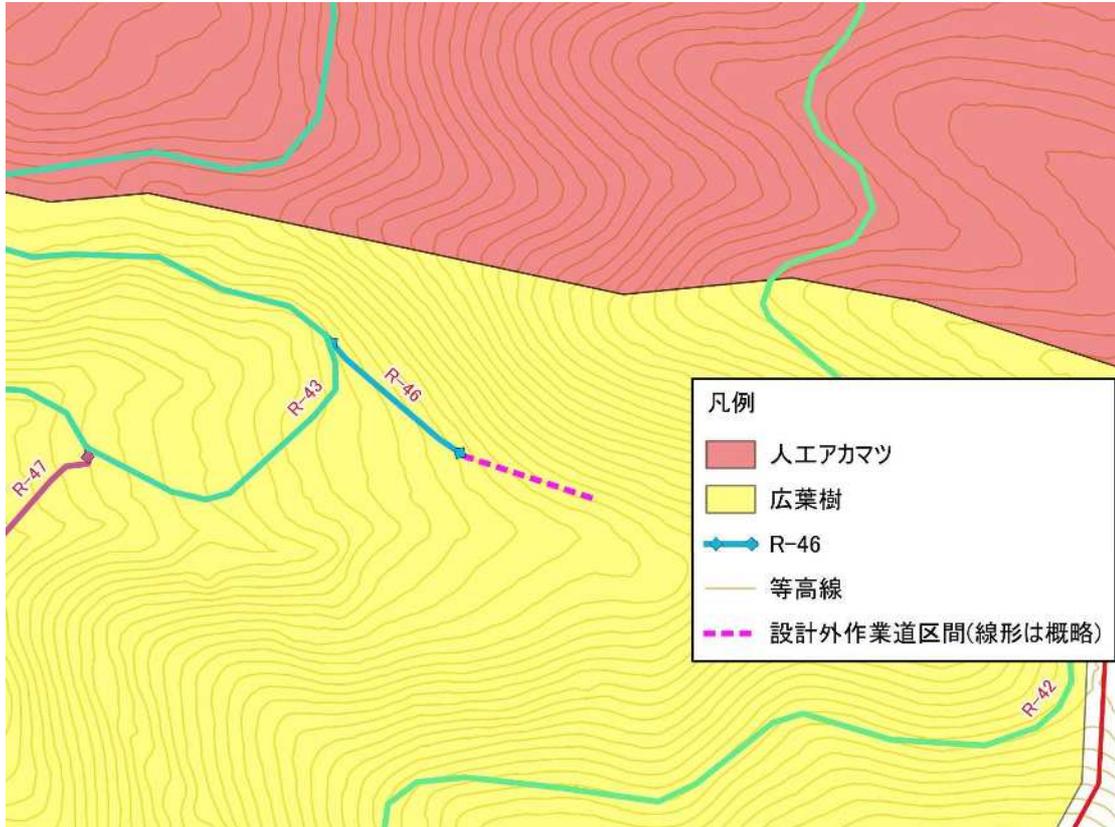
図表 988 R-45 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-43 から分岐			
終点	S-112 内の尾根			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~30.0	-13%	-4m	30.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

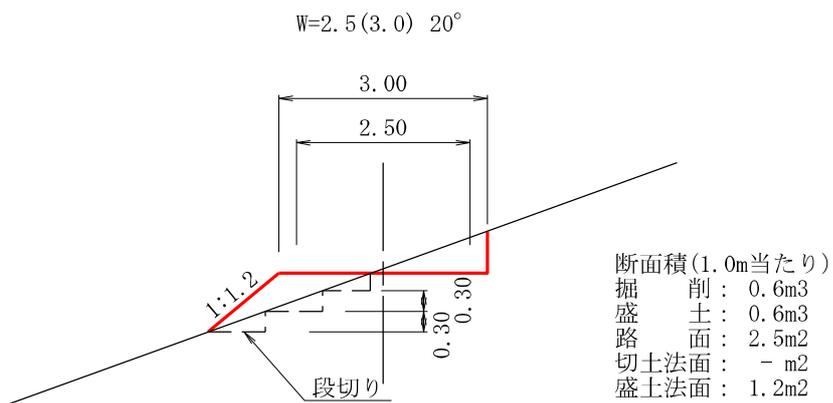
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.40 詳細設計 (R-46)

図表 989 R-46 の平面図



図表 990 R-46 の標準横断面図





R-46 起点



R-46 終点

図表 991 R-46 の構造・数量

延長	22.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

図表 992 R-46 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-43 から分岐			
終点	S-112 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0～22.0	+14%	+3m	22.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

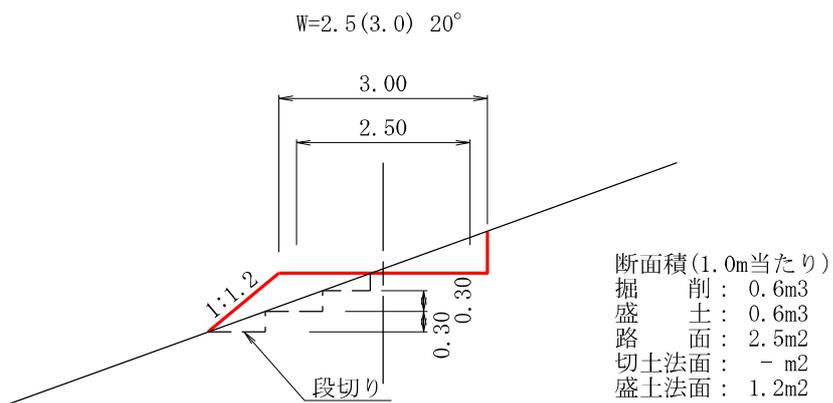
※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

2.40 詳細設計(R-47)

図表 993 R-47 の平面図



図表 994 R-47 の標準横断面図





R-47 起点



R-47 終点

図表 995 R-47 の構造・数量

延長	23.0m			
全幅員	2.0m	2.5m	3.0m	3.5m
			○	
傾斜(横断)	25° 以下		26° ~34°	
	○			
想定林業機械	3t 以下 (0.1m <sup>3</sup> 以下)	3~4t (0.2m <sup>3</sup> 以下)	6~8t (0.2~0.25m <sup>3</sup> )	9~13t (0.45m <sup>3</sup> )
			○	

注：想定林業機械の○書きはバケット容量

図表 996 R-47 の設計説明

項目	内 容			
起点	R-43 から分岐			
終点	S-112 内の斜面			
縦断勾配※1	区間	勾配	(比高)	(水平距離)
	0.0~23.0	-17%	-4m	23.0m
ヘアピンカーブ	なし			
排水施設	なし			
構造物	なし			
切土	1 : 0.0			
盛土	1 : 1.2			

※1：地形図の等高線読み取りによって算出。

### 3. 林業用作業施設の整備方針

#### 3.1 詳細設計(D-1)

図表 997 D-1 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 998 にまとめる。

図表 998 D-1 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	県道（草野大倉鹿島線）
面積*	180.0m <sup>2</sup>
路面	敷鉄板
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.2 詳細設計(D-2)

図表 999 D-2 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1000 まとめる。

図表 1000 D-2 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.3 詳細設計(D-3)

図表 1001 D-3 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1002 にまとめる。

図表 1002 D-3 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	180.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

## 3.4 詳細設計(D-4)

図表 1003 D-4 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1004 にまとめる。

図表 1004 D-4 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	50.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.5 詳細設計(D-5)

図表 1005 D-5 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1006 にまとめる。

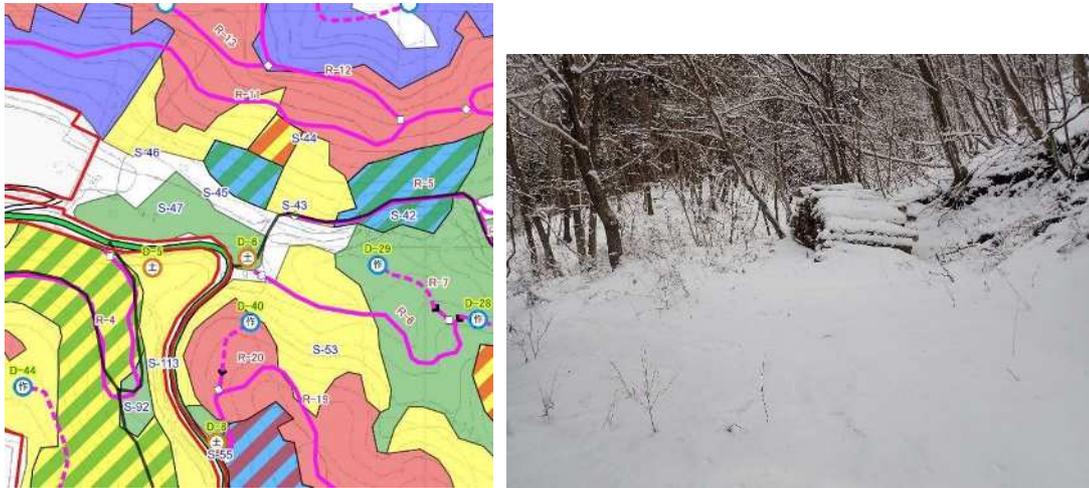
図表 1006 D-5 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

## 3.6 詳細設計(D-6)

図表 1007 D-6 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1008 にまとめる。

図表 1008 D-6 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	50.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

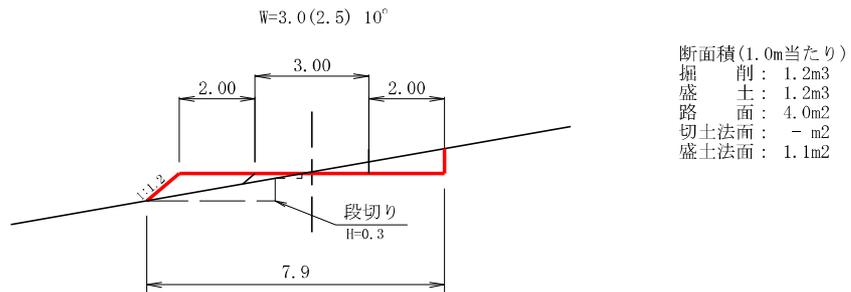
3.7 詳細設計(D-7)

図表 1009 D-7 平面図



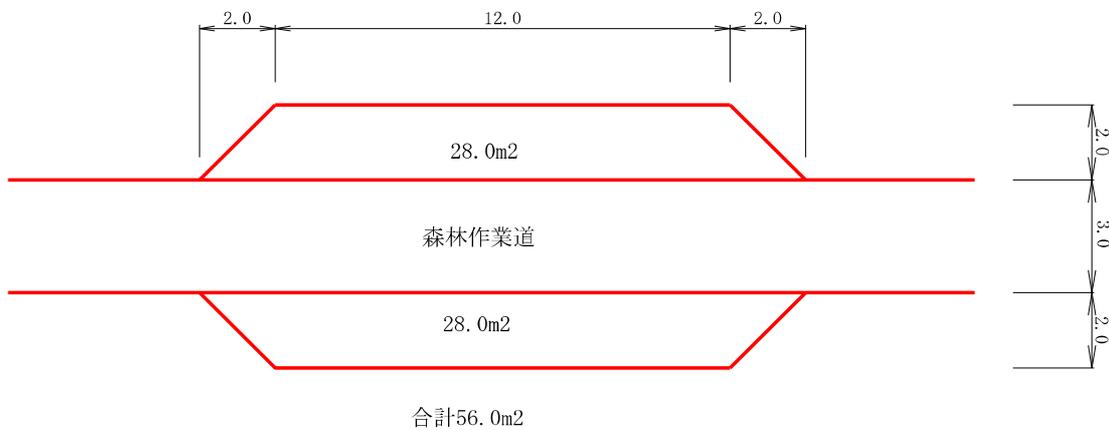
図表 1010 D-7 の標準図

横断面図



伐開・除根幅は作業道で計上分(5m)を控除した幅とする。

平面図(中間タイプ)



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1011 にまとめる。

図表 1011 D-7 の構造等

項目	内 容
種別	作業ポイント
接続道	R-13
面積※	56.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	切土 1 : 0.0 盛土 1 : 1.2
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.8 詳細設計(D-8)

図表 1012 D-8 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1013 にまとめる。

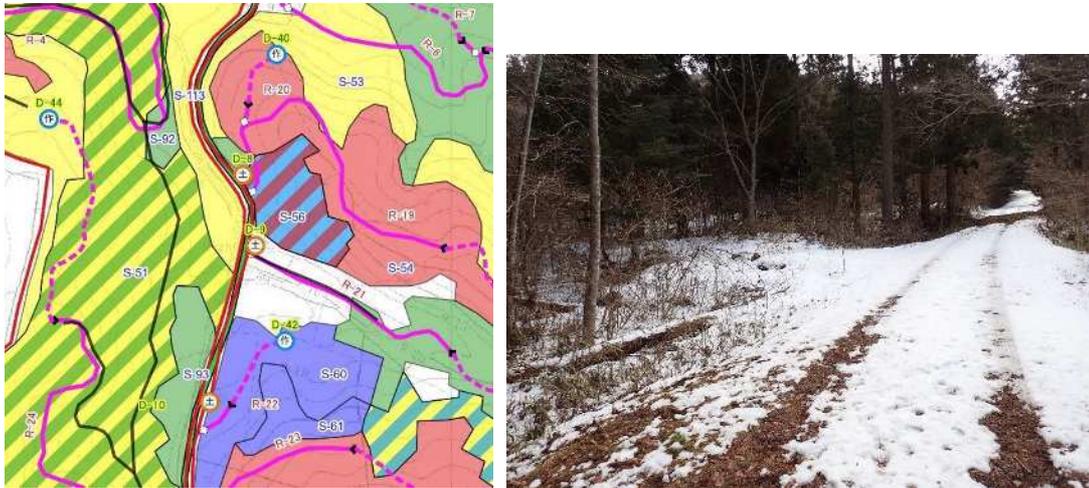
図表 1013 D-8 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.9 詳細設計(D-9)

図表 1014 D-9 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1015 にまとめる。

図表 1015 D-9 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.10 詳細設計(D-10)

図表 1016 D-10 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1017 にまとめる。

図表 1017 D-10 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

## 3.11 詳細設計(D-11)

図表 1018 D-11 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1019 にまとめる。

図表 1019 D-11 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	100.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.12 詳細設計(D-12)

図表 1020 D-12 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1021 にまとめる。

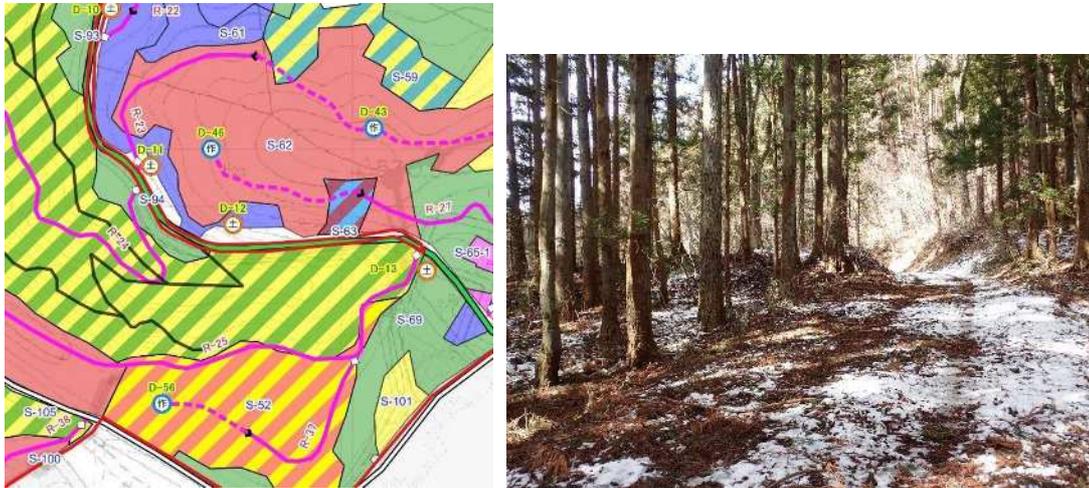
図表 1021 D-12 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	100.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

## 3.13 詳細設計(D-13)

図表 1022 D-13 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1023 にまとめる。

図表 1023 D-13 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.14 詳細設計(D-14)

図表 1024 D-14 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1025 にまとめる。

図表 1025 D-14 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	林道（大倉宮内線）
面積*	50.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

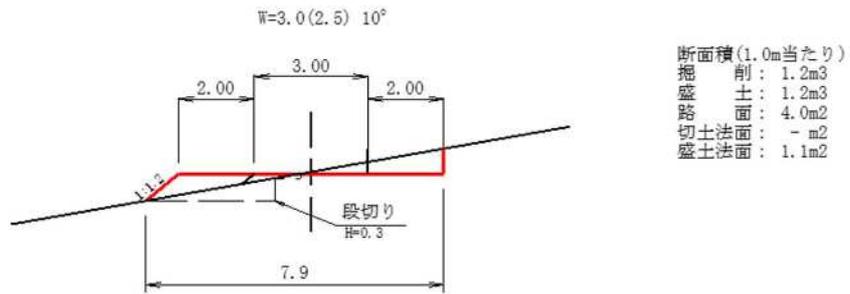
3.15 詳細設計(D-15)

図表 1026 D-15 平面図



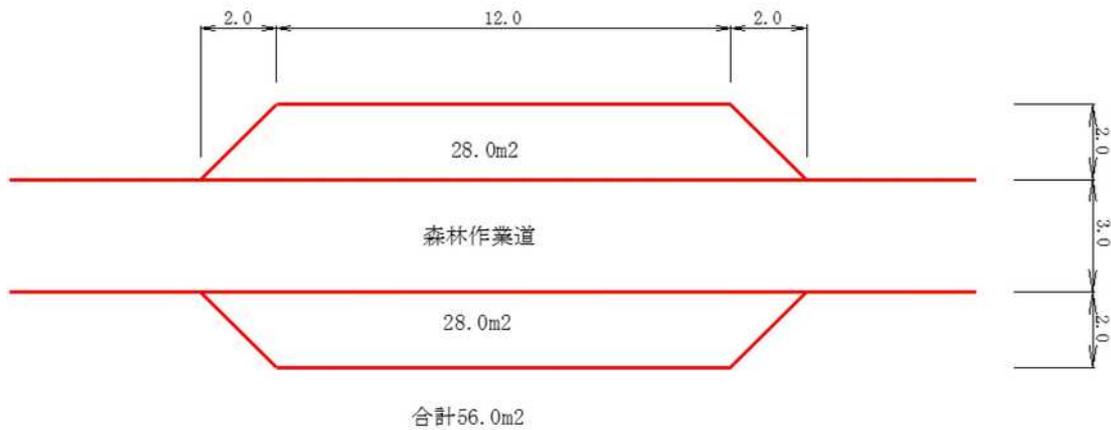
図表 1027 D-15 の標準図

横断面図



伐開・除根幅は作業道で計上分(5m)を控除した幅とする。

平面図(中間タイプ)



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1028 にまとめる。

図表 1028 D-15 の構造等

項目	内 容
種別	作業ポイント
接続道	R-26
面積※	56.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	切土 1 : 0.0 盛土 1 : 1.2
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

## 3.16 詳細設計(D-16)

図表 1029 D-16 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1030 にまとめる。

図表 1030 D-16 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	私道
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.17 詳細設計(D-17)

図表 1031 D-17 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1032 にまとめる。

図表 1032 D-17 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	私道
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

## 3.18 詳細設計(D-18)

図表 1033 D-18 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1034 にまとめる。

図表 1034 D-18 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	私道
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.19 詳細設計(D-19)

図表 1035 D-19 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1036 にまとめる。

図表 1036 D-19 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	私道
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

## 3.20 詳細設計(D-20)

図表 1037 D-20 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1038 にまとめる。

図表 1038 D-20 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	私道
面積*	40.0m <sup>2</sup>
路面	土
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

3.20 詳細設計(D-21)

図表 1039 D-21 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1038 にまとめる。

図表 1040 D-21 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	私道
面積*	180.0m <sup>2</sup>
路面	敷鉄板
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く

## 3.20 詳細設計(D-22)

図表 1041 D-22 平面図



林業用作業施設の種別、面積等を図表 1038 にまとめる。

図表 1042 D-22 の構造等

項目	内 容
種別	山土場
接続道	私道
面積*	100.0m <sup>2</sup>
路面	なし
のり面	なし
排水施設	なし
構造物	なし
その他	なし

※面積は車道部分を除く